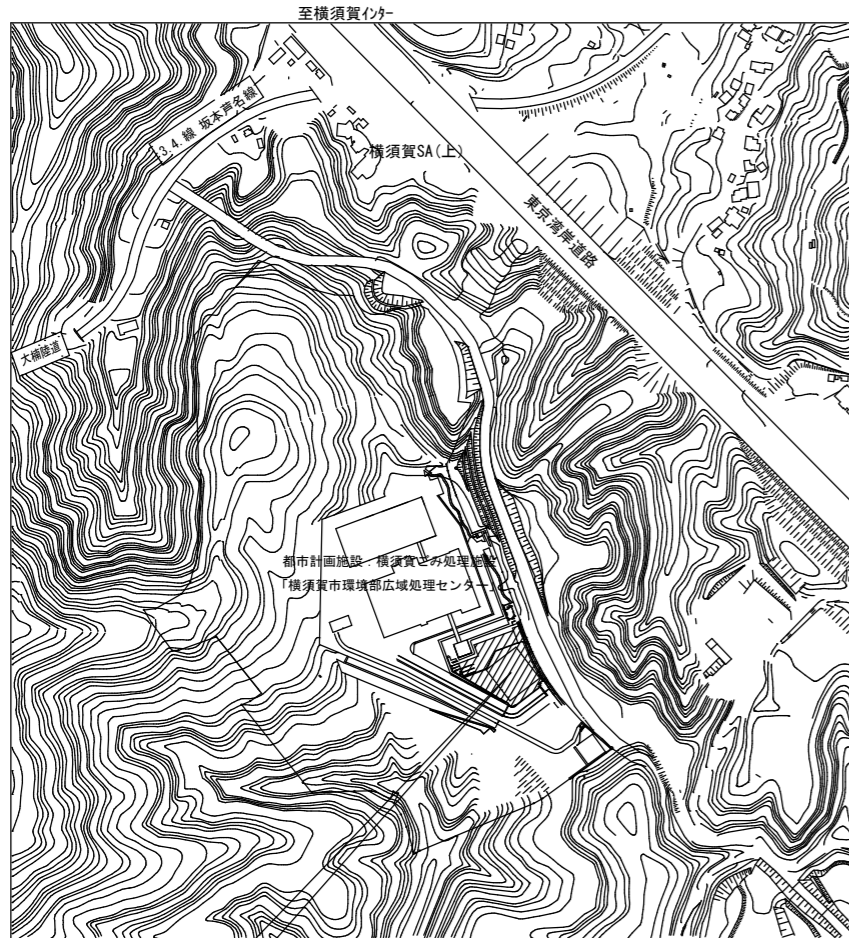


# (仮称) 防災備蓄基地新築工事

## 図面リスト

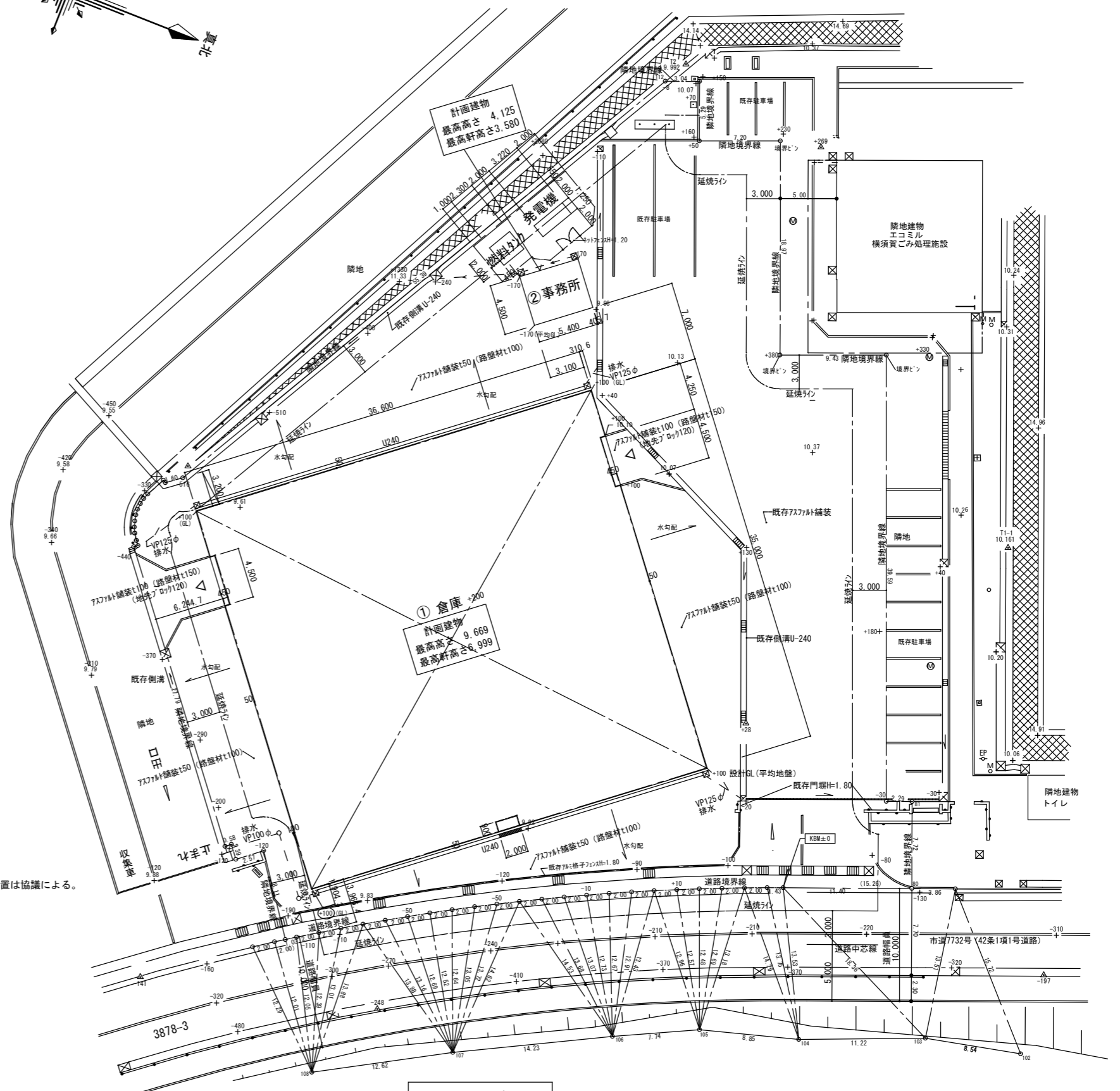
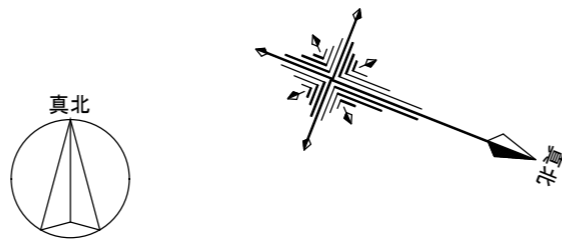
意匠図			構造図			電気設備図			機械設備図		
図番		縮尺	図番		縮尺	図番		縮尺	図番		縮尺
A-00	図面リスト	NS (A2)	S-01	構造設計標準仕様(1) (倉庫棟)	NS (A2)				M-01	機械設備 特記仕様書	NS (A2)
A-01	案内図・配置図・工事概要	1/300 (A2) 1/5000 (A2)	S-02	構造設計標準仕様(2) (倉庫棟)	NS (A2)				M-02	工事区分表・凡例・集水樹リスト	NS (A2)
A-02	平面図・立面図・建築概要・仕上表・建具表 (倉庫棟)	1/200 (A2)	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (倉庫棟)	NS (A2)				M-03	配置図	1/300 (A2)
A-03	立面図・断面図 (倉庫棟)	1/200 (A2)	S-04	鉄骨構造標準図 (倉庫棟)	NS (A2)				M-04	換気設備 機器表・換気計算票	NS (A2)
A-04	屋根伏図・天井伏図 (倉庫棟)	1/200 (A2)	S-05	膜工事特記仕様書 (倉庫棟)	NS (A2)				M-05	換気設備 倉庫棟・事務所棟 平面図・断面図	1/200 (A2)
A-05	矩計図 (倉庫棟)	1/40 (A2)	S-06	膜納まり詳細図 (倉庫棟)	NS (A2)						
A-06	仕上表・平面図・立面図・断面図・矩計図 (事務所棟)	1/50 (A2) 1/100 (A2)	S-07	基礎伏図・基礎断面詳細図 (倉庫棟)	1/20 (A2) 1/300 (A2)						
A-07	建築概要・建具表・部分詳細図 (事務所棟)	1/10 (A2)	S-08	各部詳細図・柱脚詳細図 (倉庫棟)	1/10 (A2)						
A-08	パレットラック/逆ネス配置図	1/200 (A2)	S-09	小屋伏図・部材リスト (倉庫棟)	1/150 (A2)						
A-09	パレットラック/逆ネス姿図	1/40 (A2)	S-10	断面図・軸組図 (倉庫棟)	1/200 (A2)						
A-10	外構図	1/10, 1/20 (A2) 1/30, 1/50 (A2)	S-11	妻面詳細図・継手詳細図(1) (倉庫棟)	1/10, 1/50 (A2)						
A-11	測量図・求積表	1/250 (A2)	S-12	継手詳細図(2) (倉庫棟)	1/10, 1/15 (A2)						
A-12	縦横断面図	縦1/100 (A2) 横1/250 (A2)	S-13	庇 詳細図 (倉庫棟)	1/10, 1/20 (A2)						
A-13	仮設計画図一1 (参考)	1/300 (A2)	S-14	ベンチレーター詳細図 (倉庫棟)	1/3, 1/5 (A2) 1/20 (A2)						
A-14	仮設計画図一2 (参考)	1/300 (A2)	S-15	妻面ウエザーカー (倉庫棟)	1/3, 1/15 (A2)						
			S-16	断面ウエザーカー詳細図 (倉庫棟)	1/3, 1/15 (A2)						
			S-17	SD-1 スチール片開き扉詳細図 (倉庫棟)	1/5, 1/15 (A2)						
			S-18	SD-2 スチール片開き扉詳細図 (倉庫棟)	1/5, 1/15 (A2)						
			S-19	シャッター部分詳細図 (倉庫棟)	1/30 (A2)						
			S-20	構造標準仕様書 (事務所棟)	NS (A2)						
			S-21	基礎伏図・基礎リスト (事務所棟)	1/100 (A2) 1/30 (A2)						
			S-22	R階梁伏図・軸組図 (事務所棟)	1/100 (A2)						
			S-23	部材リスト・架構詳細図 (事務所棟)	1/15, 1/40 (A2)						

竣工図 令和8年3月 / . . .	保管 / . . . 承認 / . . . 確認 / . . . 作成 / . . .	訂正	特記	課長	主査等	担当者	図面内容	(仮称) 防災備蓄基地新築工事	図面番号 A - 00
							図面内容	図面リスト	
							縮尺	N, S (A2)	区分



案内図: 1/5000 建築場所: 横須賀市長坂5丁目1番1号 (地番: 3878番1の一部)

工事概要	
工事場所	横須賀市長坂5丁目1番1号 (地番: 長坂5丁目3878番1の一部)
用途地域	市街化調整地域 (C地区) ・許容最高高さH=10.00m
防火地域	指定なし
その他の地域	近郊緑地保全区域・風致地区第4種
日影規制	階数3以上又は軒高さH=7.000m超 5.0M: 3H・10M: 2H
建蔽率/容積率	40/80%
敷地面積	3533.97㎡
構造・規模	①倉庫棟 ②事務所棟 鉄骨造平屋建
床面積	①倉庫棟 1281.00㎡ ②事務所棟 24.30㎡
延床面積	1305.30㎡ (①倉庫棟1281.00㎡+②事務所棟24.30㎡)
建築面積	1305.30㎡ (①倉庫棟1281.00㎡+②事務所棟24.30㎡)
最高々さ	9.669m(倉庫棟) 4.125m(事務所棟)
軒高さ	6.999m(倉庫棟) 3.580m(事務所棟)

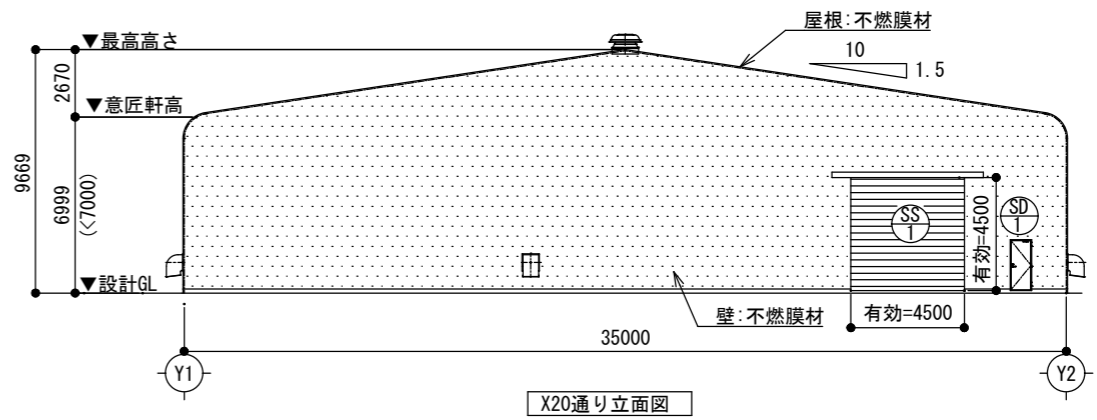
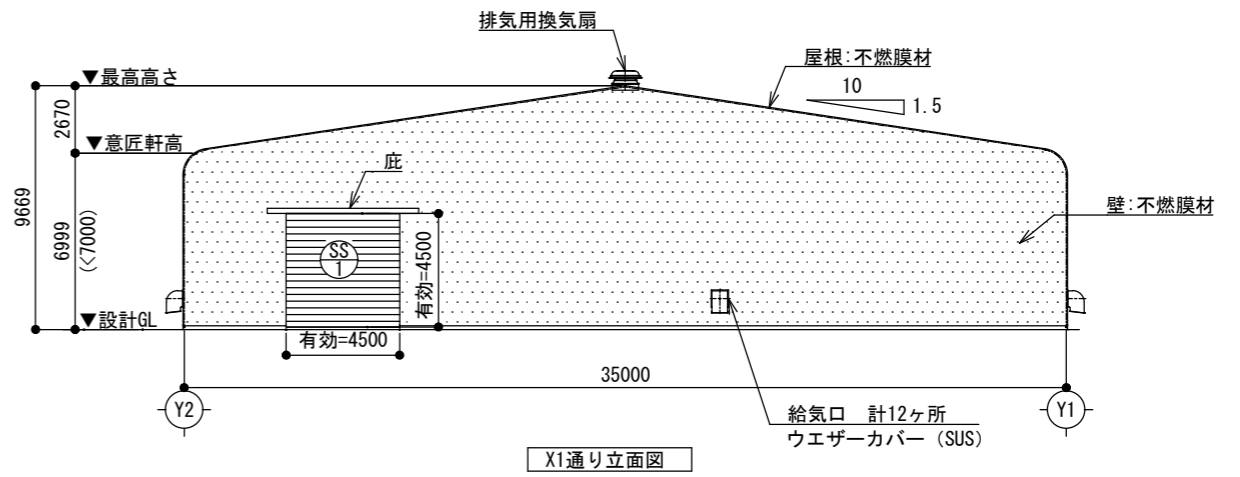
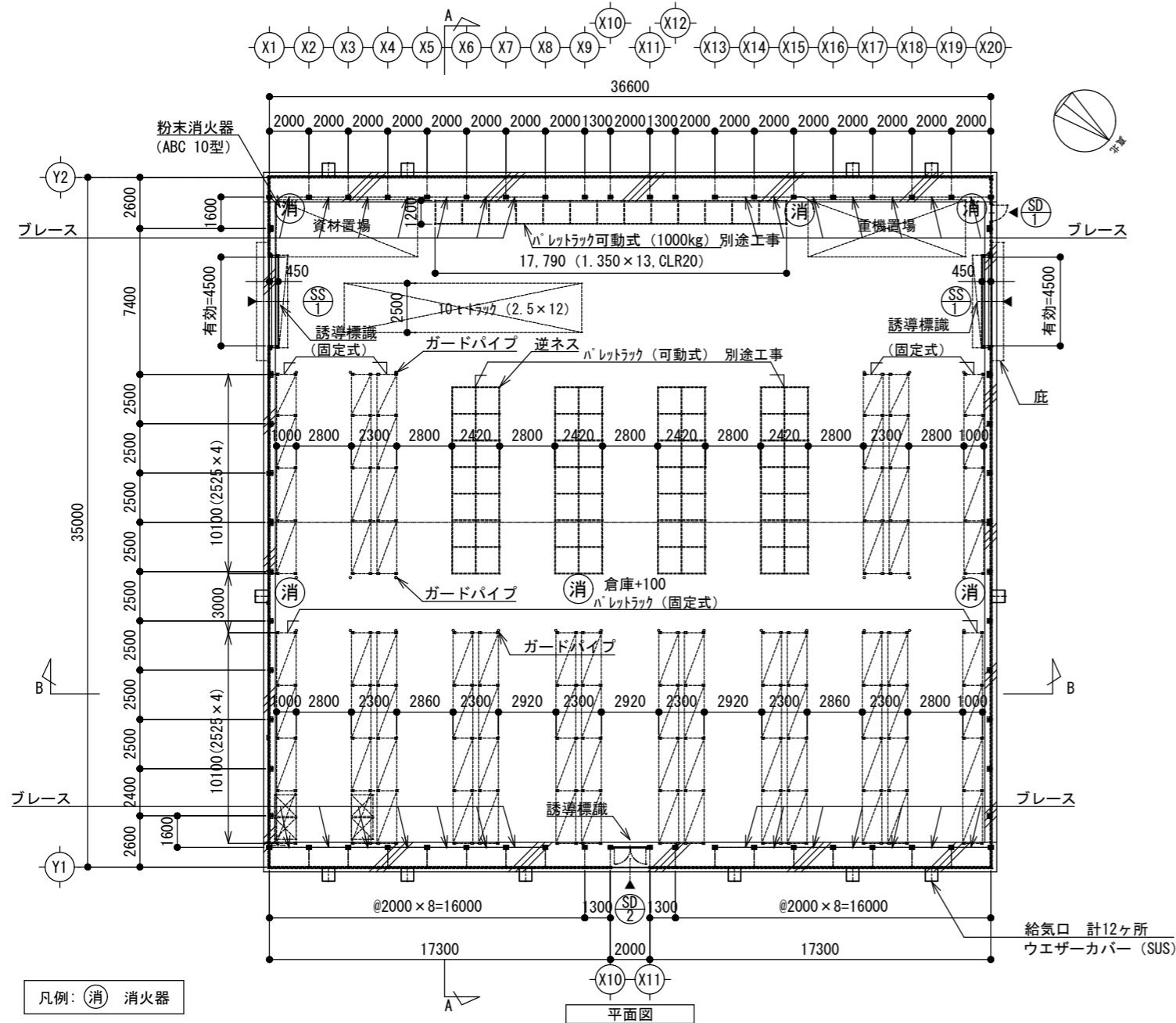


※ポールコーン設置位置は協議による。

配置図S=1/300

特記事項  
 KBM+100設計GL(平均地盤)を示す  
 ※敷地境界点は境界線の設置境界線は場等は設置しない

竣工 令和8年3月	保 管 承 継 者 氏 名	訂 正	特 記	課 長	主 査 等	担 当 者	図 面 内 容 縮 尺	(仮称) 防災備蓄基地新築工事 配置図・案内図・工事概要 S=1/300・S=1/5000(A2)	図 面 番 号 区 分	A-01
	保 管 承 継 者 氏 名	訂 正	特 記	課 長	主 査 等	担 当 者	図 面 内 容 縮 尺	(仮称) 防災備蓄基地新築工事 配置図・案内図・工事概要 S=1/300・S=1/5000(A2)	図 面 番 号 区 分	A-01
	保 管 承 継 者 氏 名	訂 正	特 記	課 長	主 査 等	担 当 者	図 面 内 容 縮 尺	(仮称) 防災備蓄基地新築工事 配置図・案内図・工事概要 S=1/300・S=1/5000(A2)	図 面 番 号 区 分	A-01



凡例: (消) 消火器

<b>建築概要</b> 建築面積: 35m × 36.6m = 1281㎡ 延床面積: 35m × 36.6m = 1281㎡ 最高軒高: 6.999 (<7.000)m 最高高さ: 9.669m 用途: 倉庫業を営まない倉庫 ※居室利用・車庫利用・危険物貯蔵は行わない。		[求積図] 
--	--	-----------

<b>消防法の有窓階の判定</b> 必要開口面積: 1281㎡ / 30 = 42.70㎡ 有効開口面積[電動シャッター]: 4.5 × 4.5 × 2カ所 + 1.7 × 2.0 × 1カ所 = 43.90㎡ 判定: 43.90㎡ > 42.70㎡・0K 有窓階
---

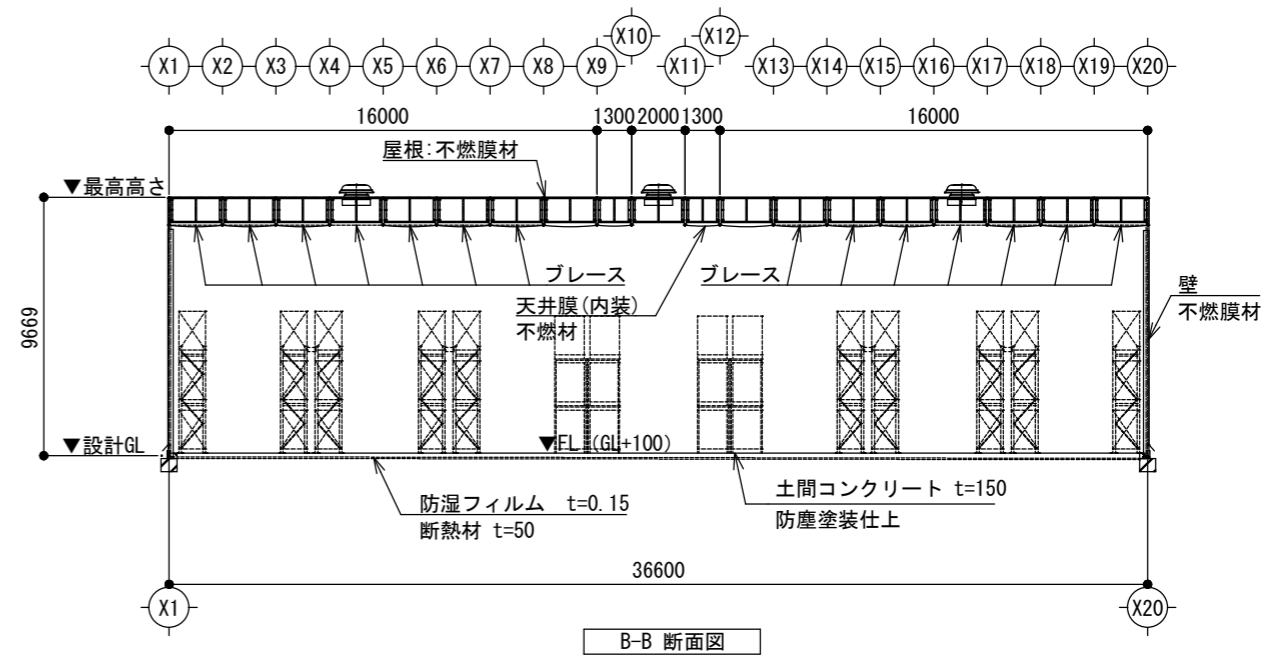
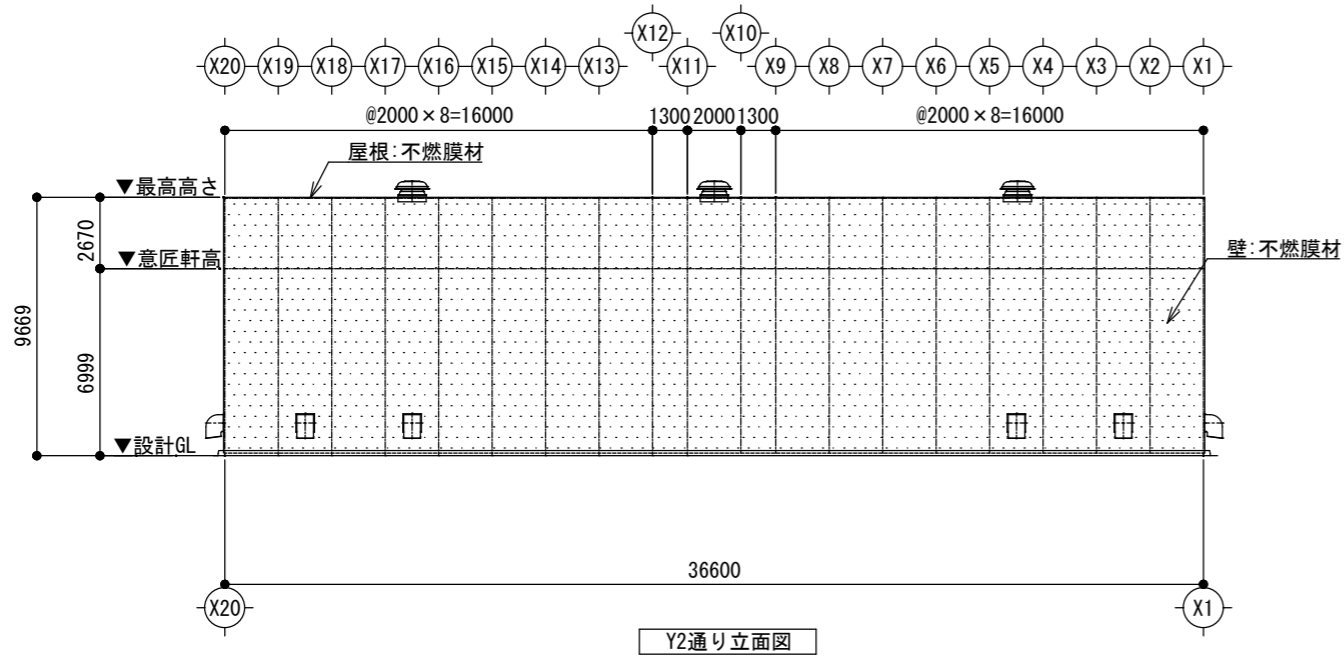
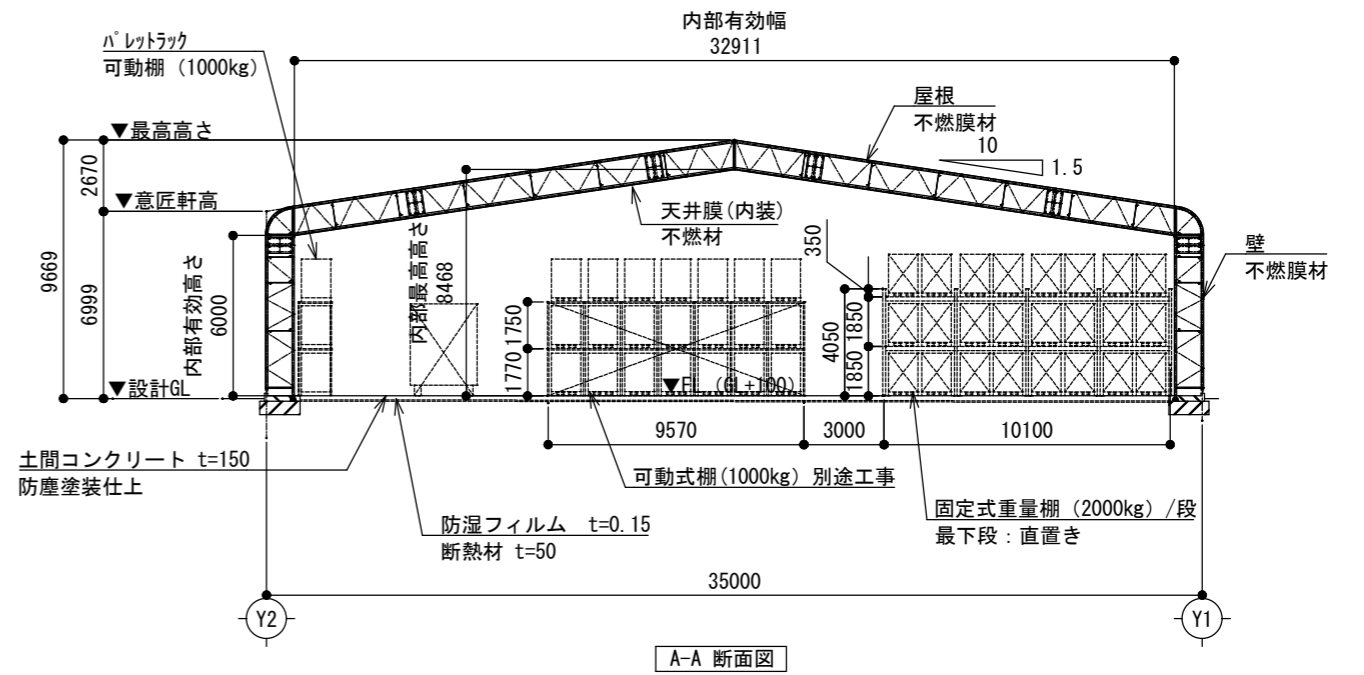
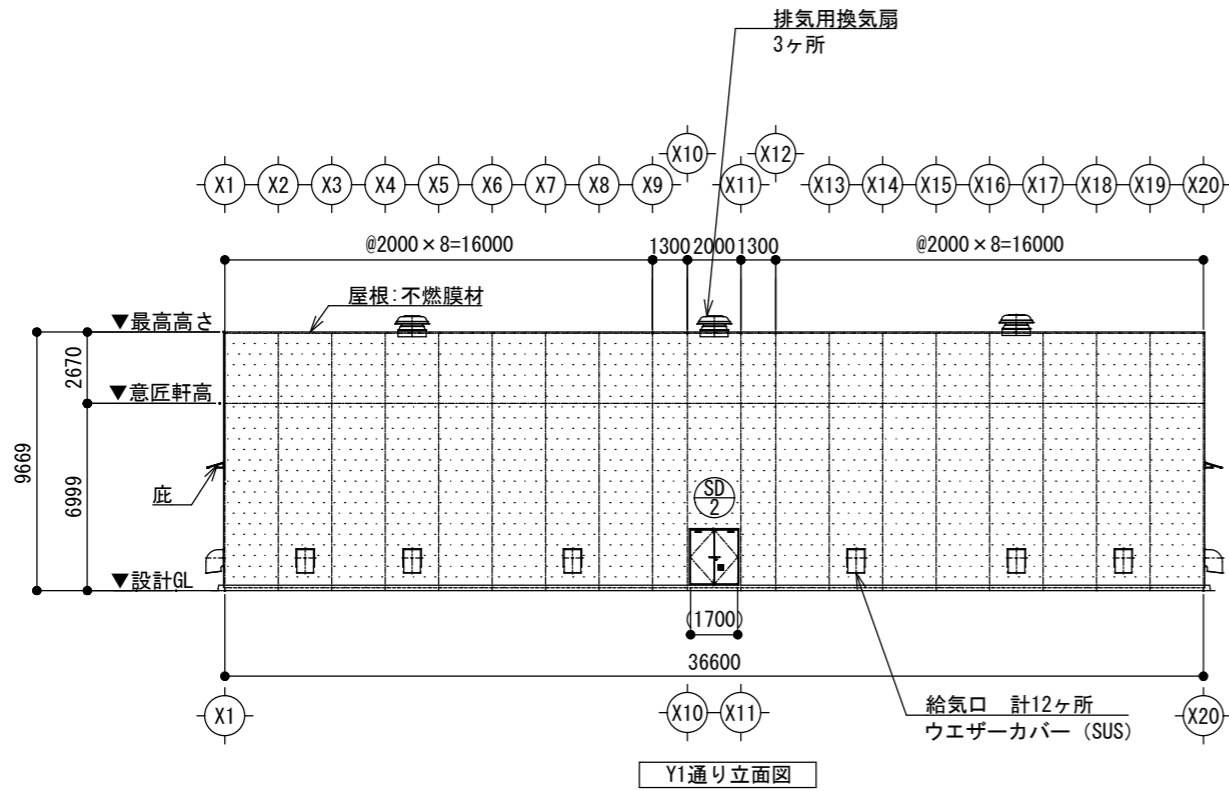
<b>消防設備 ※別途工事</b> 誘導標識・消火器具(粉末消火器:ABC 10型)・自動火災報知設備
--

<b>備考</b> ※法37条に準拠した指定建築材料を使用する ※アスベストを含んだ材料を使用しない ※使用材料は全てF☆☆☆☆または規制対象外の材料とする。
--

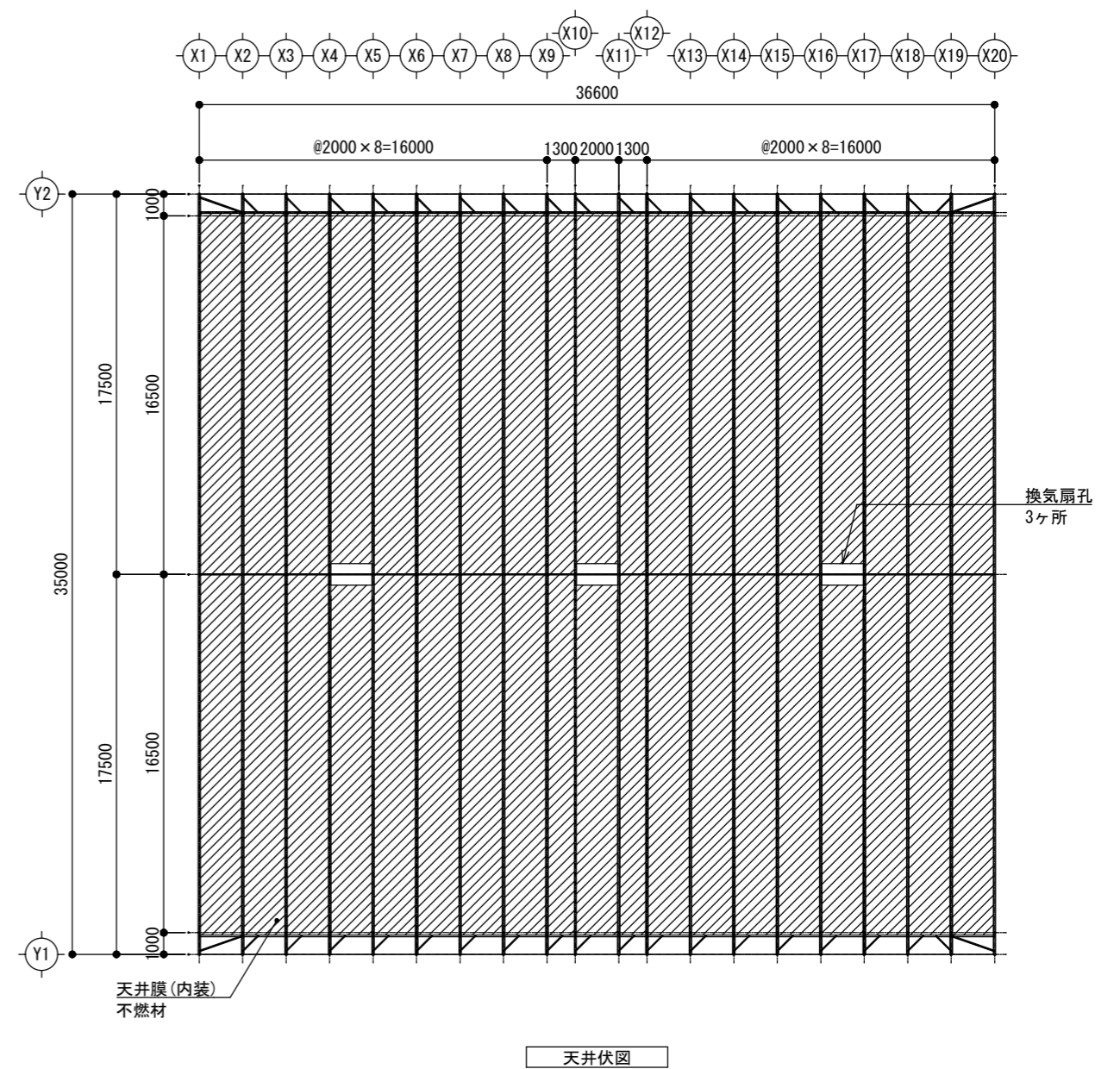
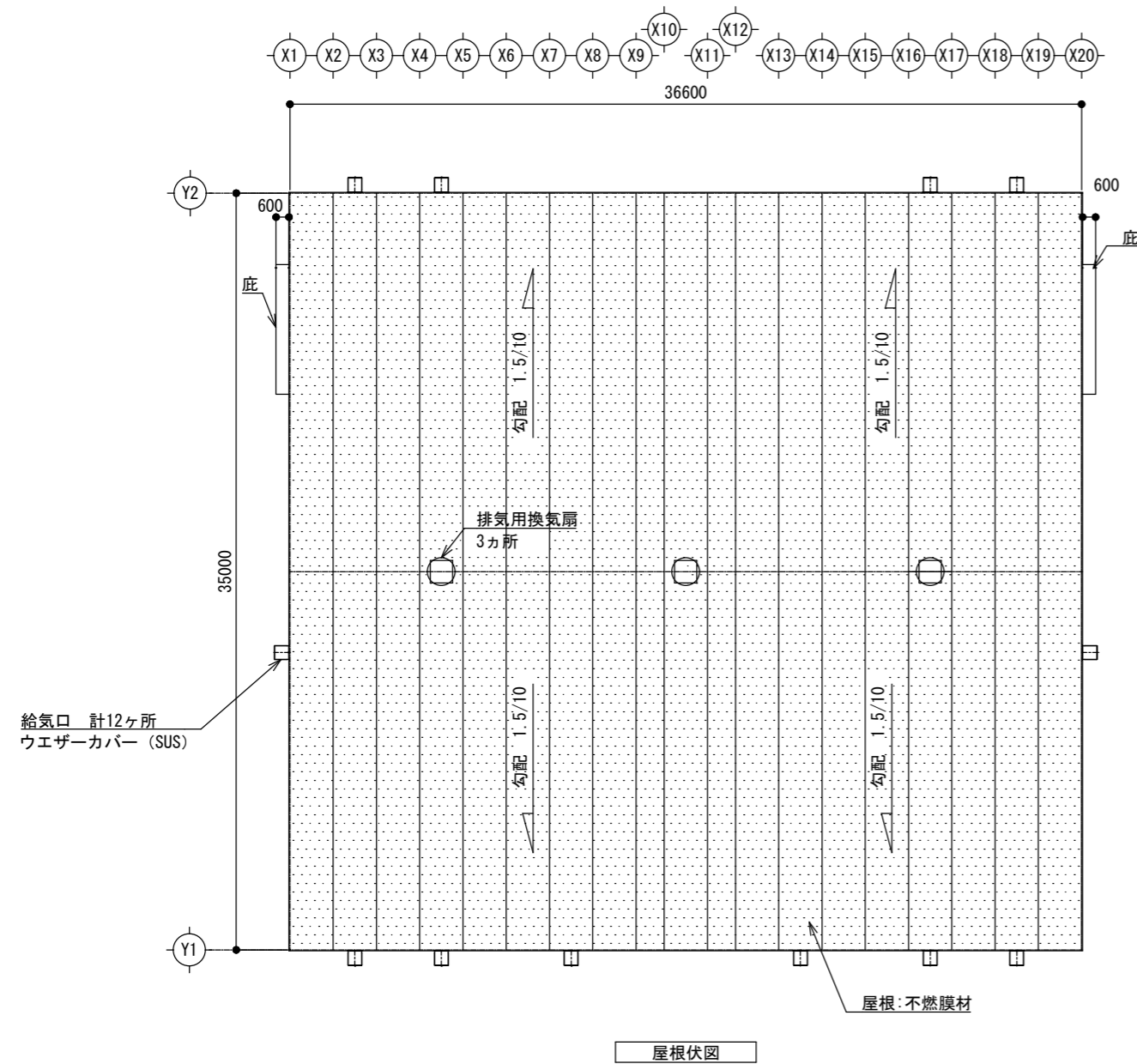
<b>構造・仕上げ</b> 構造 鉄骨造	
鉄部 溶融亜鉛めっき (JIS規格) 基礎 鉄筋コンクリート (JIS規格) 床 土間コンクリート (JIS規格) t=150 防塵塗装仕上	仕上げ 屋根 不燃膜材 (ヒット100) 材料: MMEM-9017 防火: NM-5063 色: アイボリー 壁 不燃膜材 (ヒット100) 材料: MMEM-9017 防火: NM-5063 色: アイボリー 内 膜 □無し ■有り 不燃材(天井のみ) 庇 □無し ■有り 不燃膜材 (ヒット100) 色: アイボリー
換気扇 □無し ■有り (φ600 / 3台) 仕様 ■強制換気 □自然換気 / □単相 100V / ■3相 200V	照明 □無し ■有り ( * 台)
ウェザーカバー □無し ■有り ( 12 台) 600 × 600 (SUS)	設計条件 平成14年国交省告示第666号による骨組膜構造建築物 基準風速: Vo = 36 m/sec 粗度区分: III 垂直積雪量: d = 30 cm 地耐力: 長期 30 kN/㎡ 以上、短期 60 kN/㎡ 以上

<b>建具表</b> (SS 1) 電動シャッター 妻面X1, X20通り 	<b>建具表</b> (SD 1) スチール製片開きドア 妻面X20通り 	<b>建具表</b> (SD 2) スチール製両開きドア 桁面Y1通り 
数量 2 型式 ブロードシャッター 材質 スチール 仕上 カラー鋼板 0.8t 三方枠 L=450焼付塗装t=1.6 ガラス - 金物 附帯金物一式 その他 水圧解放装置付き	数量 1 型式 片開きドア(右) 材質 スチール 仕上 塗装仕上 ガラス - 金物 取手・ドアクローザー 丁番 その他 サムターン錠(室内側)	数量 1 型式 両開きドア 材質 スチール 仕上 塗装仕上 ガラス - 金物 取手・ドアクローザー 丁番 その他 水圧解放装置付き

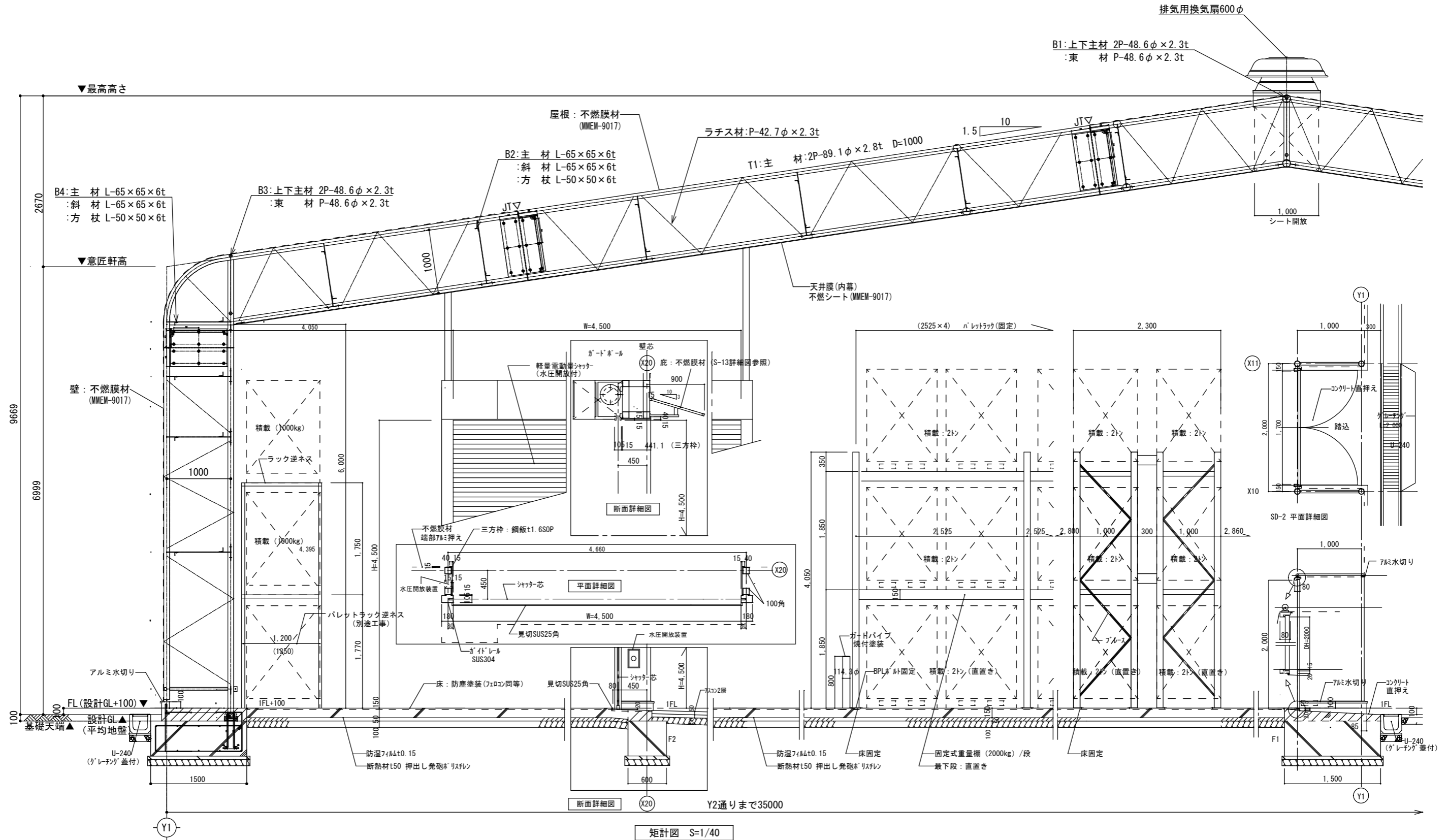
図面 令和8年3月	訂正 . . . . . . . . . . . .	特記 . . . . . . . . . . . .	課長 主査等 担当者	図面 (仮称) 防災備蓄基地新築工事 平面図・立面図・建築概要・仕上表・建具表 縮尺 S=1/200 (A2)	図面 番号 A-02 区分
--------------	--	--	------------------	--	------------------------



竣工図 令和8年3月	保管 / . . . 承認 / . . . 確認 / . . . 作成 / . . .	訂正 _____ _____ _____	特記 _____ _____ _____	課長 _____	主査等 _____	担当者 _____	図面内容 (仮称) 防災備蓄基地新築工事 立面図・断面図 縮尺 S=1/200 (A2)	図面番号 A-03 枚ノ内 区分
								図面番号 A-03

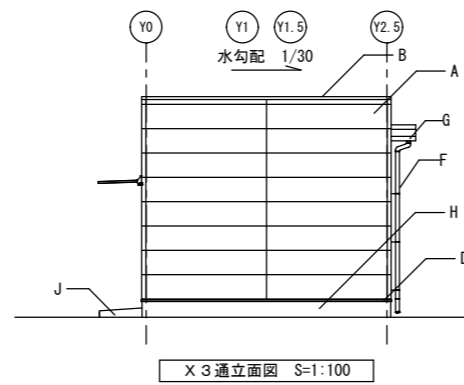
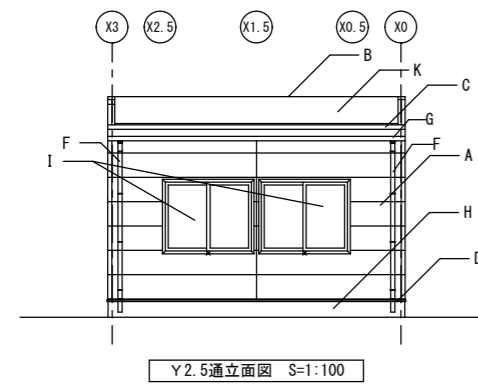
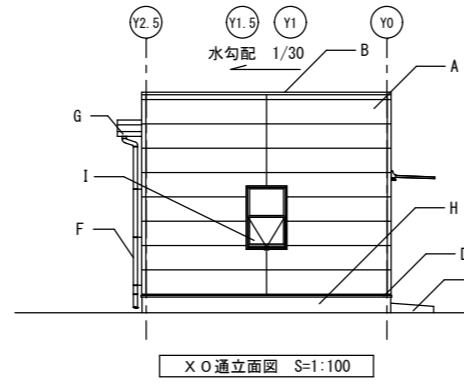
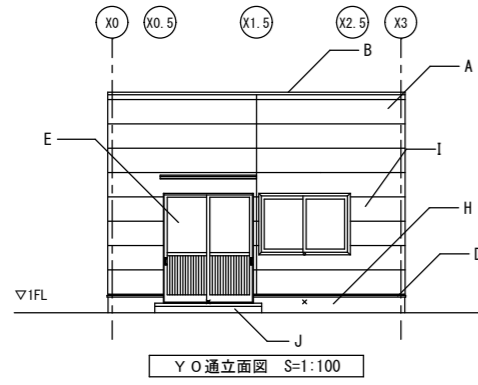


竣工 令和8年3月	竣工 令和8年3月	訂正 _____ _____ _____	特記 _____ _____ _____	課長 _____	主査等 _____	担当者 _____	図面内容 (仮称) 防災備蓄基地新築工事 屋根伏図・天井伏図	図面番号 A-04
	令和8年3月	_____ _____ _____		図面内容 屋根伏図・天井伏図	枚/内 _____	区分 _____		
	令和8年3月	_____ _____ _____		図面内容 屋根伏図・天井伏図	枚/内 _____	区分 _____		



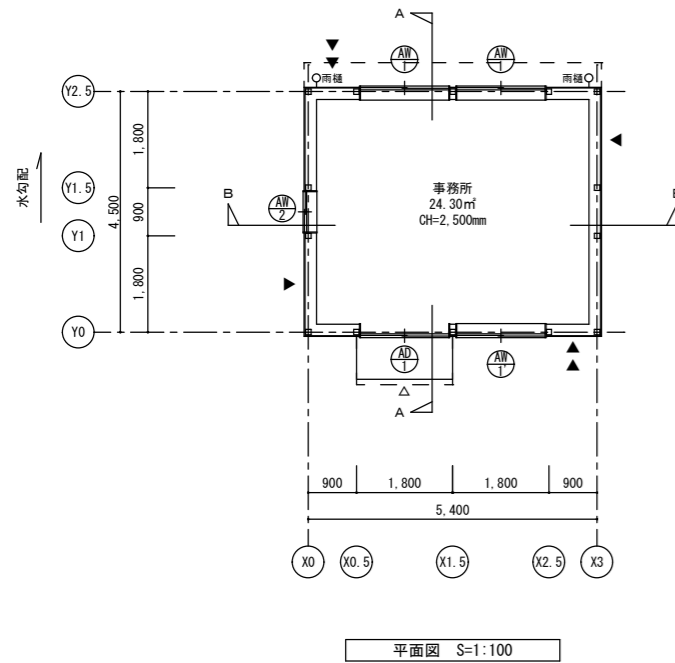
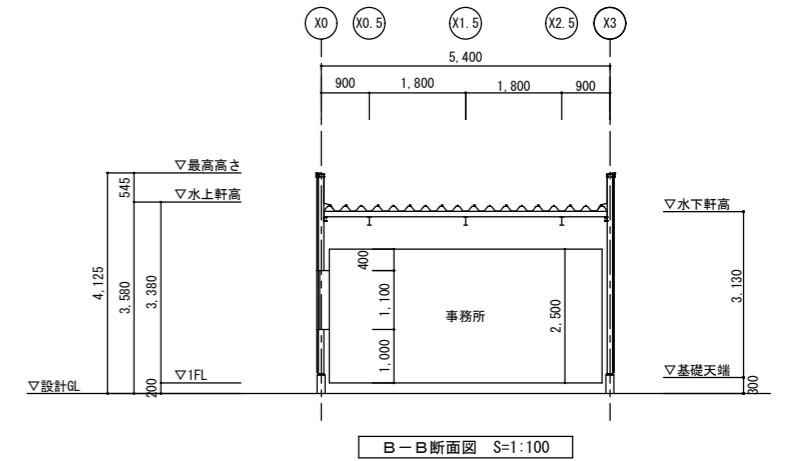
矩計図 S=1/40

竣工 令和8年3月	設計 令和8年3月	訂正 .	特記 .	課長 主査等 担当者	図面内容 (仮称) 防災備蓄基地新築工事 矩計図 縮尺 S=1/40 (A2)	図面番号 A-05 区分
		竣工 令和8年3月				

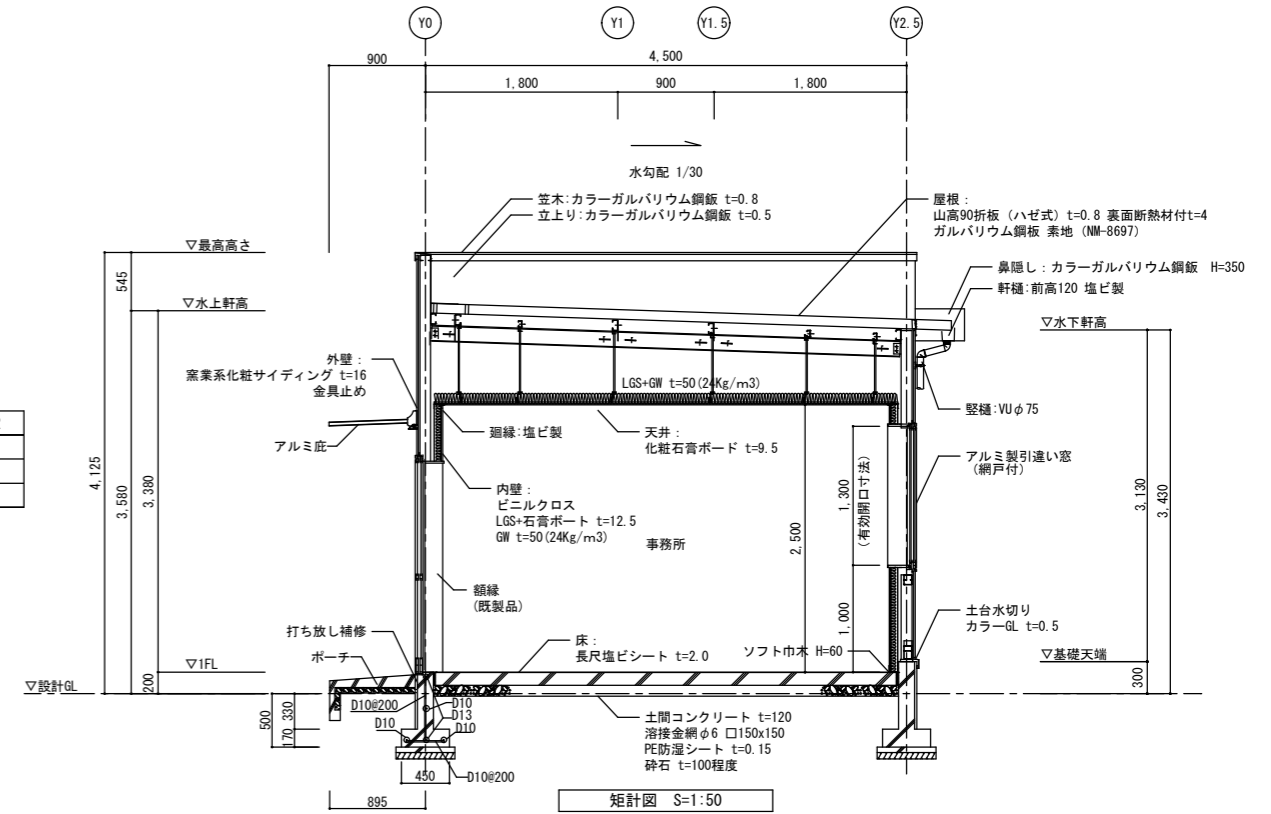


記号	仕上げ
A	外壁：窯業系化粧サイディングt=16（金具止め）横張り
B	笠木：カラーガルバリウム鋼板 t=0.8
C	屋根：山高90折板（ハゼ式）t=0.8 裏面断熱材付t=4 ガルバリウム鋼板 素地（NM-8697）
D	水切：カラーガルバリウム鋼板 t=0.5
E	アルミ製引き違い戸（硝子網入り）
F	縦樋：φ75 塩ビ製（VU）
G	鼻隠し：カラーガルバリウム鋼板 H=350
H	布基礎：コンクリート打ち放し補修
I	アルミ樹脂複合窓（複層）
J	ポーチ：W1800×D800 コンクリート金鍍仕上げ
K	立ち上がり：カラーガルバリウム鋼板 t=0.5

※使用材料は全てF☆☆☆☆または規制対象外の材料とする、  
※使用材料はアスベストを含んだ材料を使用しない

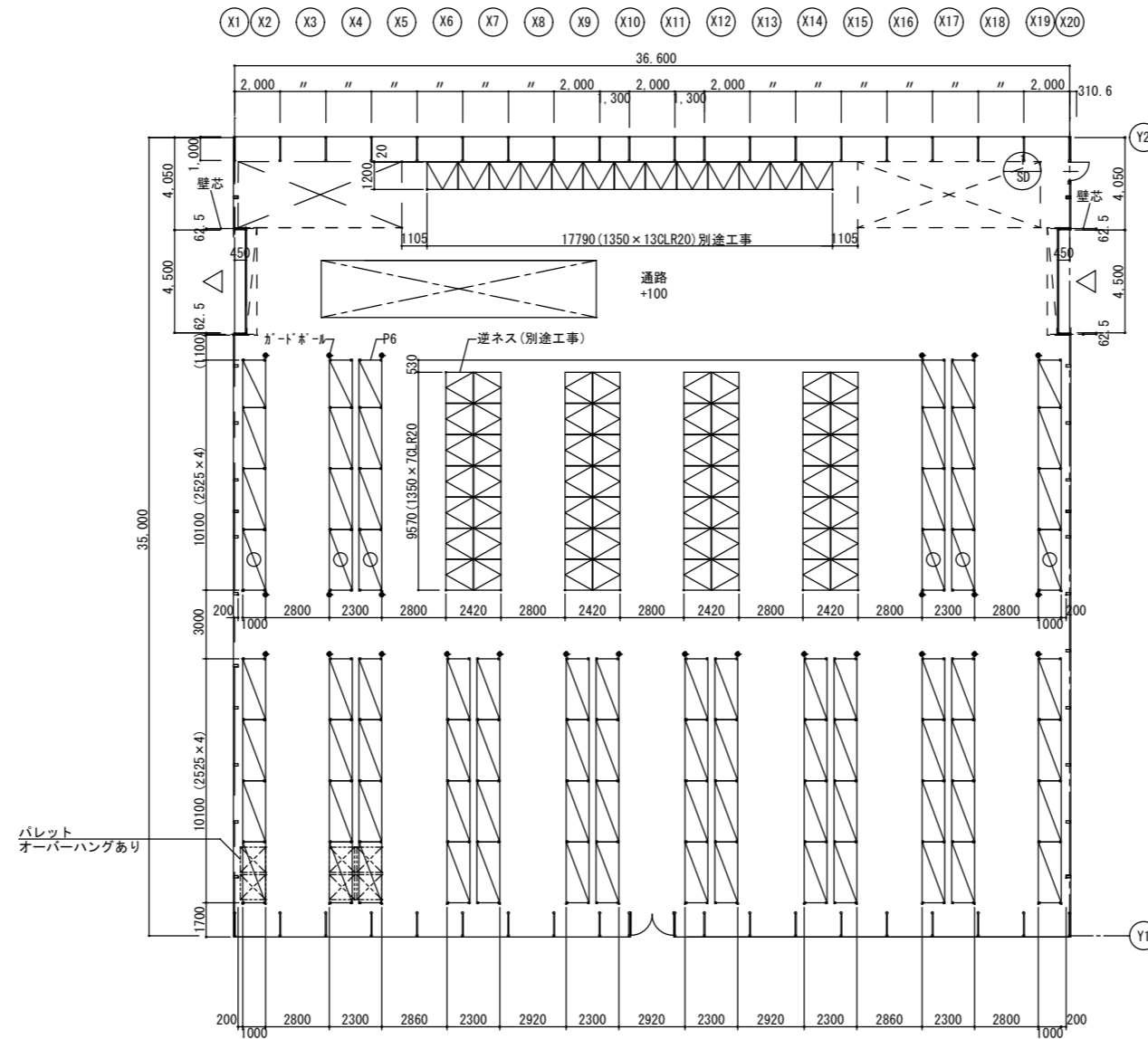


居室名・面積(m²)	項目	必要面積	計算式	判定
事務室 24.30	採光	1/20 1.215	AW1×2 1.65x1.3x2 =4.29 AW1'×1 1.65x1.1x1 =1.815 計6.105	OK
	換気	1/20 1.215	AW1×2 (0.825×1.3)×2=2.145 AW1'×1 1.65x1.1x1 =1.815 計3.96	OK
	排煙	1/50 0.486	AW1×2 (0.825×0.6)×2=0.99 AW1'×1 (0.825×0.33)×1=0.27 計1.26	OK



竣工 令和8年3月	竣工 令和8年3月	訂正 . . . .	特記 . . . .	課長	主査等	担当者	(仮称) 防災備蓄基地新築工事 仕上げ表・平面図・立面図・断面図・矩計図 縮尺 S=1/50 1/100 (A2)	図番 A-06 区分

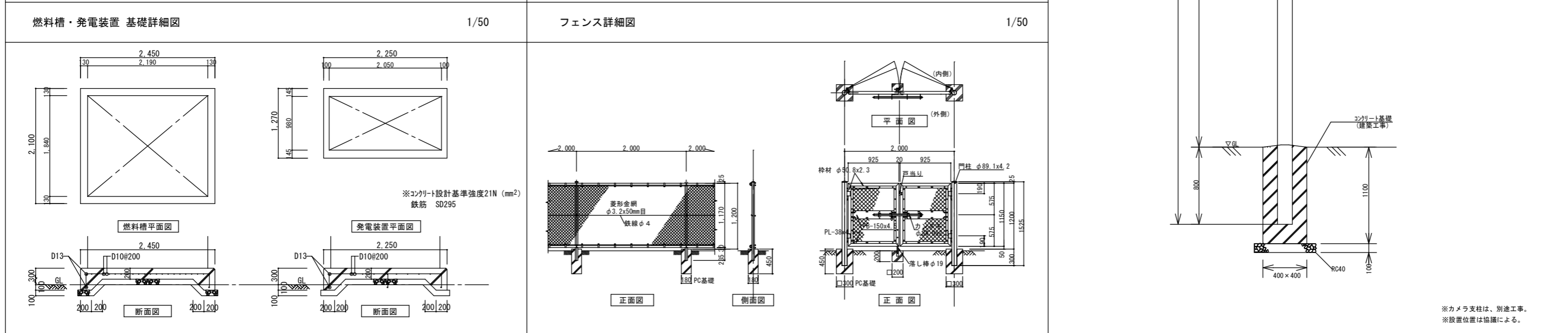
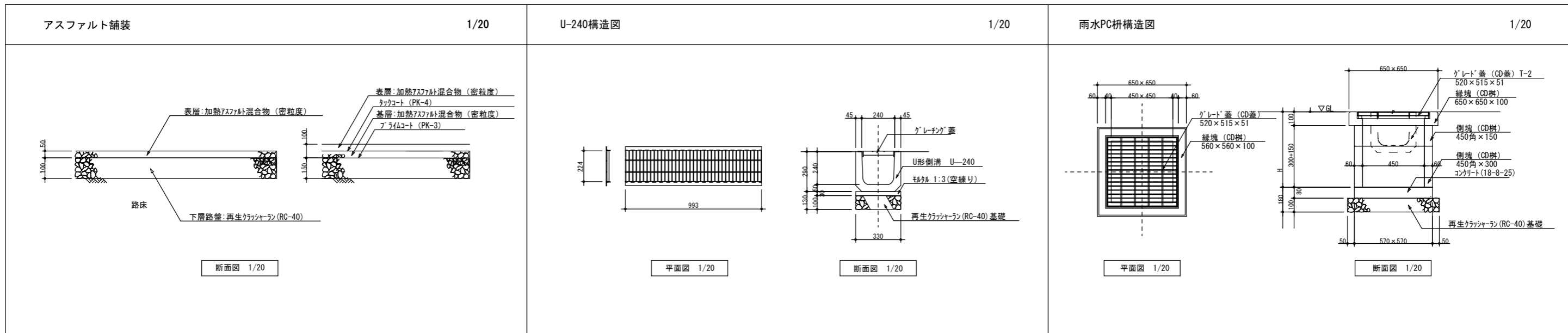




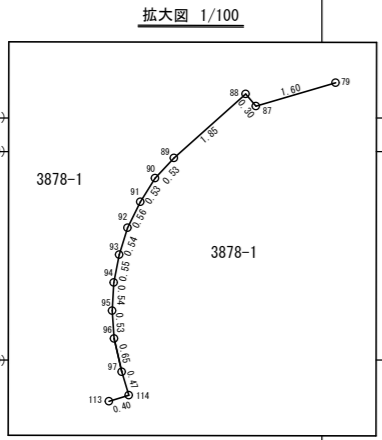
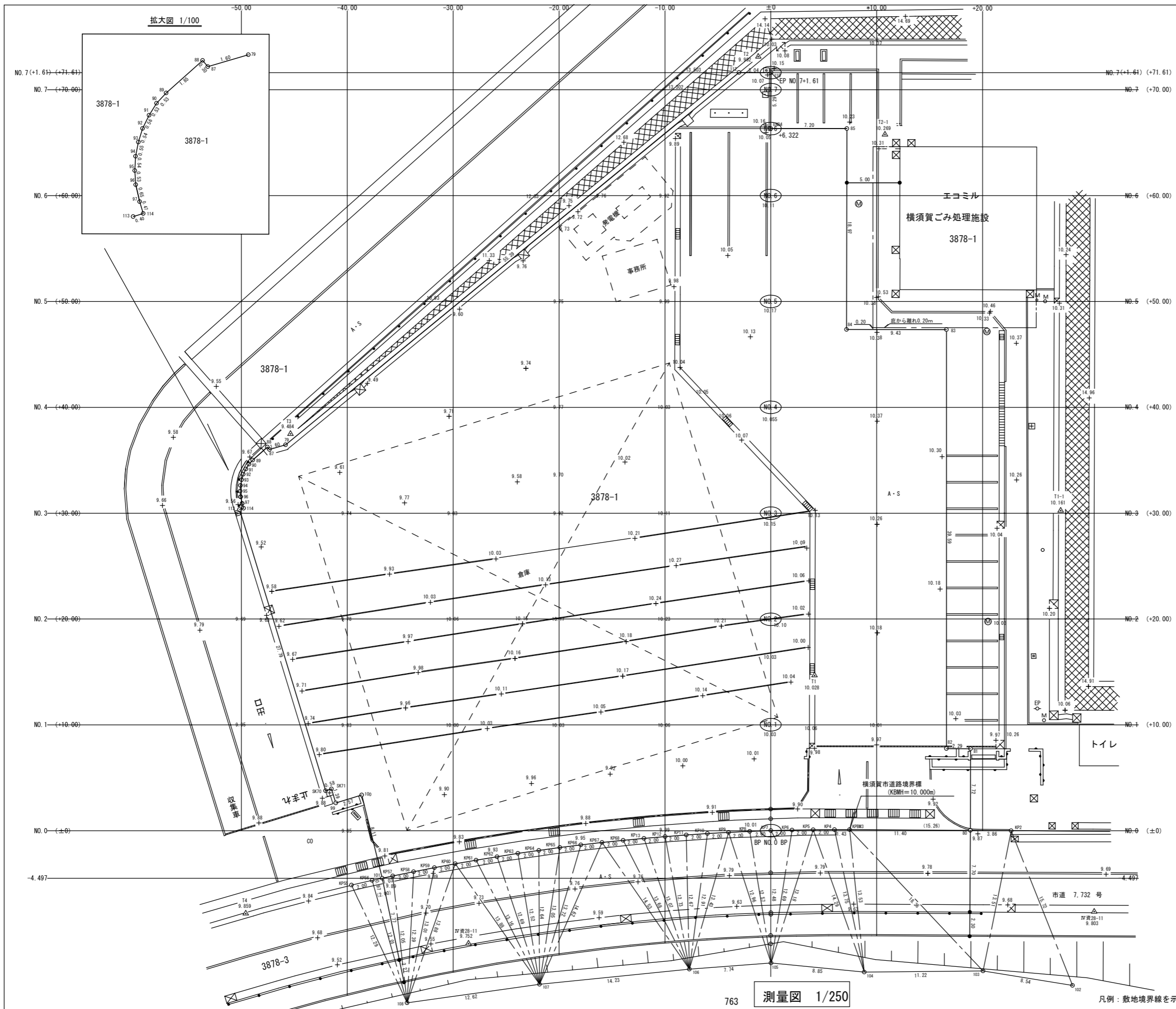
パレットラック/逆ネス配置図S=1/200

図名 令和8年3月	竣工 年月	訂正 回数	特記	課長	主査等	担当者	図面内容 (仮称) 防災備蓄基地新築工事 パレットラック/逆ネス配置図	図面番号 A-08 枚数 1/200 (A2)
	作成 年月	年月		年月				





	竣工 令和8年3月	図 作成	訂 正	特 記					(仮称) 防災備蓄基地新築工事 外構図 枚数 S=1/10・1/20・1/30・1/50 (A2)	図 面 番 号 A-10 区 分
--	--------------	---------	--------	--------	--	--	--	--	---	------------------------------------



求積表

地番	3878-1	Yn	Yn+1-Yn-1	Xn * (Yn+1-Yn-1)
NO	Xn			
80	-83320.987	-17510.325	-11.304	941860.4370
81	-83323.796	-17517.515	-6.354	529439.3998
82	-83325.924	-17516.679	-35.984	2998400.0492
83	-83340.461	-17553.499	-33.372	2781237.8645
84	-83349.237	-17550.051	-14.216	1184892.7532
85	-83356.167	-17567.715	-15.022	1252176.3407
EN24	-83362.862	-17565.073	-2.286	190567.5025
110	-83364.781	-17570.001	-3.826	318953.6521
112	-83367.612	-17568.899	49.528	-4129031.0871
79	-83394.509	-17520.473	49.404	-4120022.3226
87	-83395.771	-17519.495	0.834	-69552.0730
88	-83396.036	-17519.639	1.506	-125594.4302
89	-83396.866	-17517.989	2.144	-178802.8807
90	-83397.059	-17517.495	1.018	-84898.2061
91	-83397.157	-17516.971	1.079	-89985.5324
92	-83397.202	-17516.416	1.092	-91069.7446
93	-83397.164	-17515.879	1.075	-89651.9513
94	-83397.060	-17515.341	1.054	-87900.5012
95	-83396.892	-17514.825	0.998	-83230.0982
96	-83396.662	-17514.343	1.021	-85147.9919
97	-83396.290	-17513.804	0.906	-75557.0387
114	-83395.997	-17513.437	0.617	-51455.3301
113	-83396.310	-17513.187	21.982	-1833217.6864
SK70	-83378.993	-17491.455	21.370	-1781809.0804
SK71	-83378.541	-17491.817	0.723	-60282.6851
99	-83377.678	-17490.732	-0.524	43689.9033
100	-83375.678	-17492.341	5.009	-417628.7711
101	-83370.993	-17485.723	6.044	-503894.2817
KP57	-83370.132	-17486.297	-1.665	138811.2698
KP58	-83368.455	-17487.388	-2.172	181076.2843
KP59	-83366.772	-17488.469	-2.140	178404.8921
KP60	-83365.078	-17489.528	-2.103	175316.7590
KP61	-83363.370	-17490.572	-2.071	172645.5393
KP62	-83361.653	-17491.599	-2.042	170224.4954
KP63	-83359.931	-17492.614	-2.007	167303.3815
KP64	-83358.193	-17493.606	-1.971	164298.9984
KP65	-83356.447	-17494.585	-1.939	161628.1507
KP66	-83354.695	-17495.545	-1.902	158540.6299
KP67	-83352.924	-17496.487	-1.865	155453.2033
KP68	-83351.149	-17497.410	-1.822	151865.7935
KP13	-83349.376	-17498.309	-1.790	149195.3830
KP12	-83347.584	-17499.200	-1.761	146775.0954
KP11	-83345.785	-17500.070	-1.733	144438.2454
KP10	-83343.977	-17500.933	-1.695	141268.0410
KP9	-83342.156	-17501.765	-1.650	137514.5574
KP8	-83340.328	-17502.583	-1.624	135344.6927
KP7	-83338.496	-17503.389	-1.591	132591.5471
KP6	-83336.655	-17504.174	-1.541	128421.7854
KP5	-83334.808	-17504.930	-1.511	125918.8949
KP4	-83332.941	-17505.685	-1.281	106749.4974
KPBW3	-83331.617	-17506.211	-4.640	386658.7029
合計				-7067.9507
合計面積				3533.9753
地積				3533.97

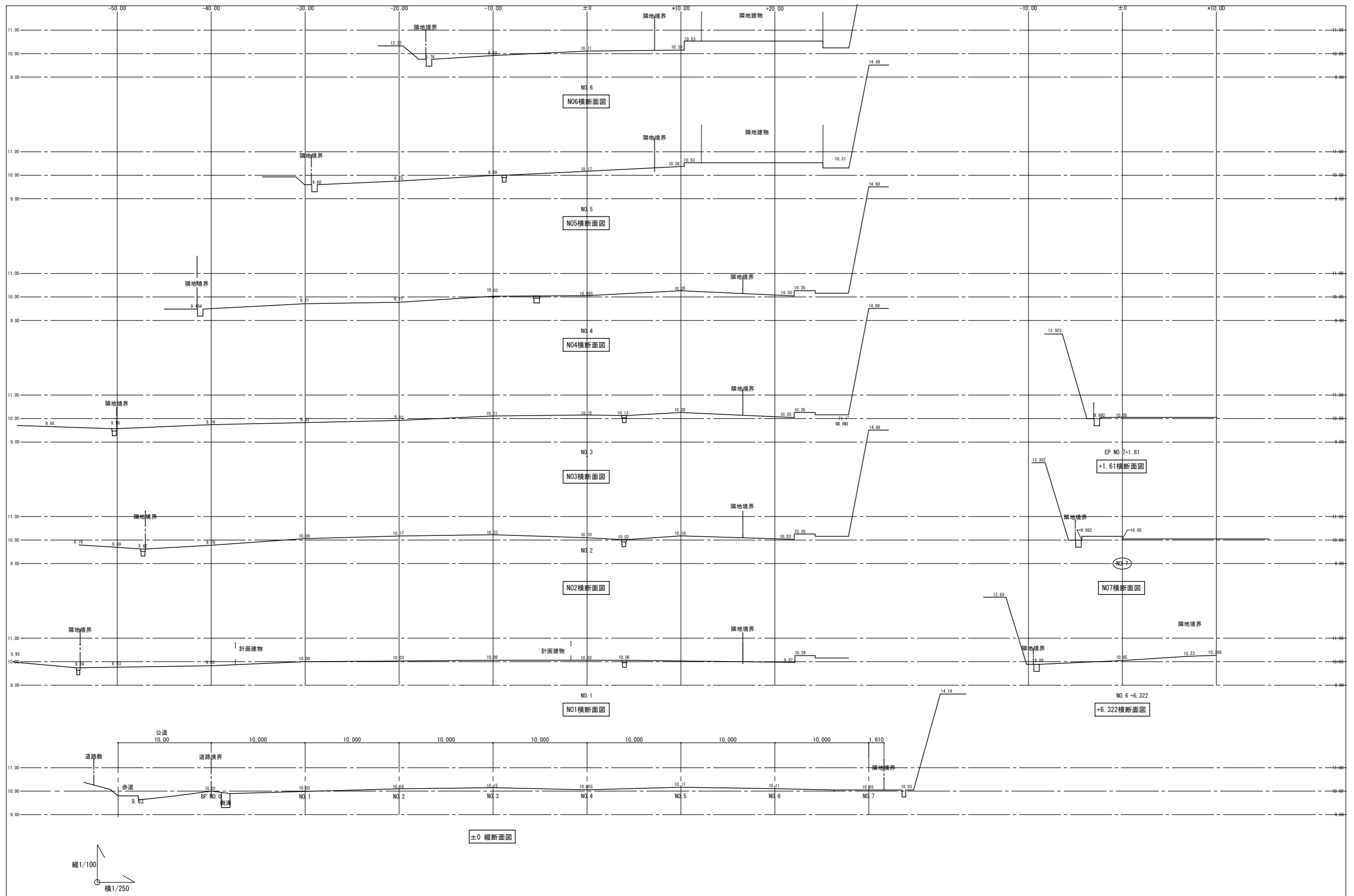
座標値一覧表

点名	X座標	Y座標
I02	-83306.635	-17500.250
I03	-83314.990	-17498.424
I04	-83325.385	-17494.201
I05	-83333.896	-17491.777
I06	-83340.856	-17488.390
I07	-83353.502	-17481.866
I08	-83364.485	-17475.650
IV資28-11	-83307.296	-17507.486
IV資28-12	-83361.148	-17482.984
T1	-83340.048	-17518.548
T2	-83366.462	-17570.963
T3	-83394.464	-17521.598
T4	-83381.752	-17477.904
T1-1	-83324.154	-17541.573
T2-1	-83352.628	-17568.517

763 測量図 1/250

凡例：敷地境界線を示す

図面 令和8年3月	竣工 図 修正 訂正	特記	課長	主査等	担当者	図面 内容 縮尺 (仮称) 防災備蓄倉庫基地新築工事 測量図・求積表 1/250 (A2)	図面 番号 A-11 枚/内 区分



横断面 令和8年3月 / . . .	竣工 / . . .	訂正 / . . .	特記 / . . .	課長	主査等	担当者	図面内容 (仮称) 防災備蓄倉庫基地新築工事 縦断面図 縮尺 縦1/100・横1/250 (A2)	図面番号 A-12 枚ノ内 区分
	保管 / . . .	承認 / . . .		作成 / . . .				





# 構造設計標準仕様(1)

## 1. 適用範囲

本仕様書においては、■印であるものを適用とする。  
すべての設計図書は、相互に補完するものとする。  
ただし、設計図書の優先順位は以下のとおりとする。

- 現場打合事項
- 質疑回答書および補足説明事項
- 本仕様書
- 設計図書および共通仕様書補足事項
- 共通仕様書

## 2. 建築概要

### (1) 工事種別

■新築 □増築 □増改築 □改築

### (2) 構造種別

■骨組膜構造(M) □鉄骨造(S) □鉄筋コンクリート造(RC)  
□鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC) □その他( )

### (3) 階数

地上 1階 地下 階 塔屋 階

### (4) 主要用途

□工場 □倉庫業を営む倉庫 ■倉庫業を営まない倉庫 □荷捌きテント  
□その他( )

## 3. 使用構造材料

### (1) コンクリート

(表2.1.1)

適用箇所	種類	設計基準強度 (N/*)	スランブ (cm)	耐久基準強度 Fd (N/*)
捨コンクリート	■普通	□13.5 ■15	15	短期(30年) ■18
土間コンクリート	■普通	□18 ■21	15	標準(65年) □24
基礎、基礎梁	■普通 □軽量	□18 ■21 □24	15	長期(100年) □30
柱、梁、床、壁	□普通 □軽量	□18 □21 □24	15	超長期(200年) □36
押えコンクリート	□普通 □軽量	□18 □21	15	

### (2) 鉄筋

(表2.3.1)

適用箇所	種類	径	使用箇所	継手
異形鉄筋	■SD295	D16以下	基礎	■重ね継手
	□SD345	D19以上		□ガス圧接
丸鋼	□SR235	φ6		□機械継手
溶接金網	□			

### (3) 鉄骨

(表2.4.1)

種類	使用箇所	現場溶接		備考
		□有	■無	
■SS400 □SM400	つなぎ材・B.PL・G.PL等板材	□有	■無	
□SN400B		□有	□無	
□STKN400 □STKN490		□有	□無	
□BCR295 □BCP235		□有	□無	
□SM490A □SN490C		□有	□無	
□SSC400		□有	□無	
■STK400	主柱・主梁・二次部材	□有	■無	
■STKR400 □STKR490	間柱・耐風梁	□有	■無	

### (4) ボルト

#### ■高力ボルト

□普通 (F10T) □特殊S10T認定品 ■亜鉛メッキ (F8T)

□M12 □M16 ■M20 □M22 □M24 □M30

高力ボルトすべり係数試験 □要 ■否

高力ボルト導入張力置認試験 □要 ■否

#### ■中ボルト ※特記なき限り強度区分【4T】とする。

■M12 ■M16 □M20 □M22 □M24

#### ■アンカーボルト ※特記なき限り転造ねじとする。

□SNR400B □M12 □M16 □M20 □M22 □M24 □M27 □M30 □ダブルナット

■SS400 □M12 ■M16 ■M20 □M22 □M24 ■ダブルナット

### (5) 屋根・壁・床(使用箇所は図面参照)

□ALC版 t= mm

□折板 H= mm t= mm

□特殊デッキプレート t= mm

### (6) 膜(使用箇所は図面参照)

ヒット100 (厚み:0.55mm)

材料認定番号: MMEM-9017

防火認定番号: NM-5063

## 4. 地盤

### (1) 地盤調査資料

■有 ( ■敷地内 □近隣 )

■ボーリング調査 □平板載荷試験 □スクリューウェイト貫入試験

□液化化判定 □現場透水試験 □土質試験 □サウンディング試験

□無

### (2) 地盤調査計画 (調査予定: □有 □無)

□ボーリング調査 □静的貫入試験 □標準貫入試験

□水平地盤反力係数の測定 □平板載荷試験 □スクリューウェイト貫入試験

□土質試験 □物理探査 □試験堀(支持層の確認)

(注)地盤調査及び試験杭の結果により杭長、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある。

## 5. 地業工事

### (1) 直接基礎

□ベタ基礎 ■布基礎 □独立基礎

### (2) 杭基礎

杭種	材料	施工法	備考
□RC □PC	PC (□A種 □B種 □C種)	□打込み	
□PHC □H鋼	PHC (□A種 □B種 □C種)	□埋め込み(セメント工法)	
□鋼管 □摩擦杭	鋼材 (□SS400 □STK400)	□	大臣認定第 号
□ □	節杭 (□A種 □B種 □C種)	□	年 月 日
□場所打ち コンクリート杭	コンクリート Fc= スランブ cm セメント量 鉄筋 主筋 SD 主筋 SD	□オルケーシング □拡底杭 □リバーサーキュレーション □アースドリル □ミニアース □BH □深礎 □手堀 □機械掘	日本建築センター認定 第 号 年 月 日

## 6. 鉄筋コンクリート工事

### (1) コンクリート

■コンクリートはJIS認定工場の製品とし、施工に関してはJASS5による。

■セメントは、JIS R 5210のポルトランドセメントを標準とする。

■調査計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。

■寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当たる場合は、調査、打ち込み、養生、管理方法などの必要事項について、工事監理者の承認を得ること。

■フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で(社)国土開発技術研究センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真(カラー)を保管し承認を受けること。

測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。

■構造体コンクリートについて、現場の圧縮強度試験供試体(JASS 5T-603)は、標準養生とし、採取は打ち込み工区ごと、打ち込み日ごととする。

また、打ち込み量が150m3を超える場合は150m3ごと、またはその端数ごとに一回を標準とする。  
なお、供試体の数量は、特別の指示がない場合は1回当たり、6本以上とし、そのうち4週用に3本を用いる。

■ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ち、コンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技師または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み断続中に打ち継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25℃未満の場合は150分、25℃以上の場合は120分以内とする。

■レベル調整のためベースモルタルを使用する場合は、柱建て後、無収縮モルタルを充填することとする

課長	主査等	担当者	図面内容	(仮称)防災備蓄基地新築工事	図面番号	S-01
				構造設計標準仕様(1)		
			縮尺	NS		

## 構造設計標準仕様(2)

### 6. 鉄筋コンクリート工事

#### (2) 鉄筋

- 鉄筋はJIS G 3112の規格品を標準とする。
- 鉄筋の加工寸法、形状、被り厚さ、鉄筋の継ぎ手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)(2)」による。
- D19未満は、全て重ね継手とする。継手(D19以上)をガス圧接とする場合は、日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。
- ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと(200箇所を超える場合は200箇所ごと)に1回行い、1回の試験は5本以上とする。
  - 外観検査 有 無
  - 引張試験 有 無
  - 超音波探傷試験 有 無
- 柱の帯筋(HOOP)の加工方法は、下記とする。
  - H型(タガ型)
  - H型(溶接型)
  - H型(スパイラル型)
- コンクリート及び鉄筋の試験は「建築物の工事における試験及び検査に関する東京都取扱要綱」第4条の試験機関で行うこと。
  - 試験機関名 未定
  - 代行業者名 未定
  - ※代行業者名とは、試験、検査に伴う業務を代行する者をいう。

#### (3) 型枠

- 材料 合板、厚12mmを標準とする。
- 施工はJASS 5による。
- 型枠存置期間

種類 部位	せき板				
	基礎・はり側・壁		スラブ下・はり下		
セメントの種類	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	
存置期間の平均気温		高炉セメントA種 シリカセメントA種		高炉セメントA種 シリカセメントA種	
コンクリートの材齢日( )	15℃以上	2	3	4	6
	5~15℃	3	5	6	10
	5℃未満	5	8	10	16
コンクリートの圧縮強度	5N/*		5N/*		

種類 部位	支柱			
	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント	
セメントの種類		高炉セメントA種 シリカセメントA種	普通ポルトランドセメント	
存置期間の平均気温			高炉セメントA種 シリカセメントA種	
コンクリートの材齢日( )	15℃以上	8	17	28
	5~15℃	12	25	28
	5℃未満	15	28	28
コンクリートの圧縮強度	設計基準強度の 12N/* かつ 85%		100%	

- (注1)片持ち梁、庇、スパン90m以上のはり下は、工事監理者の指示による。
- (注2)大梁の支柱の盛替は行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。
- (注3)支柱の盛り替えは必ず直上階のコンクリート打設後とする。
- (注4)盛り替え後の支柱頂部には、厚い受板、角材又はこれに代わるものを置く。
- (注5)支柱の盛り替えは、小梁が終わってからスラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って盛り替えをしてはならない。
- (注6)上記以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

### 7. 鉄骨工事

#### (1) 鉄骨製作工場のグレードの指定

- S H M R J ■指定なし

#### (2) 鉄骨工事は指示の無い限り下記による。

- 日本建築学会「JASS 6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」  
※但し、建て入れ精度に関しては「建物の倒れ」を基準とする。

#### (3) 工事監理者の承認を必要とするもの

- 製作工場 ■製作要領書 工作図 施工計画書
- 国土交通省告示第1033号による認定工場(大臣認定 Mグレード以上)
- 材料規格証明書又は試験成績書
  - 鋼材
  - 高力ボルト
- 社内検査表

#### (4) 工事監理者が行う検査項目

- 製品検査 建方検査
- 東京都アーク溶接工事監理規準 (建築構造設計指針第12章)
- 鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要綱 (建築構造設計指針第12章)
- 日本建築学会「鉄骨工事技術指針・工事現場施工編」

#### (5) 接合部の検査

- 溶接部の検査 (検査結果は後日工事監理者に報告すること)

検査箇所	検査方法	検査率または検査数			備考
		社内	第三者	工事監理者	
<input type="checkbox"/> 突合せ溶接部	超音波探傷試験	個	個	個	
■隅肉溶接部	外観(目視)検査	100%	0%	-%	
<input type="checkbox"/>	マクロ試験・その他	個	個	個	
第三者検査機関名					
第三者検査機関とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が受け入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社を言う					

(注1)現場溶接部については原則として第三者による全数検査を行うこと。

(注2)現場溶接部については超音波探傷試験100%行うこと(突合せ溶接に限る)。

- 高力ボルトは「JIS B 1186の高力ボルト」を使用する際の摩擦面の処理は黒皮などを座金外径2倍以上の範囲でショットブラスト、グラインドー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した赤錆状態であること。ただし、ショットブラスト、グラインドー等による処理で表面粗さが50S以上である場合は、赤錆は発生しないままでよい。またリン酸塩処理について、摩擦面はめっき後

- 高力ボルトの締め付けに使用する機器はよく調整されたものを使用し、締め付けの順序は部材が十分密着するよう注意して行う。また、締め付けは原則として一次・二次締めとする。  
締め付け後の検査は、各締め付け工法別に適切な締め付けが行われているか検査する。

### 8. 塗装工事

#### (1) 一般事項

- 日本建築学会「JASS 18」「塗装工事」
- 塗装材料は日本産業規格(JIS)または建築学会材料規格に適合するものとする。

#### (2) 塗装仕様

- 錆止め+仕上げ塗装

工場	塗装仕様		回数	膜厚	塗装方法
	素地調整	シンナー拭きを基本として、動力工具にて(ディスクサンダーワイヤーブラシ等)調整する			
工場	下塗り	鉛・クロムフリーさび止めペイント JIS K 5674 1種 同等 合成樹脂調合ペイント1種上塗り	1回	30μm	吹付・刷毛・ローラー
	上塗り	色: ブラウン (09-20B) 艶あり	1回	30μm	吹付・刷毛・ローラー

- 溶融亜鉛メッキ

工場	塗装仕様		付着量	塗装方法
	素地調整	シンナー拭きを基本として、動力工具にて(ディスクサンダーワイヤーブラシ等)調整する	HDZT 49~HDZT 77 350~550 g/m <sup>2</sup>	浸漬
		溶融亜鉛メッキ JIS H 8641		

※付着量は(一社)日本溶融亜鉛鍍金協会の仕様を準拠とする。

- 防錆塗装の範囲は、高力ボルトの摩擦面およびコンクリートで被覆される以外の部分とする。

- ベースプレート下面は防錆塗装を行う。

#### (3) 検査

- 目視と膜厚計により確認を行うものとする。
- 塗膜に目立つ凹凸や垂れはサンドペーパー等で平滑にした後、再塗装とする。
- 塗装厚が不足した場合は増し塗りとする。

#### (4) 色

- 鉄骨各部位の色については、打ち合わせ等により決定とする。

### 9. 設備関係

- 特記以外の梁貫通孔は原則として設けない。設ける場合は設計者の承認を得ること。
- 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い、工事監理者に報告すること。
- 床スラブ内に設備配管等を埋め込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし、管の間隔を5cm以上とする。

### 10. その他

- 緒官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
- 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い、工事監理者に報告すること。

課長	主査等	担当者	図面内容	(仮称)防災備蓄基地新築工事 構造設計標準仕様(2)	図面番号	S-02
			縮尺	NS	区分	

# 鉄筋コンクリート構造配筋標準図

## 1. 一般事項

1-1. 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。

### 1-2. 記号

d	異形棒鋼の呼び名に用いた数値 丸鋼では径	R	直径	ST	あばら筋
h0	部材間の内法距離	@	間隔	HOOP	帯筋
h0	部材間の内法高さ	r	半径	S. HOOP	補強帯筋
D	部材の成	●	中心線	φ	直径または丸鋼

## 2. 鉄筋加工・かぶり

### 2-1. 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°	折曲げ角度90°はスラブ筋・壁筋の末端部またはスラブと同時に打ち込むT形およびL形梁のキャップタイのみに用いる。
図				
鉄筋の余長	4d以上	6d以上(※4d以上)	8d以上(※4d以上)	

折曲げ内法寸法Rは、SR235は3d以上、SD295、SD345のD16以下は、3d以上、D19以上は4d以上

※片持スラブ上端筋の先端

### 2-2. 鉄筋中間部の折曲げの形状 鉄筋の折曲げ角度90°以下

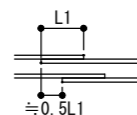
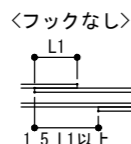
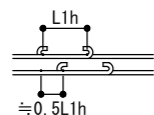
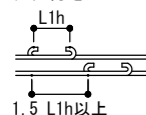
図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折り曲げ内のり寸法(R)
	帯筋 あばら筋 スパイラル筋	SR235, SD295 SD345	16φ以下 D16以下	3d以上
	上記以外の鉄筋	SR235, SD295 SD345	16φ以下 19φ~25φ D19~D25 28φ~32φ D29~D38	4d以上 6d以上 8d以上

### 2-3. 鉄筋の重ね継手及び定着の長さ

【重ね継手】	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲(N/mm <sup>2</sup> )	SD295	SD345	SD390	SD490
フック付き重ね継手の長さ[L1h]	18 21 24~27	35d 30d 25d	35d 30d 30d	— 35d 35d	— — 40d
フックなし重ね継手の長さ[L1]	18 21 24~27	45d 40d 35d	45d 40d 40d	— 50d 45d	— — 55d

1. 末端のフックは、重ね継手の長さに含まない
2. 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
3. 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
4. D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
5. 軽量コンクリートの場合は表の値に[5d]を加えたものとする。

※ 重ね継手（下図のいずれかとする）  
＜フック付き＞



【定着長さ】	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲(N/mm <sup>2</sup> )	SD295	SD345	SD390	SD490
フック付き定着の長さ[L2h]	18 21 24~27	30d 25d 20d	30d 25d 25d	— 30d 30d	— — 35d
直線定着の長さ[L2]	18 21 24~27	40d 35d 30d	40d 35d 35d	— 40d 40d	— — 45d

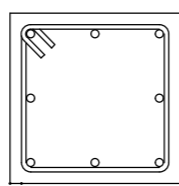
1. フック付きの定着長さは定着起点からフックの折り曲げ開始点までの長さとする。
2. 軽量コンクリートを使用する場合は表の値に[5d]を加えたものとする。

\* 定着（下図のいずれかとする）  
＜フック付き＞



### 2-4. かぶりの厚さ

ひびわれ誘発目地部など鉄筋のかぶり、厚さが部分的に減少する箇所についても最小かぶり厚さを確保する。

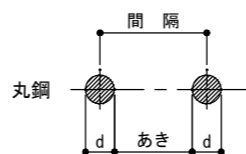
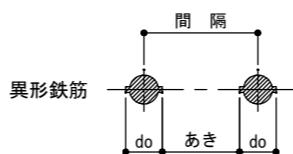


部 位	設計かぶり厚さ (mm)		最小かぶり厚さ (mm)	
	設計かぶり厚さ (mm)	最小かぶり厚さ (mm)		
土に接しない部分	屋根スラブ	屋内	30	20
	床スラブ	屋外	40 <sup>(1)</sup>	30 (20)
	非耐力壁	屋内	40	30
	柱はり耐力壁	屋外	50 <sup>(2)</sup>	40 <sup>(1)</sup> (30)
土に接する部分	擁壁		50 <sup>(3)</sup>	40
	柱・梁・床スラブ・耐力壁		50	40 <sup>(4)</sup>
	基礎・擁壁		70	60 <sup>(4)</sup>

- 【注】(1) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて30mmとすることができる。  
 (2) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて40mmとすることができる。  
 (3) コンクリートの品質および施工方法に応じ、工事監理者の承認を受けて40mmとすることができる。  
 (4) 軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。  
 (5) ( ) 内は仕上げがある場合。

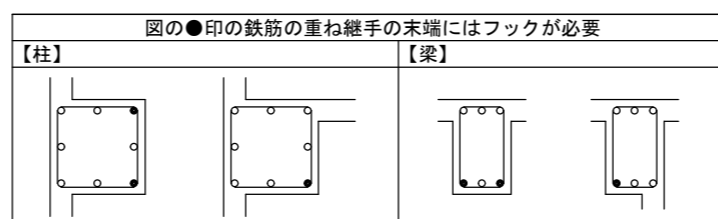
### 2-5. 鉄筋のあき

丸鋼では径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25以上



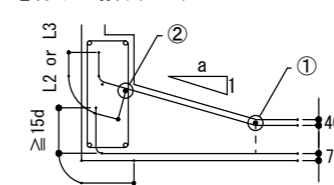
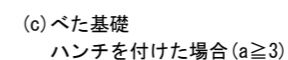
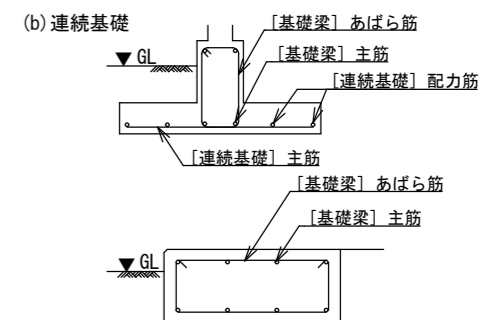
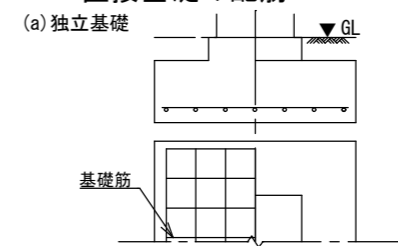
### 2-6. 鉄筋のフック (a~fに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける)

[a]丸鋼 [b]あばら筋・帯筋 [c]煙突の鉄筋 [d]柱・梁(基礎梁は除く)の出隅部分の鉄筋(下図参照)  
[e]単純梁の下端筋 [f]その他、本配筋標準に記載する箇所



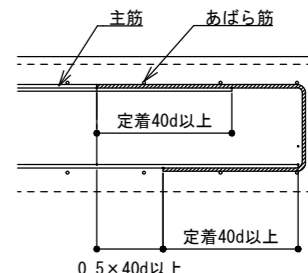
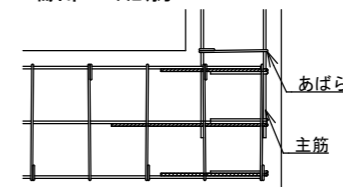
## 3. 基礎

### 3-1. 直接基礎の配筋



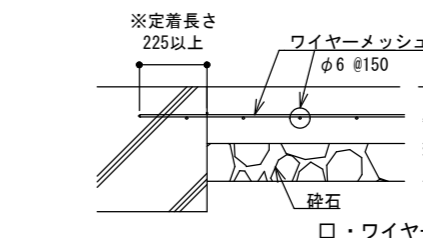
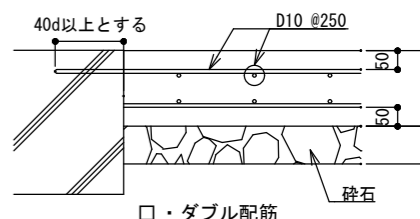
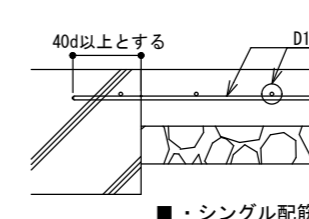
1. 耐圧版鉄筋の継手位置は床スラブにならう但し上筋と下筋を読みかえる
2. ①の鉄筋はスラブ主筋の径以上とする
3. ②の鉄筋はD13以上
4. 埋め戻し土のある場所は40を70とする

### 3-2. 端部の配筋



### 3-3. 配筋要領

- ・防湿シートなし
- ・防湿シートあり

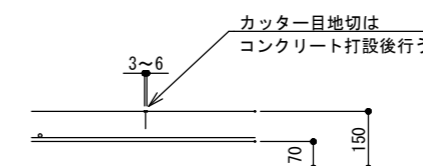


### 3-4. 目地仕様

- ・標準仕様から変更がある場合は、監理者の承認を得ること。
- ・目地間隔は目地割付図による。指定がない場合は4~5m間隔で、できる限り正方形に近くなよう計画する。
- ・目地切までの間は、土間コンクリート表面の乾燥を防ぐため散水養生を行う。

#### (a) 誘発目地仕様

- ・充填材なし □・充填材あり



# 鉄骨構造標準図

## 1. 一般事項

### (1) 材料および検査

- 構造設計仕様による
- 適用範囲は鋼材を用いる工事に適用し、且つ鋼材の厚さが40mm以下のものとする。
- 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他結果を添付する。

### (2) 工作一般

- 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し、工事監理者の承認を得る。
- 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による。
- 高張力鋼の歪み矯正は冷間矯正とする。

### (3) 高力ボルト接合

- 本締めに使用するボルトと仮締めボルトを併用してはならない。

### (4) 溶接接合

- 溶接技能者は施工する溶接に適用するJIS Z3801(手溶接)またはJIS Z3841(半自動溶接)の溶接検定試験に合格し、引き続き半年以上溶接に従事している者とする。

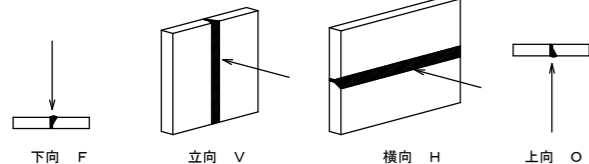
#### b. 溶接器具

- 交流アーク溶接機 300A\*500A
- アークエアガウジング機(直流)
- サブマージアーク溶接機一式
- 炭酸ガスアーク半自動溶接機
- 溶接電流を測定する電流計
- 溶接棒乾燥機

#### c. 溶接方法

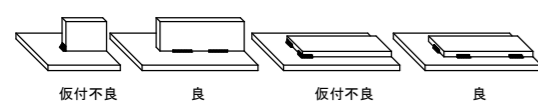
- アーク手溶接(MC)
- セルフ(ノンガス)シールドアーク半自動溶接(NGC)
- アークエアガウジング(AAG) ガスシールドアーク半自動溶接(GC)

#### d. 溶接姿勢



- 組み立て溶接技能者は原則として本工事に従事するものが行う。

#### イ. 仮付け位置



組み立て溶接は溶接の始端・終端・隅角部などの強度上、工作上問題となりやすい箇所は避ける。

- 完全溶け込み溶接部の仮付け溶接は必ず裏はつり側に施工する。

#### f. 溶接施工

##### イ. エンドタブ

- 完全溶け込み溶接・部分溶け込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先状のエンドタブを取り付ける。
- エンドタブの材質は母材と同等とする。

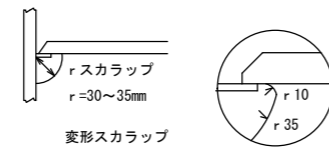
- エンドタブの長さは、MC:35mm以上、NGC・GC:40mm以上とし、特記のない場合は溶接終了後、母材より10mm程度残して切断し、グラインダー仕上げとする。

- プレス鋼板タブ、固形タブ使用については、資料を提出して設計者又は工事監理者の承認を得る。

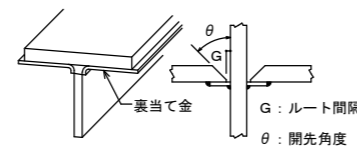
#### ロ. 裏当て金

材質は母材と同質とし、厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上とする。

- スカラップは半径30mm\*35mmと10mmのダブルアールとする。ただし、梁せいが150mm未満の場合のスカラップはr=20mmとする。



#### ニ. ノンスカラップ工法



#### ホ. 裏はつり

基準図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て溶接管理者の確認を励行し、部材に確認マークをつける。

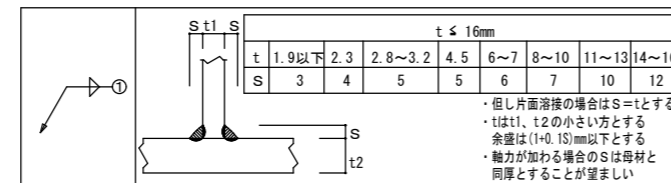
- 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆剤を塗布する。また、開先を傷めないように養生を行う。

### (5) 塗装

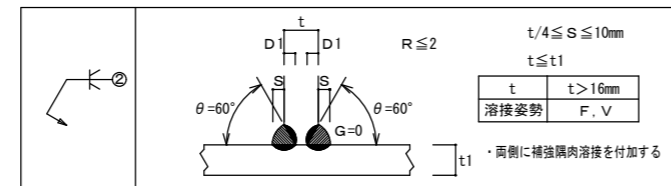
コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は塗装しない。

## 2. 溶接基準図

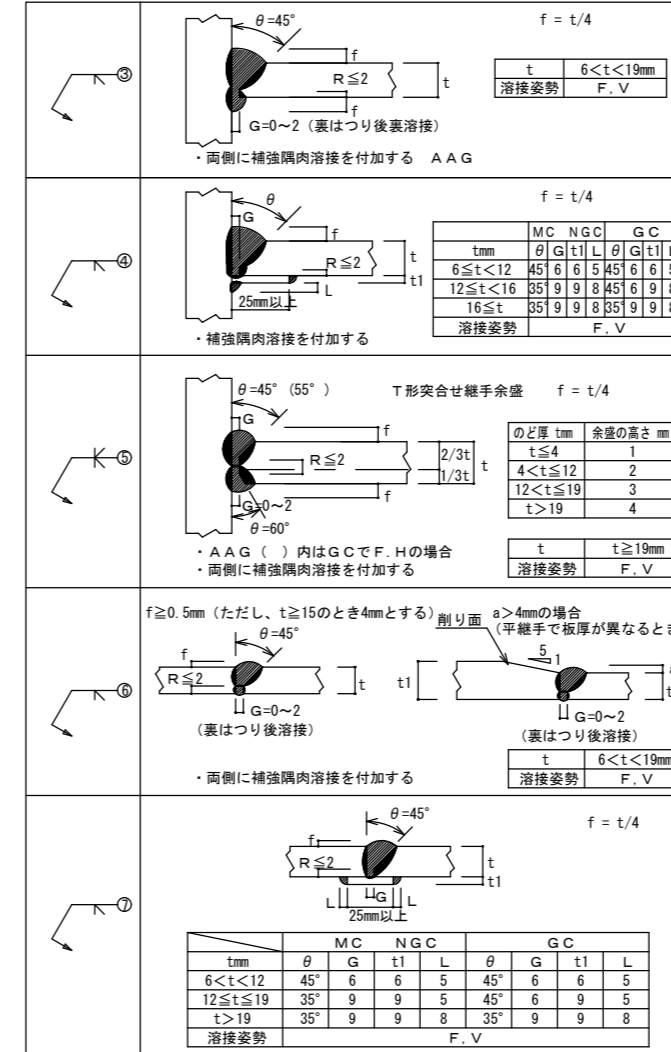
### (1) 隅肉溶接 (注) f:余盛 G:ルート間隔 R:フェース S:脚長 (単位 mm)



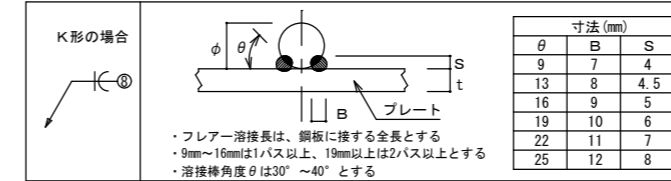
### (2) 部分溶け込溶接



### (3) 完全溶込み溶接 (平継手 T継手)



### (4) フレー溶接



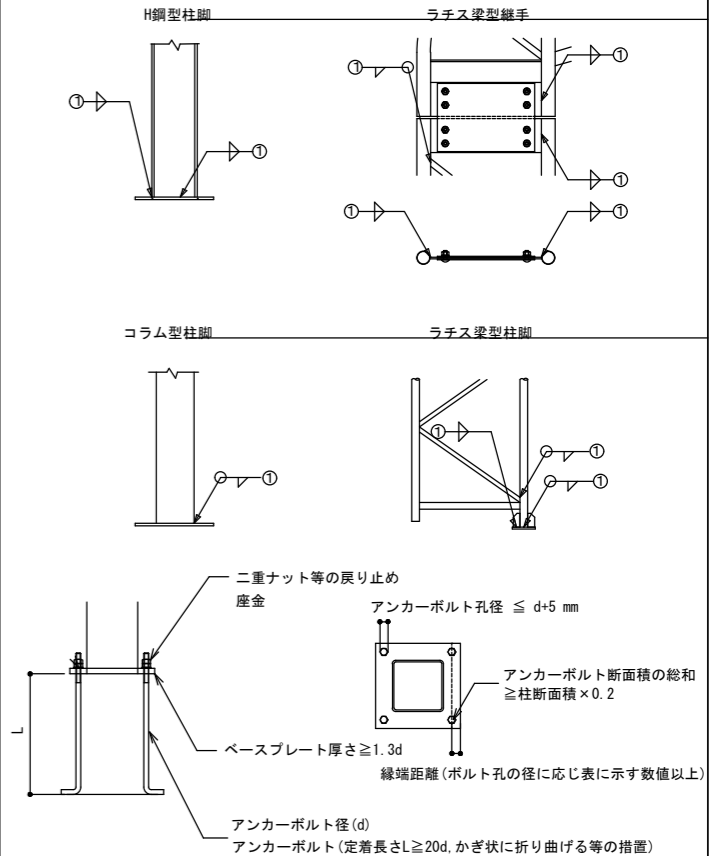
## 3. 縁端距離

### ボルトピッチ (P)、ボルト穴径・最小縁端距離 (mm)

呼び	ボルト穴径	最小縁端距離 (e)			ピッチ (P)	
		(1)	(2)	(3)	最小	標準
M16	18.0	40	28	22	40	60
M20	22.0	50	34	26	40	70
M22	24.0	55	38	28	40	80
M24	26.0	60	44	30	45	90

- [注] (1) 引張材の接合部で応力方向にボルトが3本以上並ばない場合の応力方向の縁端距離  
 (2) せん断線・手動ガス切断線の場合の縁端距離  
 (3) 圧延線・自動ガス切断線・のこ引き線・機械仕上線の場合の縁端距離

## 4. 継手・柱脚



## 5. ブレース標準図

※ターンバックル筋交いの計算図表 (JIS A 5540) に準じたブレースを使用する

ネジの呼び (d)		M12	M14	M16
軸径 (d1)	最大	10.81	12.65	14.65
	最小	10.64	12.46	14.46
調整ねじの長さ (Ss)		100	115	125
取付けボルトの穴径 (R)		13	17	17
端あき (最小) (e1)		35	40	45
切板製	へりあき (e2)	22	28	28
	板厚 (bt)	4.5	6	6
平鋼製	へりあき (e2)	19	25	25
	板厚 (bt)	4.5	6	6
ボルト端から取付けボルト穴心のあき (最小) (e3)		47	52	59
溶接長さ (最小) (Lb)		40	50	55
取付けボルト	種類	JIS B1186 (F10T)		
	ねじの呼び	M12	M14	M16
	本数	1	1	1

※ターンバックル筋交いのボルト締付けに関しては、高力ボルトによる一次締めとする。

# 膜工事特記仕様書

## 1. 工事概要

別途建築概要等による。

## 2. 工事仕様

### 2-1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載のない事項は共通仕様書(骨組膜構造)の該当部分を適用する。

### 2-2. 特記仕様

- (1) 項目は■印の付いたものを適用する。  
(2) 特記仕様は※印が付いたものを適用し、他に■印の付いたものが有る場合は両方について適用する。また、該当しない項目等がある場合は、当該項目を取り消し線で削除すること。

## 【1章】 共通事項

### 1-1. 適用基準等

本特記仕様書は膜工事に係る部分について適用する。膜工事は施工要領書に基づいて行われるほか、必要に応じて係員と協議の上施工する。また指示のない限りは下記適用基準によるほか、別紙当社標準図による。

- 平成14年国土交通省告示第666号  
□日本建築センター「膜構造の建築物・膜材料等の技術基準及び同解説」

### 1-2. 施工条件

※現場説明書による。

### 1-3. 設計GL

※建築図面に図示(平均GL面)

### 1-4. 膜材料等

※塩ビシートはシックハウス規制対象品に該当しない。  
また、石綿その他の著しく衛生上有害な建築材料は使用しない。本工事に使用する膜材料及びこれに関する建築材料は、設計図書に規定するもの、またはこれらと同等以上のものとする。

### 1-5. 提出書類

- 膜製作要領書 □膜施工要領書 ■膜製品検査書  
■膜製品出荷証明書 ■鉄骨製作要領書 ■施工計画書  
■鉄骨製品検査書

### 1-6. 検査等

- 製品自主検査

## 【2章】 膜工事

### 2-1. 認定等

- 確認申請 □型式認定 □その他( )

### 2-2. 構造型式

- 骨組膜構造

### 2-3. 使用膜材料(国土交通大臣認定品を使用)

膜材料が告示に規定する基準に適合しているかは膜材認定書により確認を行うこと。

- 屋根・壁

□ウルトラマックス(塩ビ樹脂塗装 / ポリエステルクロス)

[法37条第二号]に適合	MMEM-9036
[令109条の5第一号]に適合	UW-9019

- ヒット100F(塩ビ樹脂塗装 / ガラスクロス)

[法37条第二号]に適合	MMEM-9017
[法第2条第九号][令108条の2の2]に適合	NM-5063

□ダイナスター-B300(塩ビ樹脂塗装 / ガラスクロス)

[法37条第二号]に適合	MMEM-0033
[法第2条第九号][令108条の2の2]に適合	NM-2577

□燃え抜け防止膜

□KS2500(ガラスクロス) ※使用膜材料 UW-9019 との組合せ可能認定番号

[令109条の5第一号、第二号]に適合	UR-9010
---------------------	---------

### 2-4. 屋根の形状

■ 切妻屋根	□ 片流れ屋根	□ その他( )
屋根勾配	□2寸勾配 □3寸勾配	■その他( )

### 2-5. 支点間距離等

※膜面における支点間距離は図面による。

※骨組等で囲まれた膜面の部分は図面による。

### 2-6. 骨組部分

構造耐力上主要な部分に用いる膜面に使用する鉄骨造その他の構造の骨組は、令第3章第3節から第7節の2までに示されている鉄骨造、鉄筋コンクリート造等の規定によるほか、大臣が安全上必要な技術的基準として定めた構造方法については、その技術的基準に従った構造としなければならない。

### 2-7. 膜材料相互の接合

膜材料相互の接合はいずれかの方法による。

- 高周波溶着 ■熱板溶着 ■熱風溶着  
□縫製 □その他( )

上記方法による接合部の重ね幅は特に指定のない限り次のいずれかによる。

- 20mm □30mm ■40mm □50mm

膜材料相互の接合に合成繊維ローブを用いる場合は次の仕様による。

- この方法によらない

- ①膜端部に合成繊維ローブ等によるローブ芯を入れ、折り返して二重とし縫製又は溶着をする。  
②当該部分にハトメを打ち、レーシングローブで緊結する。

### 2-8. 膜取付部

\*取付ハトメ&ローブ\*

	サイズ	材質
ハトメ	3号 or 4号 or 28号	黄銅
ローブ	径6mm	JIS L2703 (ビニロンローブ)-1992, その他これに類する同等程度のもの

ハトメ強さの試験は、実際に使用するハトメとハトメ取り付け部分を用い、JIS A8952(建築工用シート)-1995に示されているハトメ強さ試験を行うこと。この際、実際に使用される材料及び仕様により引張試験を3体以上の試験体について行い、その平均値を引張耐力とする。

- 既往の試験結果を参照 □端部ハトメ引張試験を実施した  
(新たに試験を実施した場合、試験結果は構造計算書に添付する)

\*ボルト・プレート押え(フラップ定着膜)\*

	サイズ	材質等
膜定着プレート		アルミ

### 2-9. 膜材料の定着部

膜材の骨組等への定着は、中間部及び端部において、それぞれ次の仕様による。なお、これらの仕様については骨組膜構造標準図(当社編)に図示したものを参照。

- [中間定着部] 抱き込み掛かり布  
[端部定着部] 合成繊維ローブを用いた定着

### 2-10. 構造計算

- 構造計算による建築物の安全を確認した。[計算方法: 告示666号第5の規定による]  
□型式認定(型式認定書)  
□構造計算は行わず、仕様規定に基づいている。

### 2-11. 膜材の折りたたみ

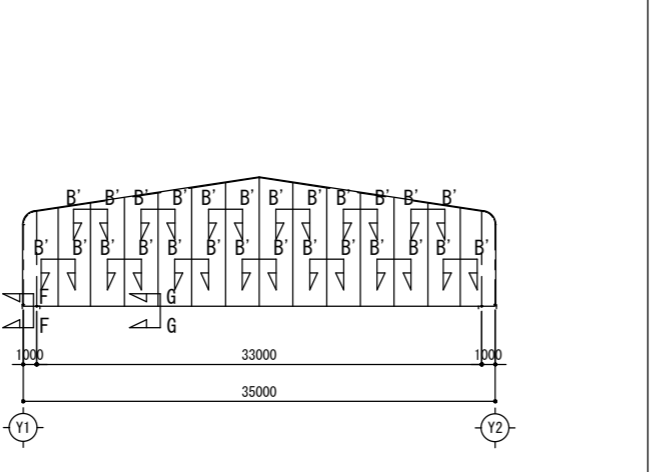
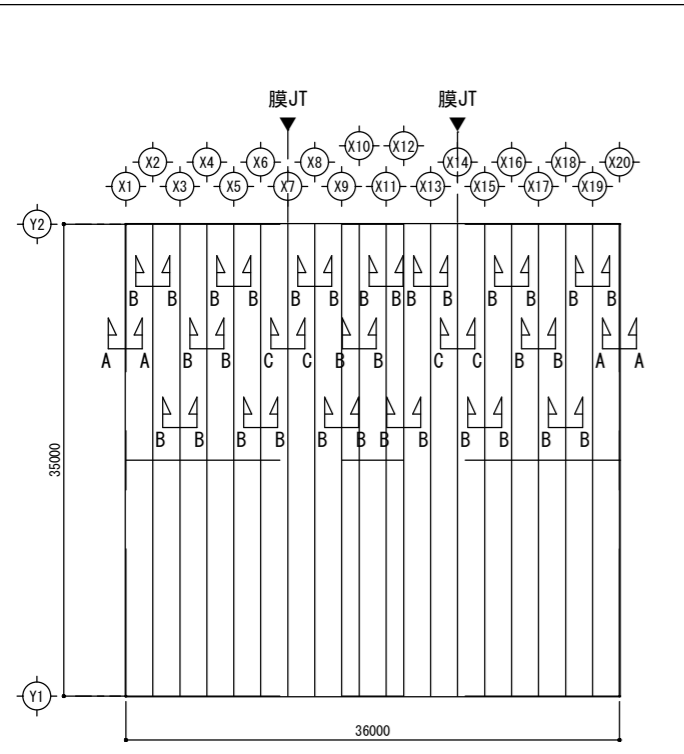
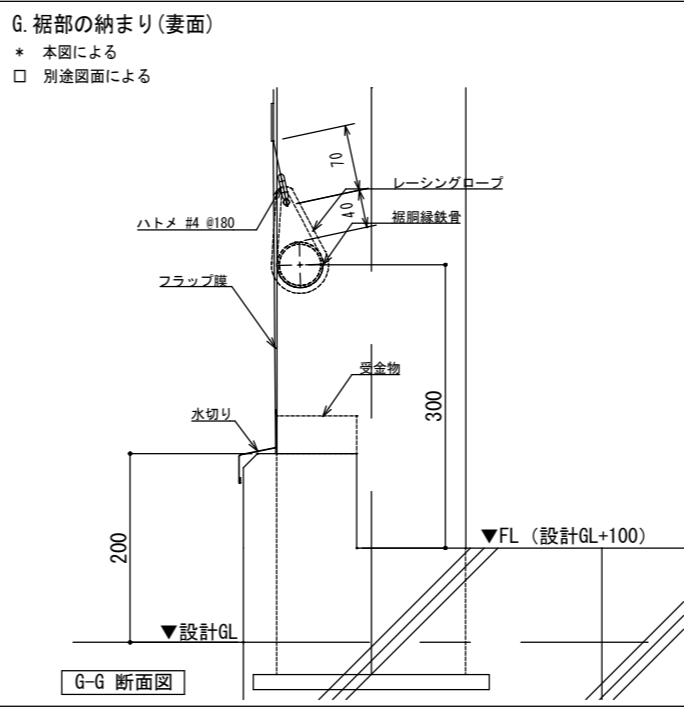
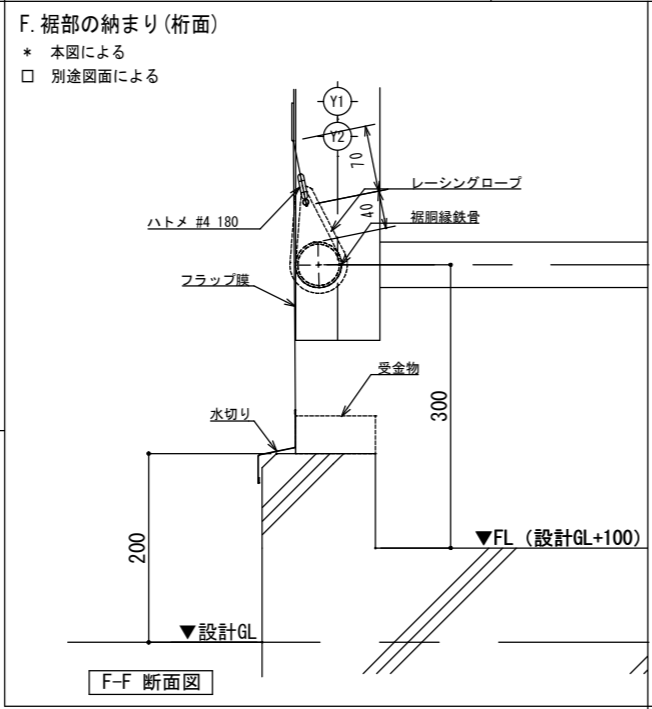
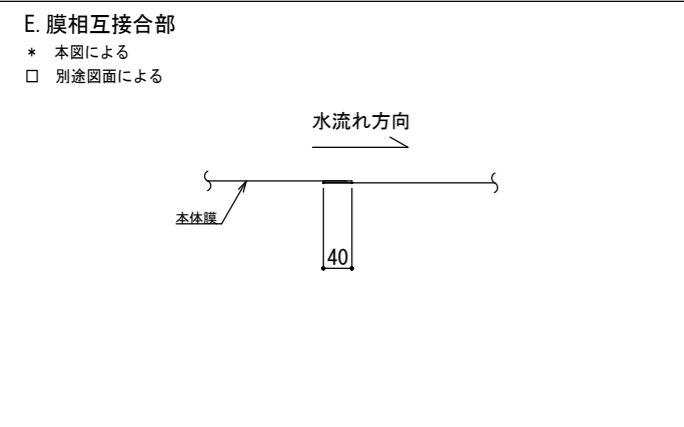
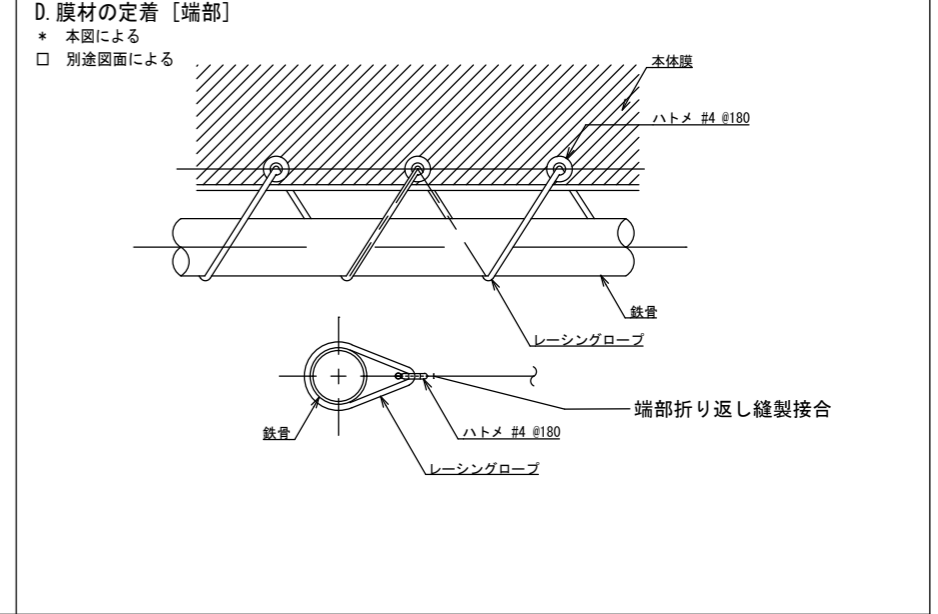
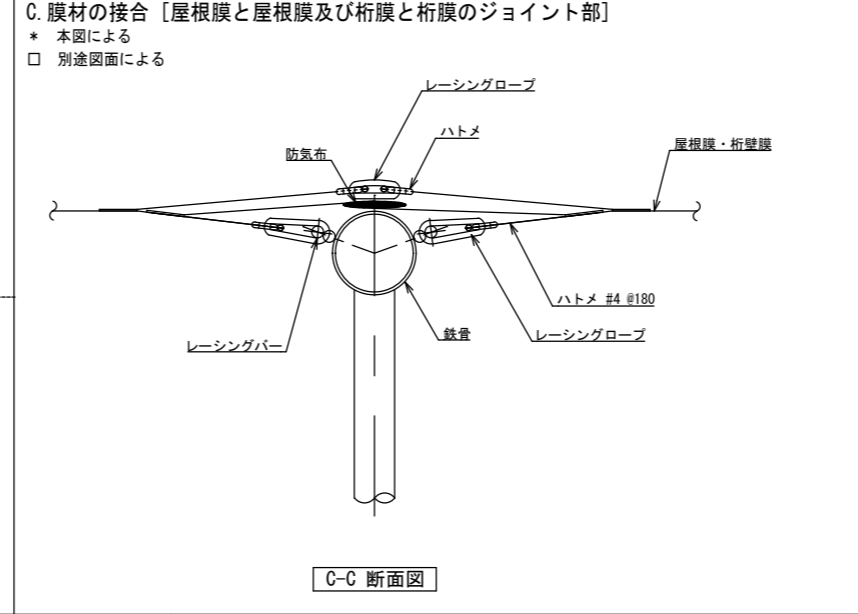
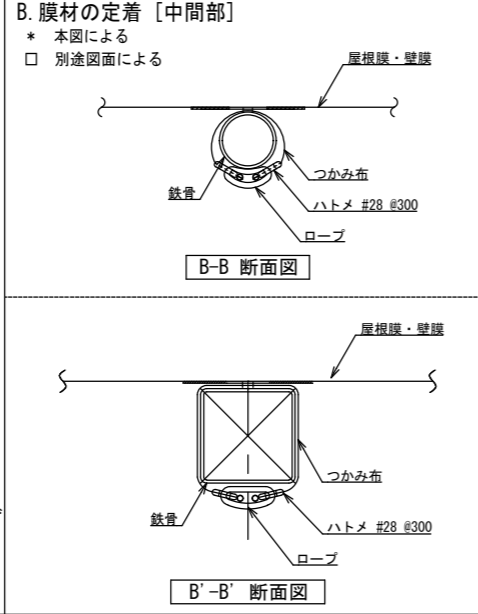
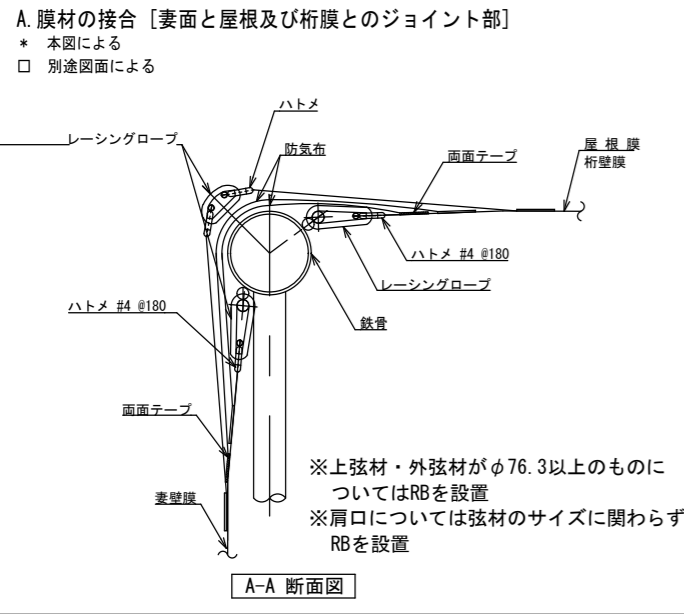
- 膜材の折りたたみを行わない。

### 2-12. 膜材の許容応力度

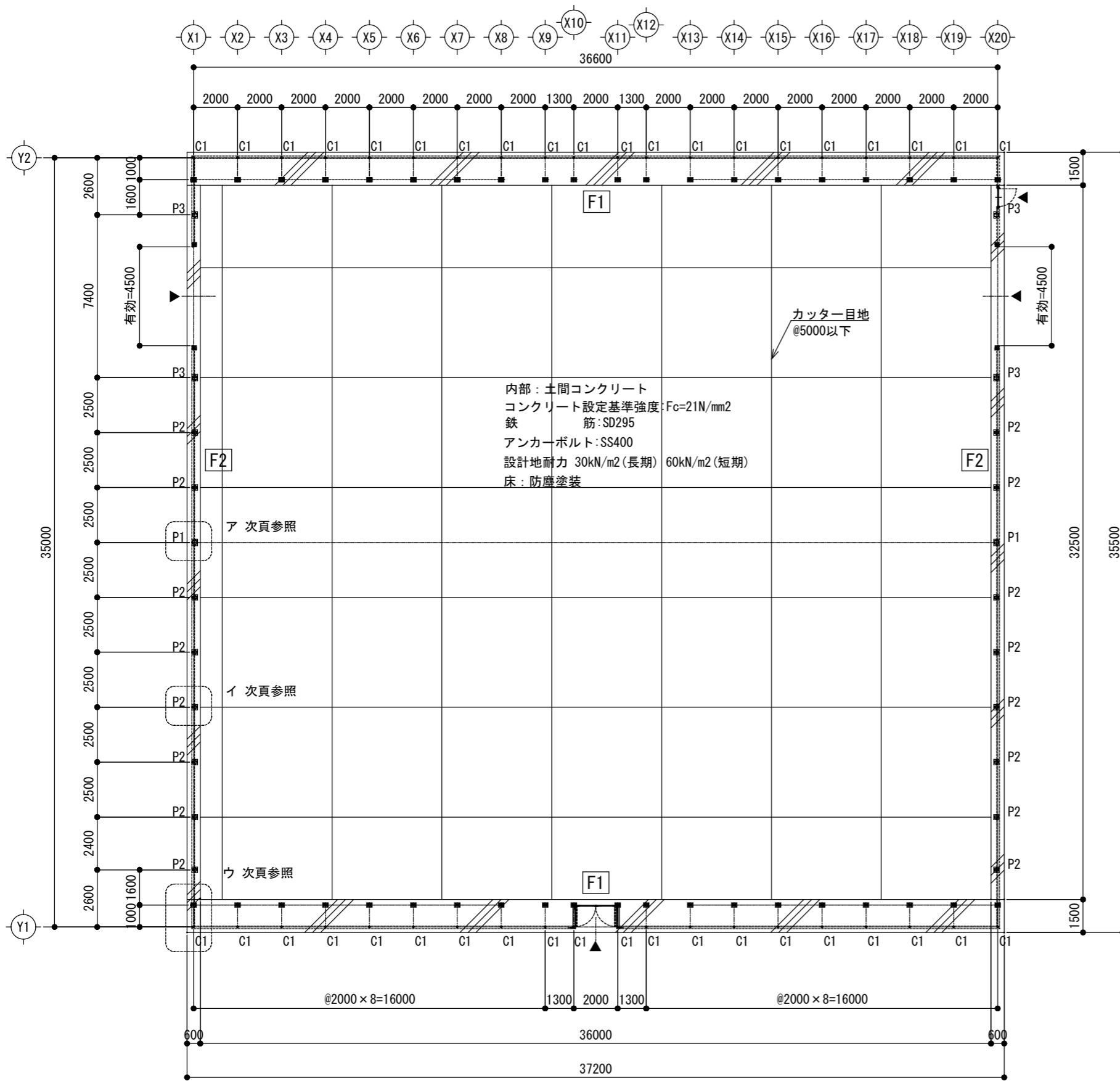
膜材料及び膜材料の定着部の許容応力度等は、膜材認定書に記載のある各諸元もしくは引張試験等の試験結果による。膜材料を定着する骨組等に用いられる鋼材等の許容応力度及び材料強度は、令第3章第8節第3款及び同第4款に定めるところによるほか、JISあるいはメーカーの試験結果等に基づき決定する。

		竣工 図	保 管 期 間 / . . .	訂 正 / . . .	特 記 / . . .	課長	主査等	担当者	図 面 内 容 (仮称) 防災備蓄基地新築工事 膜工事特記仕様書	図 面 番 号 S-05
捺 印 日 期 令和8年3月 / . . .		検 査 者 / . . .	検 査 日 期 / . . .	検 査 者 / . . .	検 査 日 期 / . . .				縮 尺 NS	枚 ノ 内 区 分

【骨組膜構造標準図-膜納まり詳細】

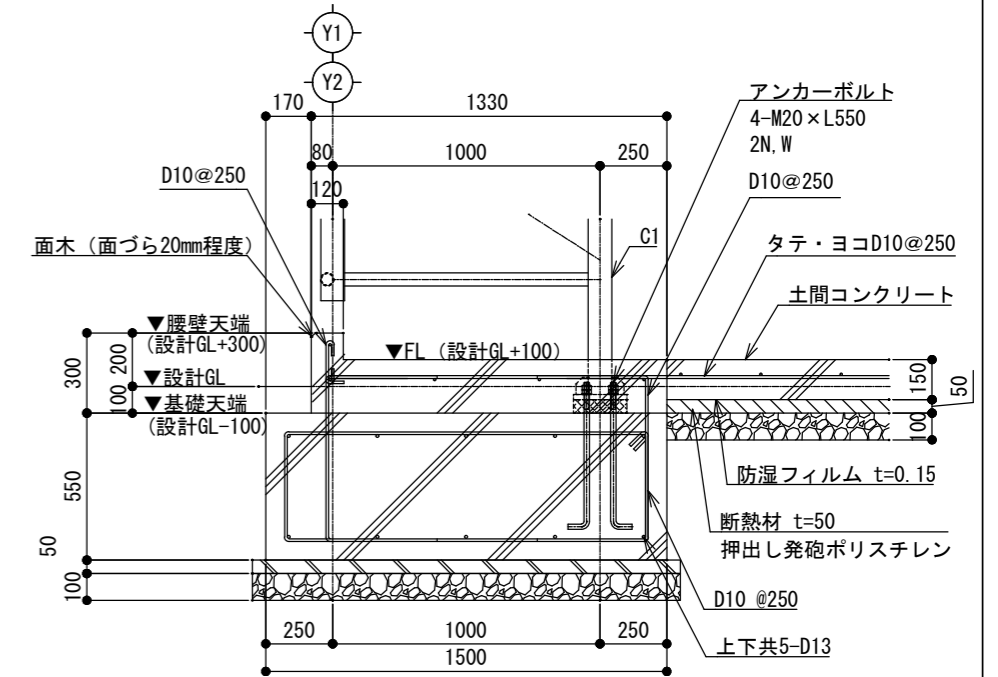


竣工図 令和8年3月	設計 監理 作成	訂正	特記	課長 主査等 担当者	(仮称) 防災備蓄基地新築工事 膜納まり詳細図 NS	図面番号 S-06 校ノ内 区分
		備考	特記			

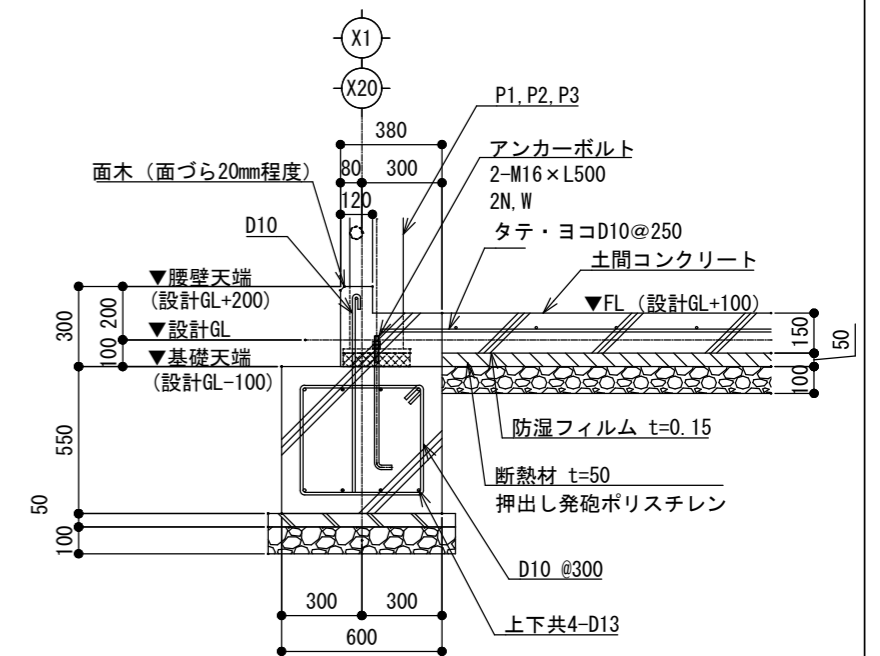


基礎断面詳細図 S=1/20

F1断面詳細図



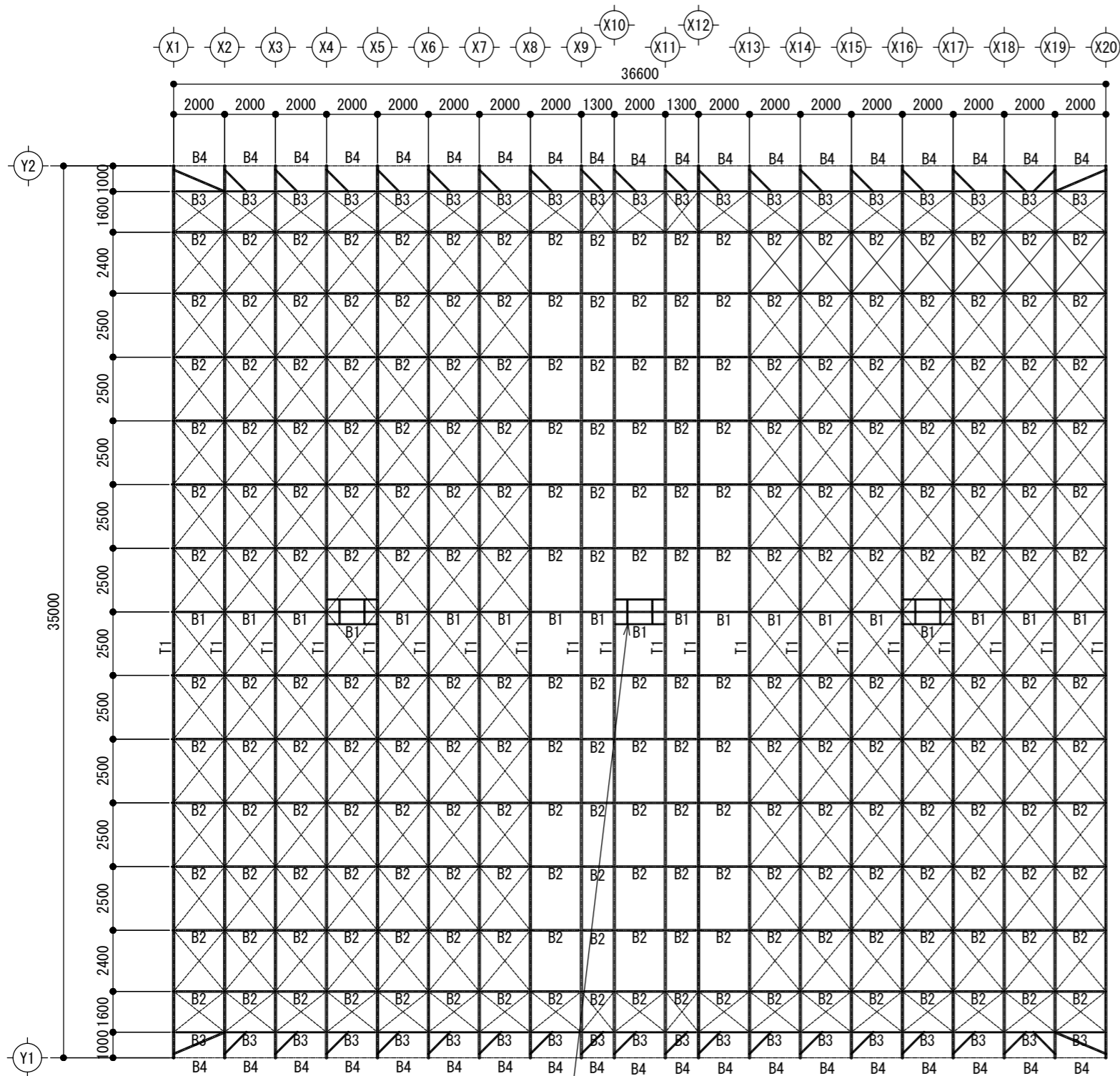
F2断面詳細図



竣工図	保管	訂正	特記
竣工図	変更	訂正	特記
竣工図	確認	訂正	特記
竣工図	作成	訂正	特記

課長	主査等	担当者	図面内容 (仮称) 防災備蓄基地新築工事 基礎伏図・基礎断面詳細図 縮尺 S=1/300・S=1/20 (A2)	図面番号 S-07 枚ノ内 区分
----	-----	-----	---	---------------------------





部材リスト

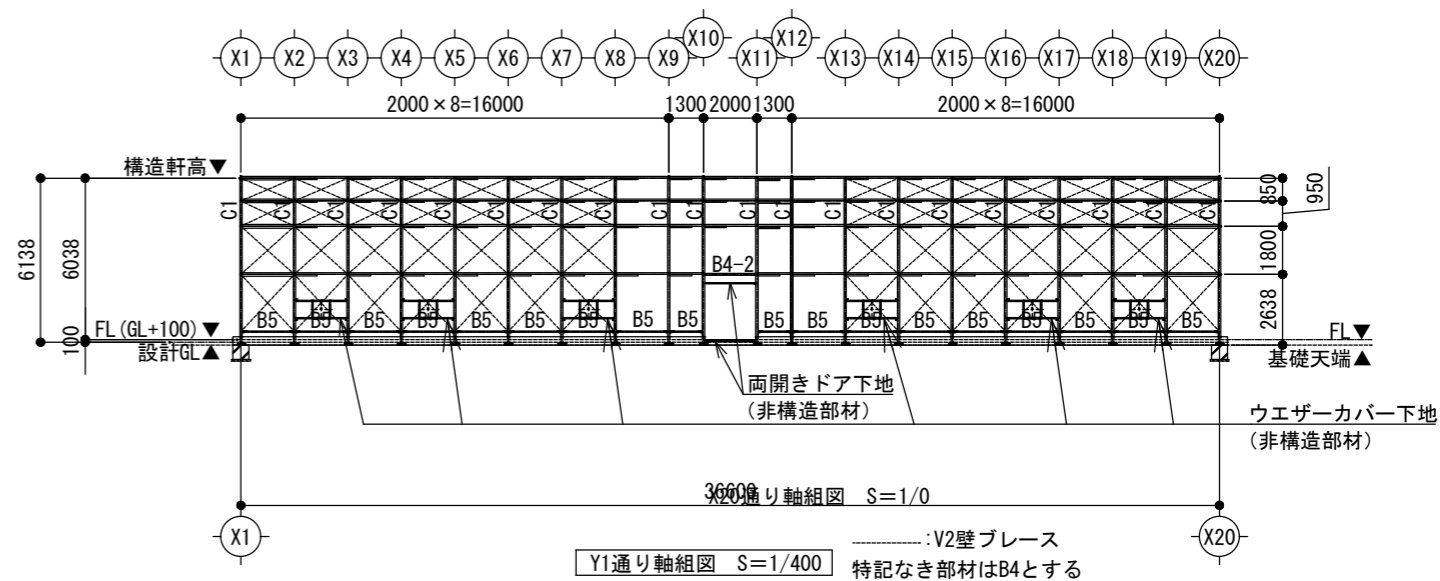
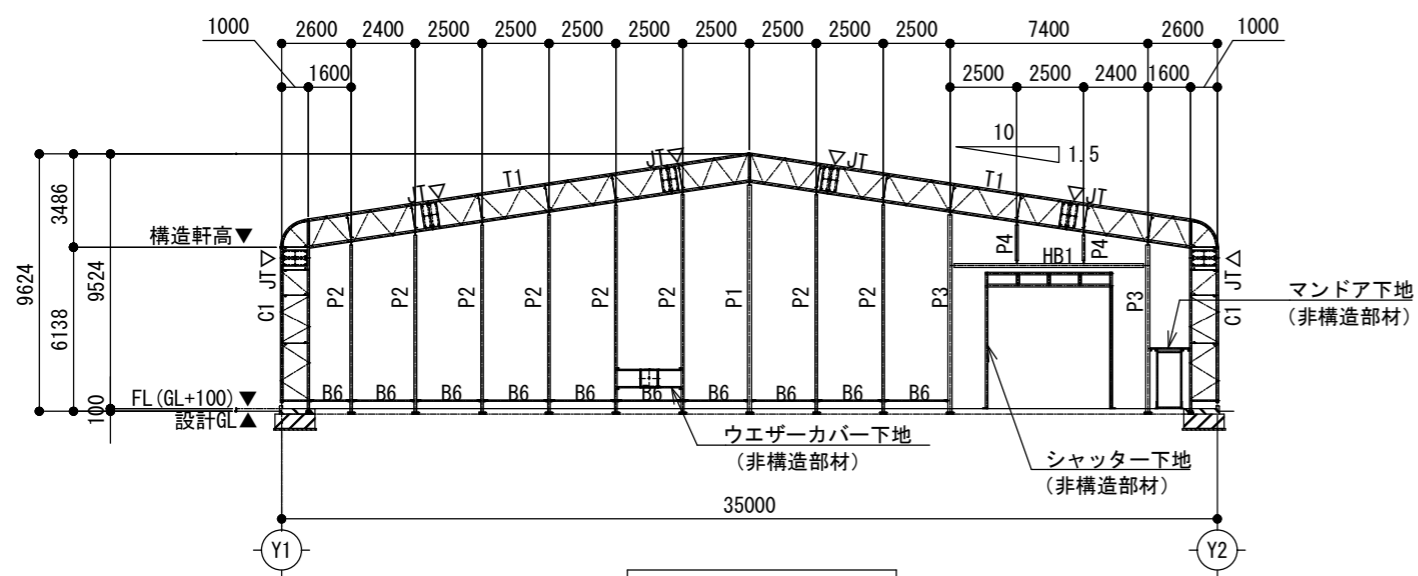
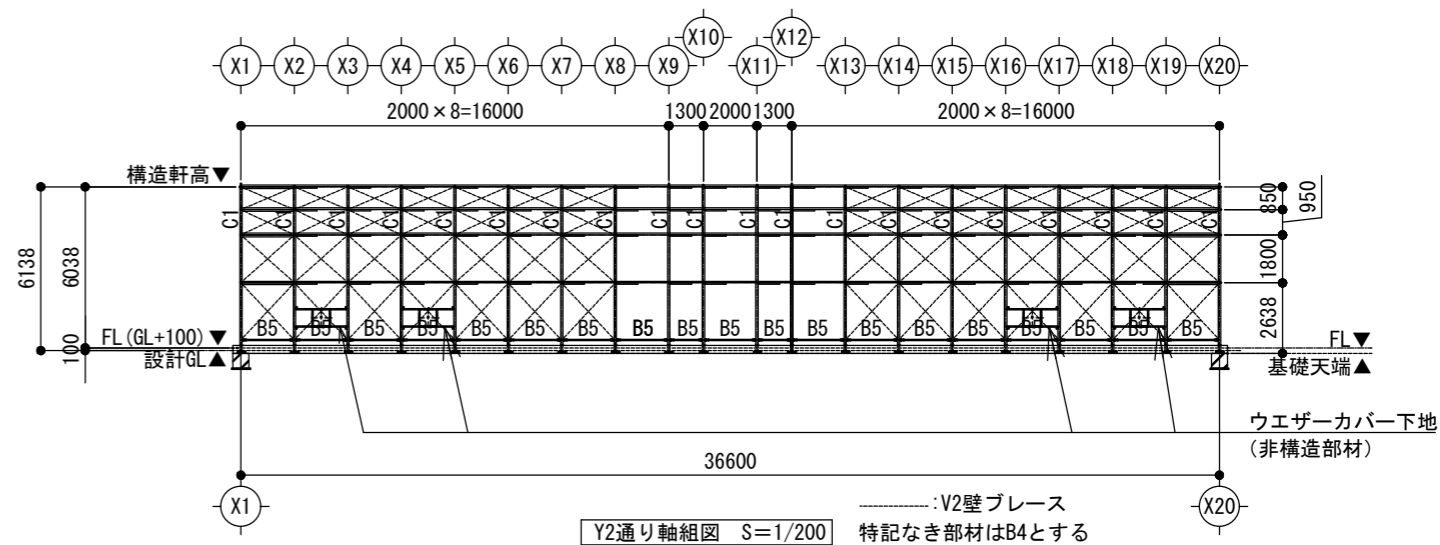
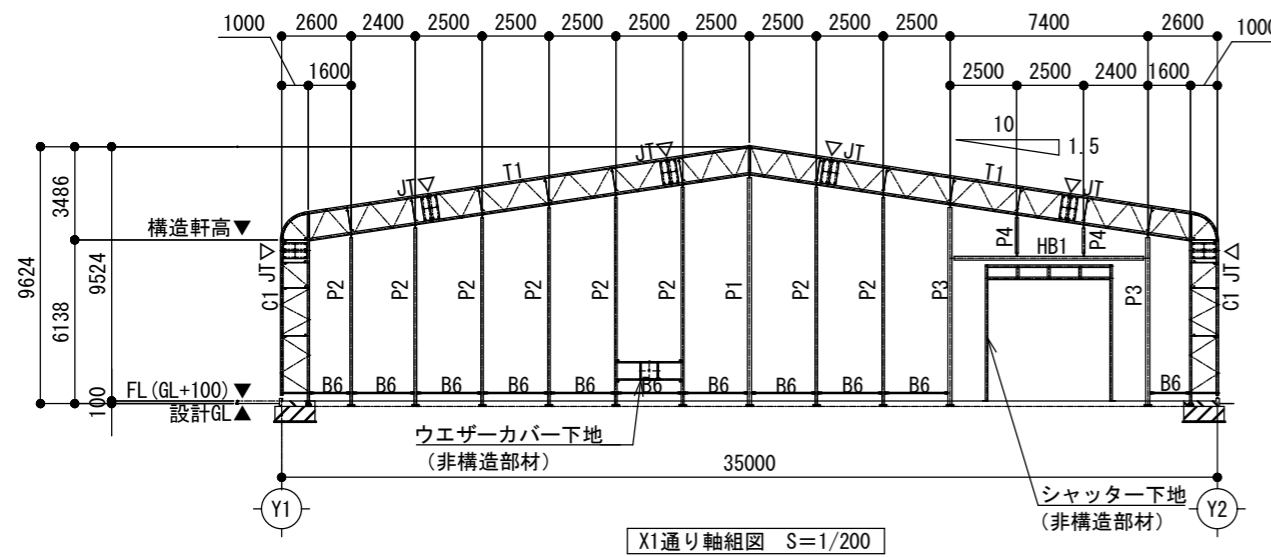
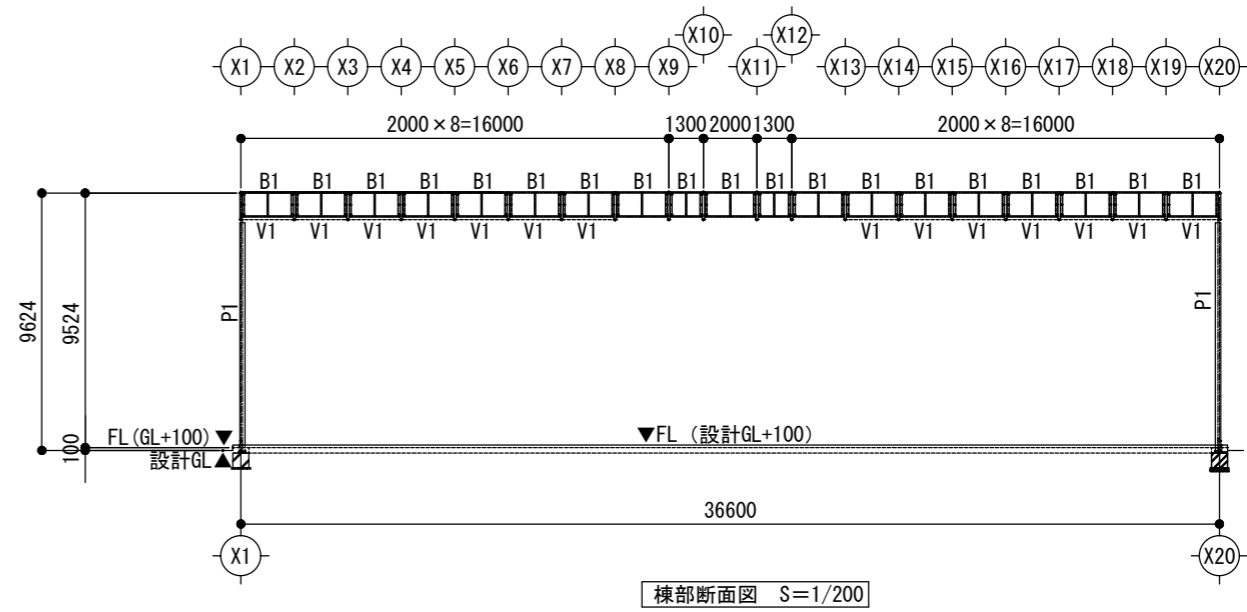
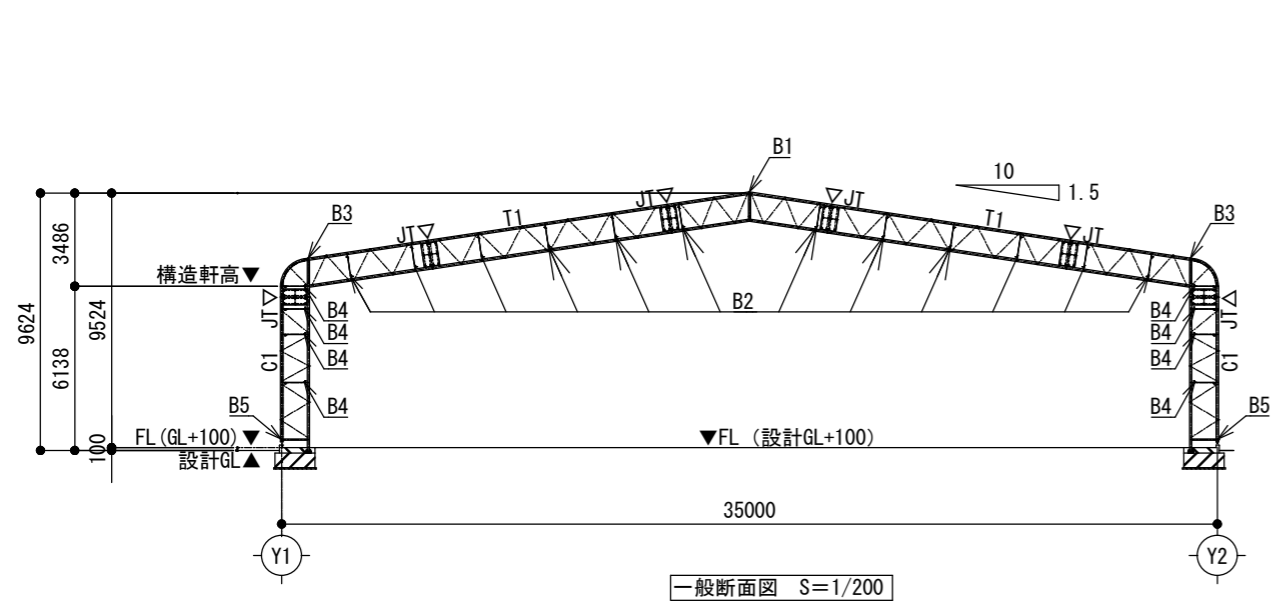
記号	名称	サイズ	材質	品質	形状	有効細長比
C1	柱	主 材 : 2P-89.1φ × 2.8t D=1000	STK 400	JISG3444		87
		ラチス材 : P-42.7φ × 2.3t	STK 400	JISG3444		92
T1	梁	主 材 : 2P-89.1φ × 2.8t D=1000	STK 400	JISG3444		80
		ラチス材 : P-42.7φ × 2.3t	STK 400	JISG3444		92
B1	棟つなぎ	上下主材 : 2P-48.6φ × 2.3t D=900	STK 400	JISG3444		122
		束 材 : P-48.6φ × 2.3t	STK 400	JISG3444		55
B2	屋根つなぎ	主 材 : L-65 × 65 × 6t	SS 400	JISG3101		160
		斜 材 : L-65 × 65 × 6t	SS 400	JISG3101		170
		方 材 : L-50 × 50 × 6t	SS 400	JISG3101		103
B3	屋根つなぎ	上下主材 : 2P-48.6φ × 2.3t D=900	STK 400	JISG3444		122
		束 材 : P-48.6φ × 2.3t	STK 400	JISG3444		55
B4	壁つなぎ	主 材 : L-65 × 65 × 6t	SS 400	JISG3101		160
		斜 材 : L-65 × 65 × 6t	SS 400	JISG3101		163
		方 材 : L-50 × 50 × 6t	SS 400	JISG3101		103
B4-2	壁つなぎ	主 材 : 2□-75 × 75 × 2.3t D=1000	STKR 400	JISG3466		68
		束 材 : □-75 × 75 × 2.3t	STKR 400	JISG3466		34
B5	裾胴縁	主 材 : P-48.6φ × 2.3t	STK 400	JISG3444		-
B6	妻裾胴縁	主 材 : P-48.6φ × 2.3t	STK 400	JISG3444		-
HB1	耐風梁	主 材 : □-200 × 150 × 4.5t	STKR 400	JISG3466		-
P1	間柱	主 材 : □-200 × 150 × 4.5t	STKR 400	JISG3466		141
P2	間柱	主 材 : □-200 × 100 × 4.5t	STKR 400	JISG3466		197
P3	間柱	主 材 : □-200 × 150 × 4.5t	STKR 400	JISG3466		114
P4	束材	主 材 : □-200 × 100 × 4.5t	STKR 400	JISG3466		45
V1	屋根ブレース	M12 建築用ターンバックル付き	SS 400	JISG3101		-
V2	壁ブレース	M12 建築用ターンバックル付き	SS 400	JISG3101		-

高力ボルト	F8T-M16 / F8T-M20
中ボルト	M12 / M16 (B. N. 2W. SW)
アンカーボルト	主材: 4-M20 × L550 / 間柱: 2-M16 × L500
ベースプレート	PL-19t / PL-16t

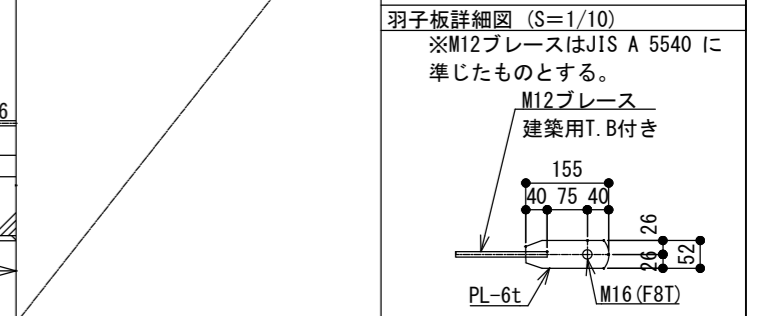
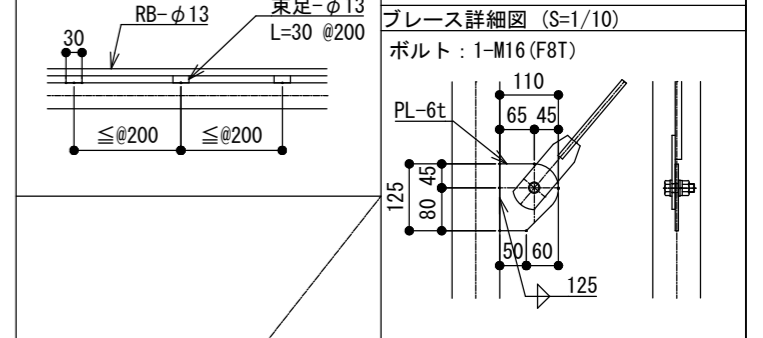
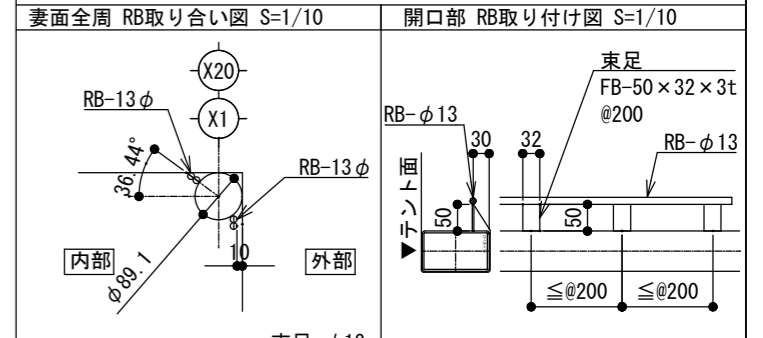
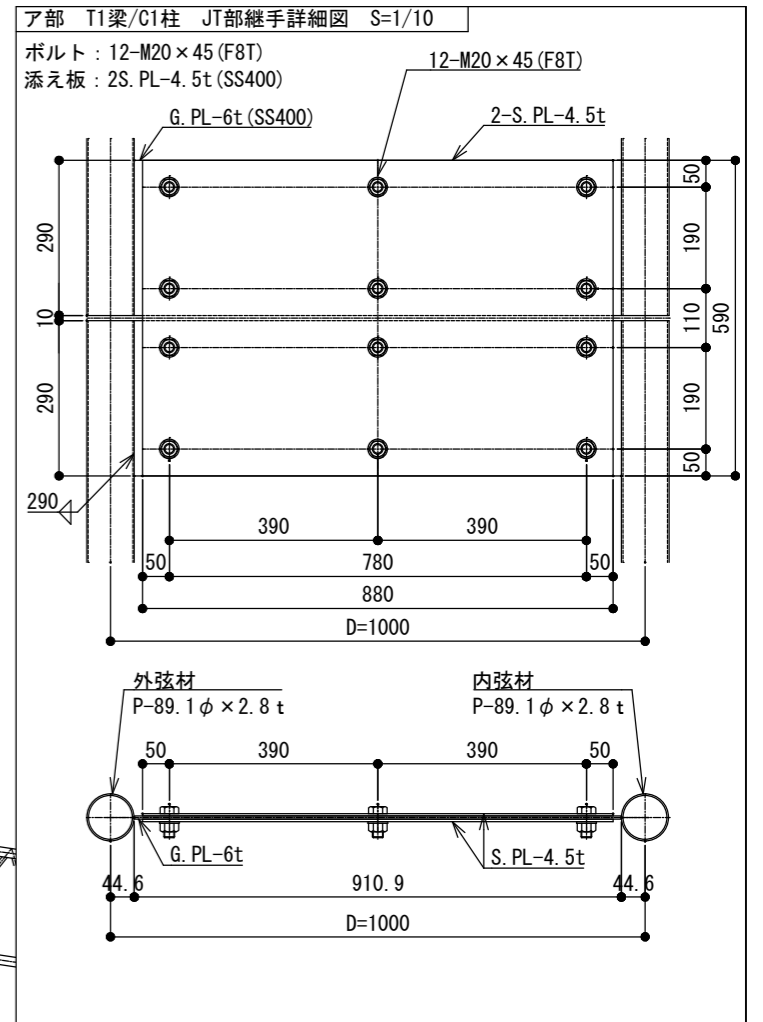
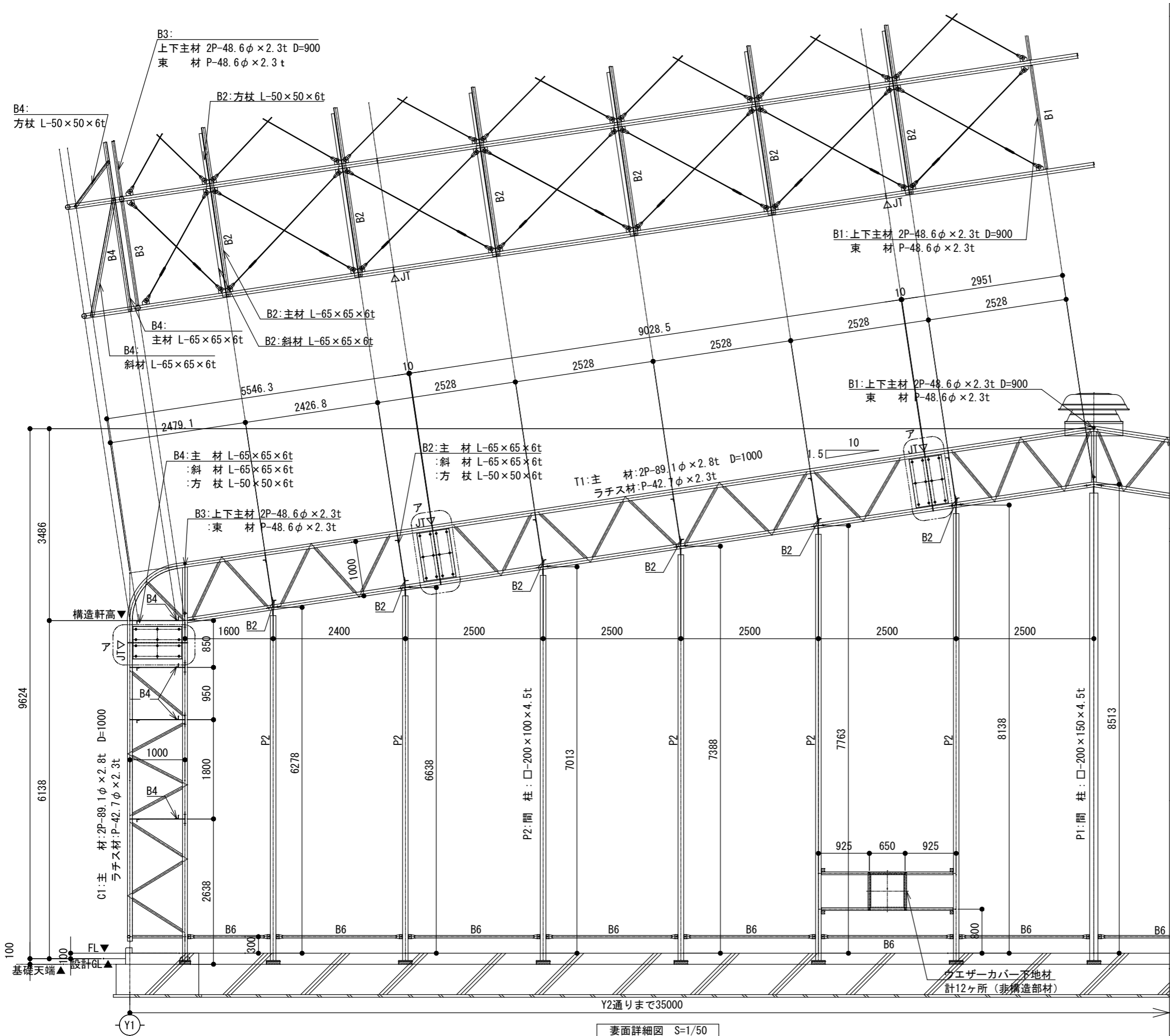
ベンチレーター下地材  
3ヶ所 (非構造部材)

小屋伏図 S=1/150      :V1屋根ブレース

竣工図 令和8年3月 / . . .	訂正 . . . . . . . . . . . .	特記 膜材はジョイント部分を数カ所設けるものとする	課長 主査等 担当者	図面内容 (仮称) 防災備蓄基地新築工事 小屋伏図・部材リスト 縮尺 S=1/150 (A2)	図面番号 S-09 棟内 区分



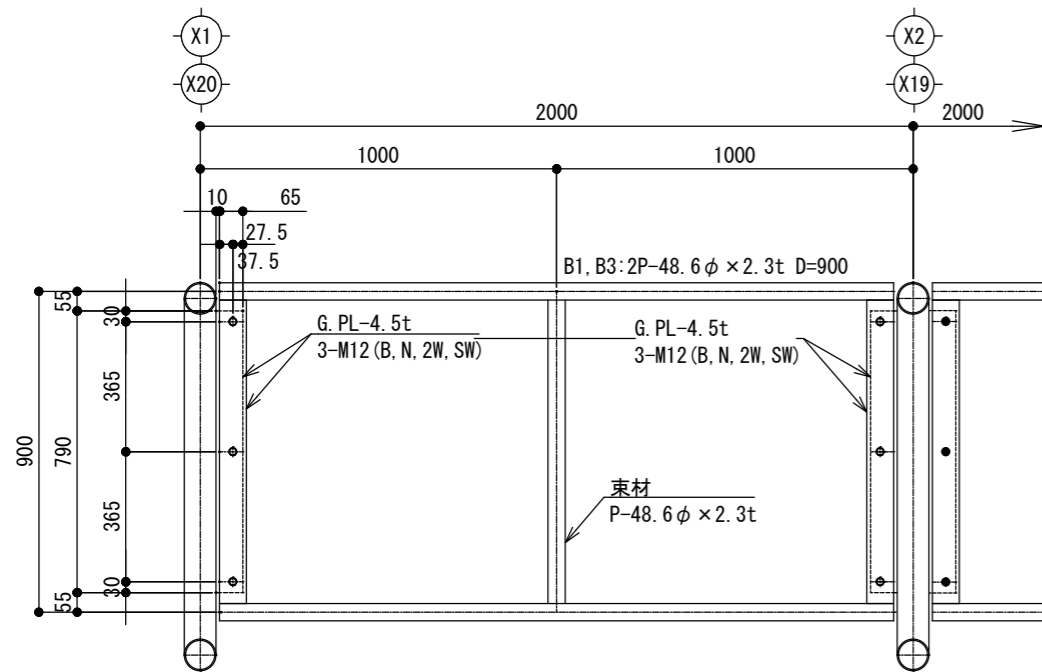
竣工図 令和8年3月	設計 監理 作成	訂正 訂正 訂正	特記 特記 特記	課長	主査等	担当者	(仮称) 防災備蓄基地新築工事 断面図・軸組図 縮尺 S=1/200 (A2)	図面番号 S-10 区 分



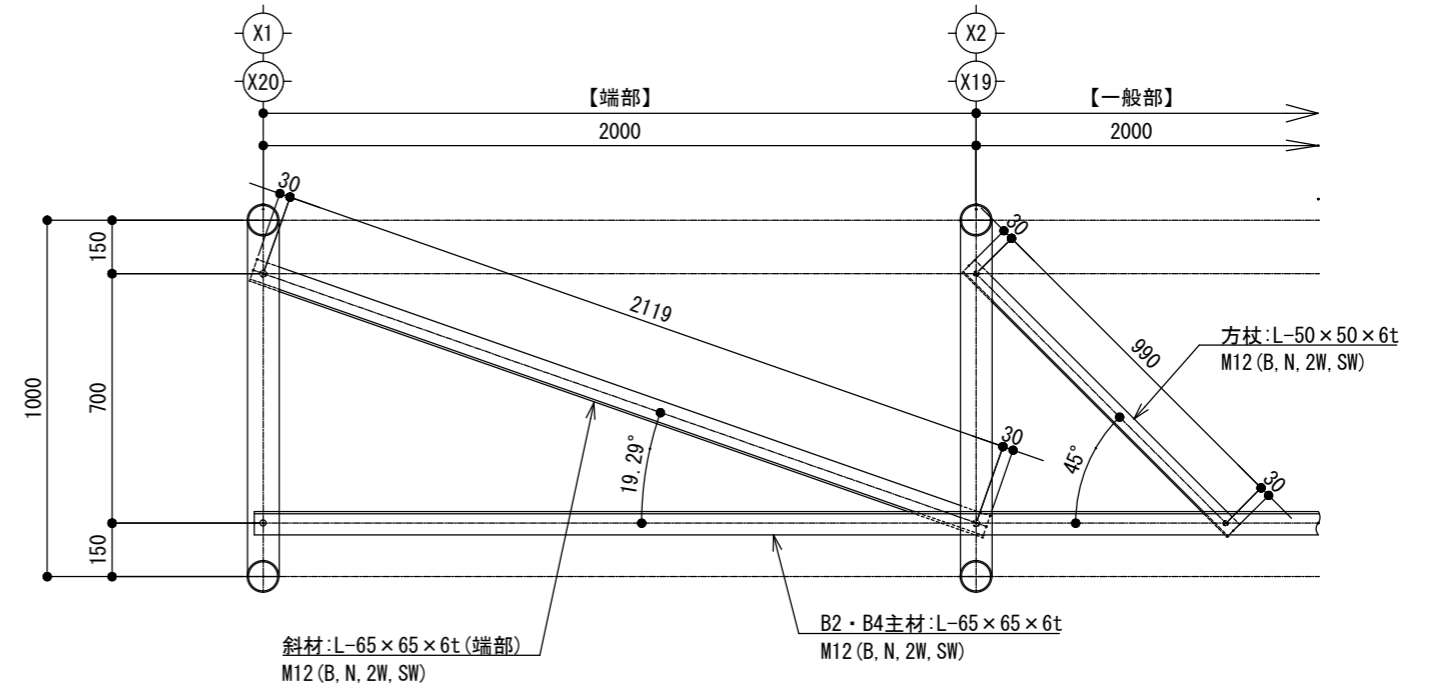
妻面詳細図 S=1/50

訂正 訂正 訂正 訂正	特記 特記 特記 特記	課長 主査等 担当者	(仮称) 防災備蓄基地新築工事 妻面詳細図・継手詳細図 (1) 縮尺 S=1/10, S=1/50 (A2)	図面内容 図面番号 S-11 枚/内 区分
----------------------	----------------------	------------------	--	--------------------------------

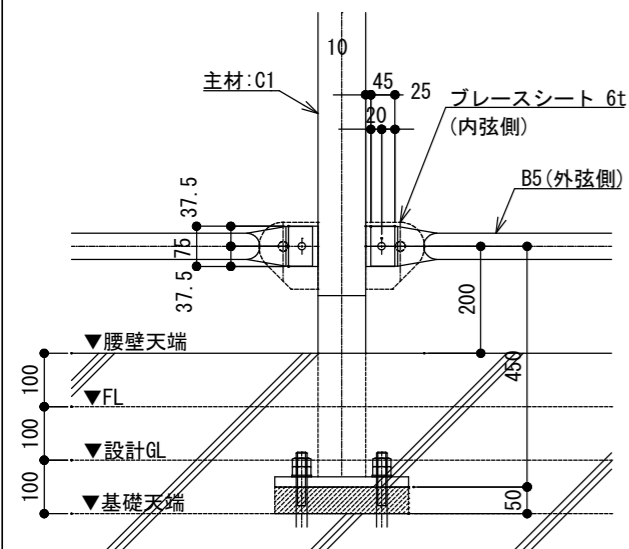
棟部, 肩口部 : B1, B3 継手詳細図 S=1/15



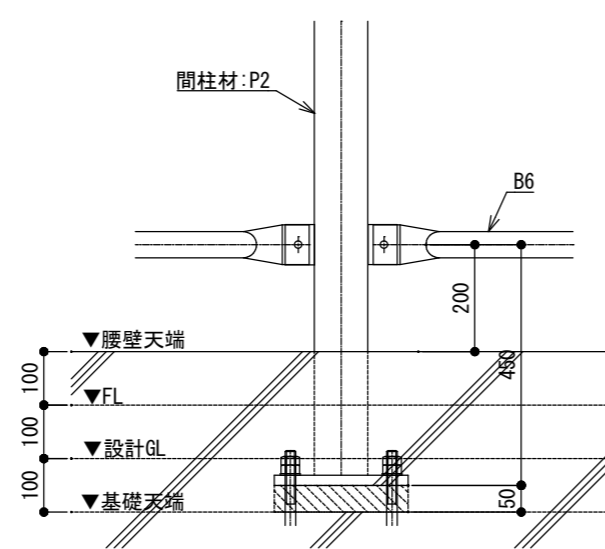
B2・B4 継手詳細図 S=1/15



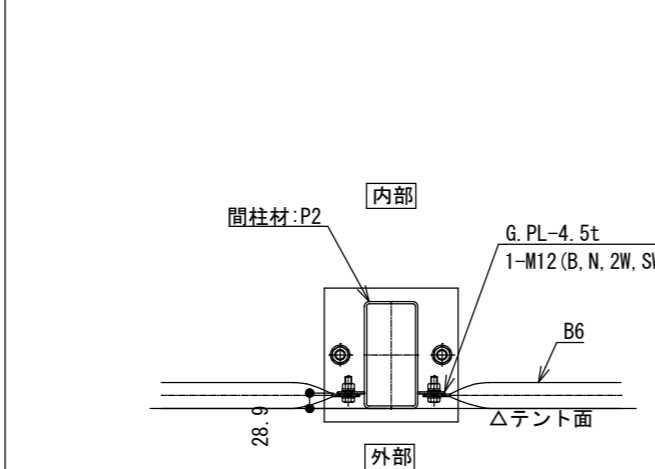
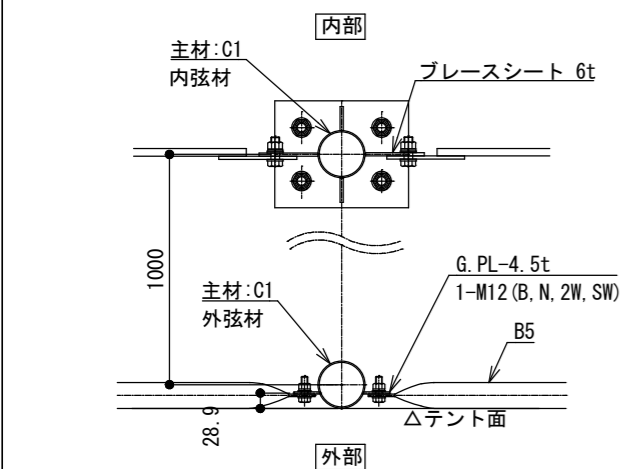
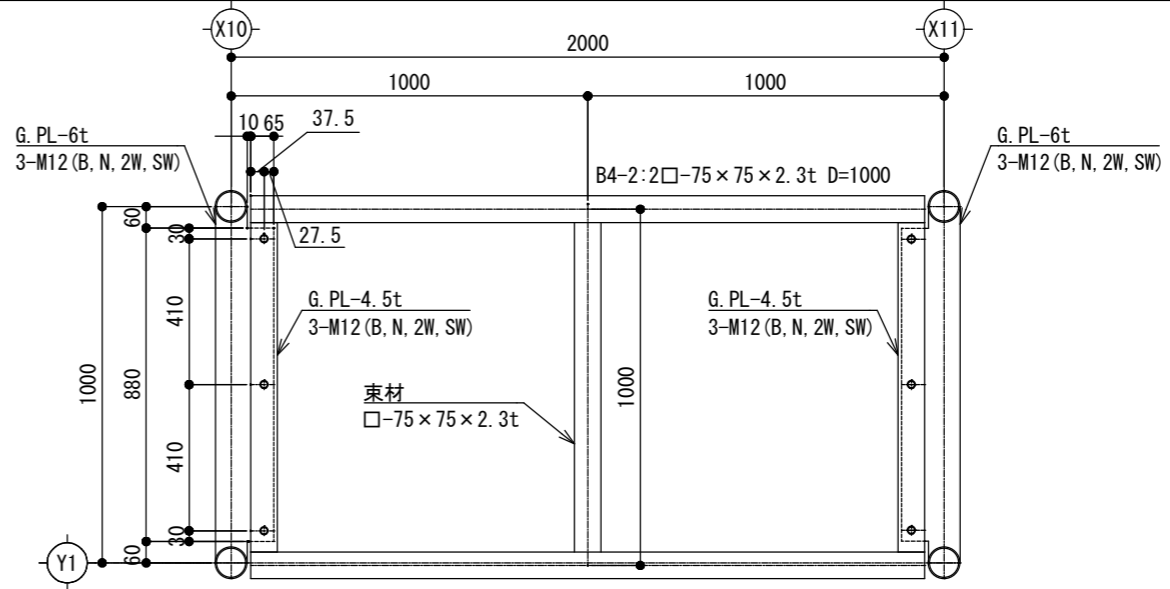
B5 桁裾胴縁 一般部 継手詳細図 S=1/10



B6 妻裾胴縁 一般部 継手詳細図 S=1/10

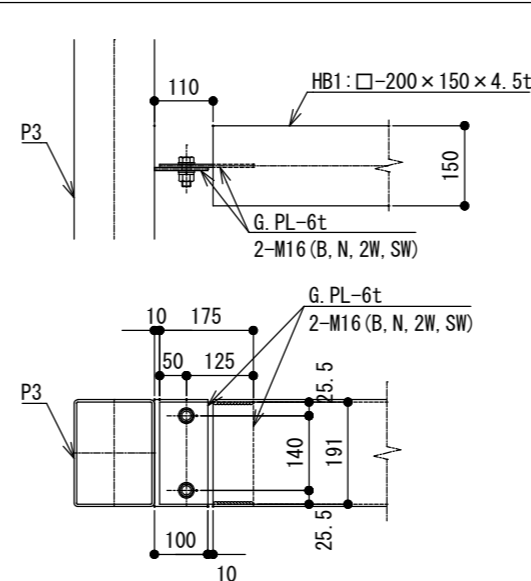


B4-2 継手詳細図 S=1/15

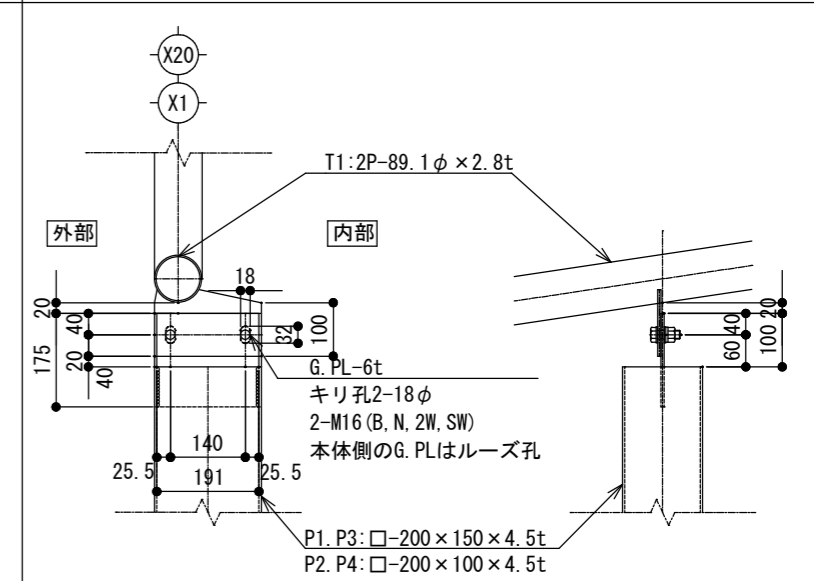


※P1, P3も同様の取り合い

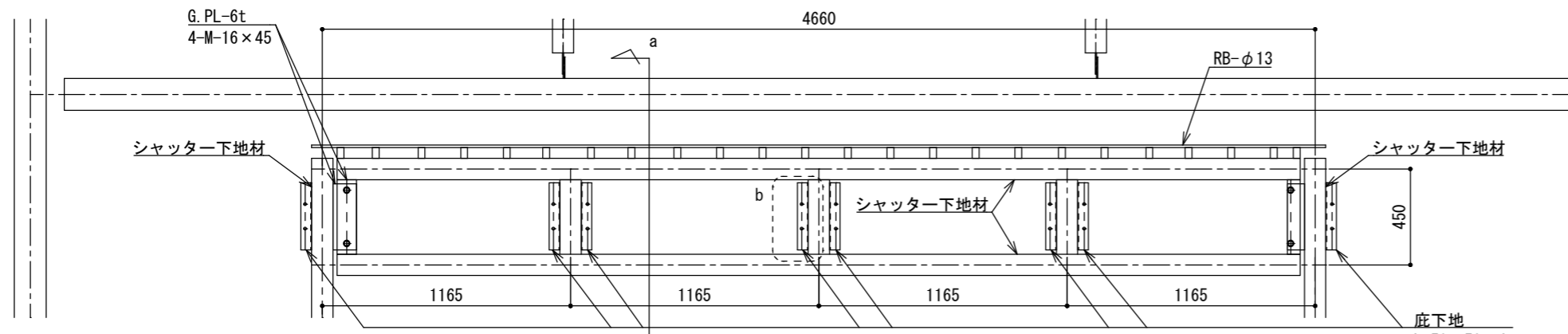
HB1 継手詳細図 S=1/10



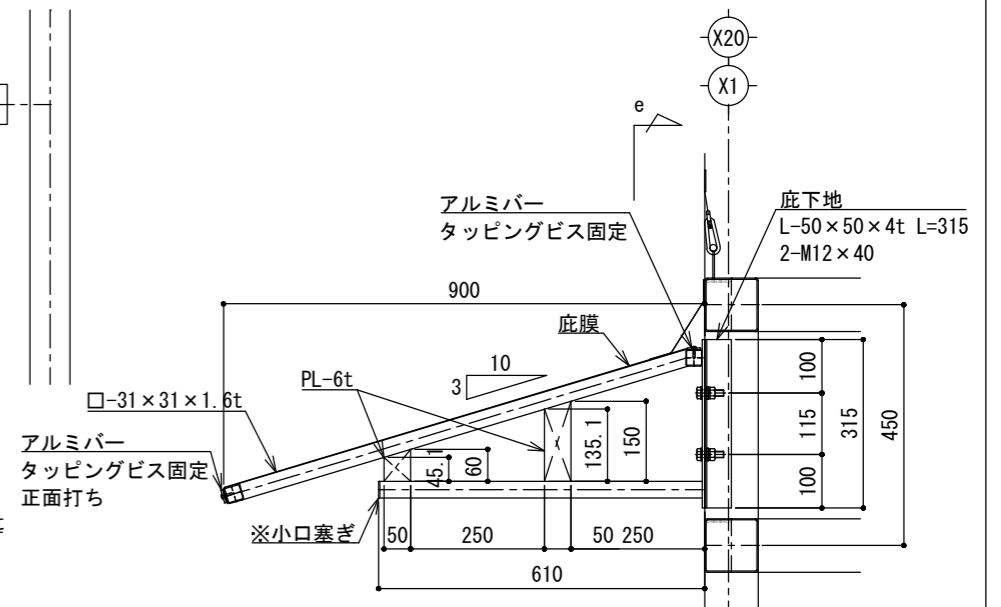
P1, P2, P3, P4 継手詳細図 S=1/10



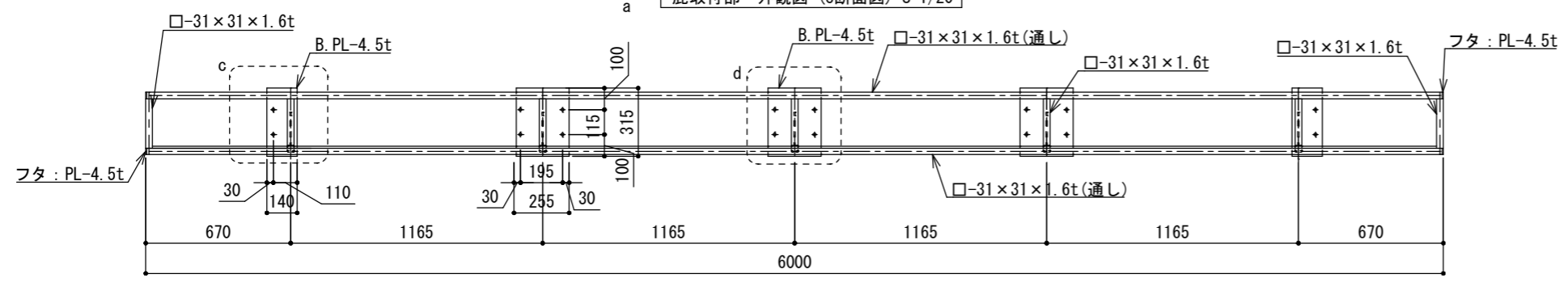
竣工図 令和8年3月	訂正 _____ _____ _____	特記 _____ _____ _____	課長	主査等	担当者	(仮称) 防災備蓄基地新築工事 継手詳細図(2)	図面番号 S-12 区 分
			図面内容 S=1/10 (A2), S=1/15 (A2)				



底取付部 外観図 (e断面図) S=1/20

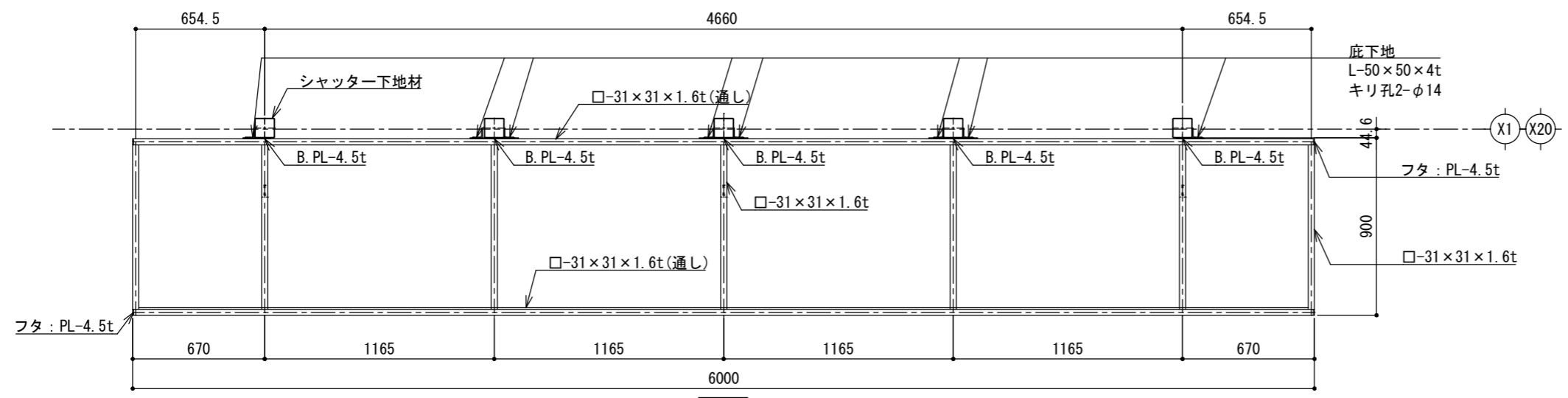


a-a 断面詳細図 S=1/10



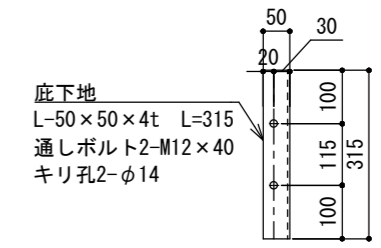
底フレーム 正面図 S=1/20

内側

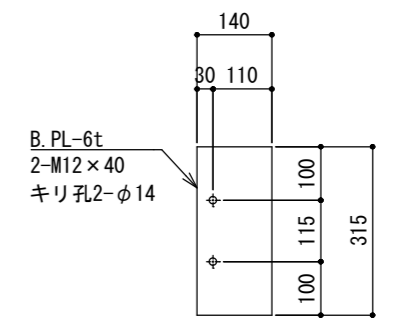


底フレーム 上面図 S=1/20

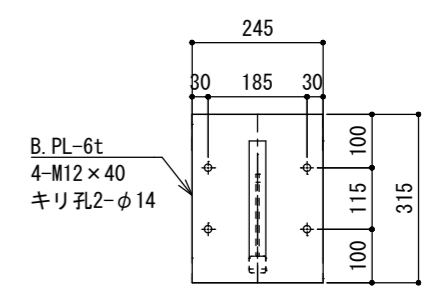
外側



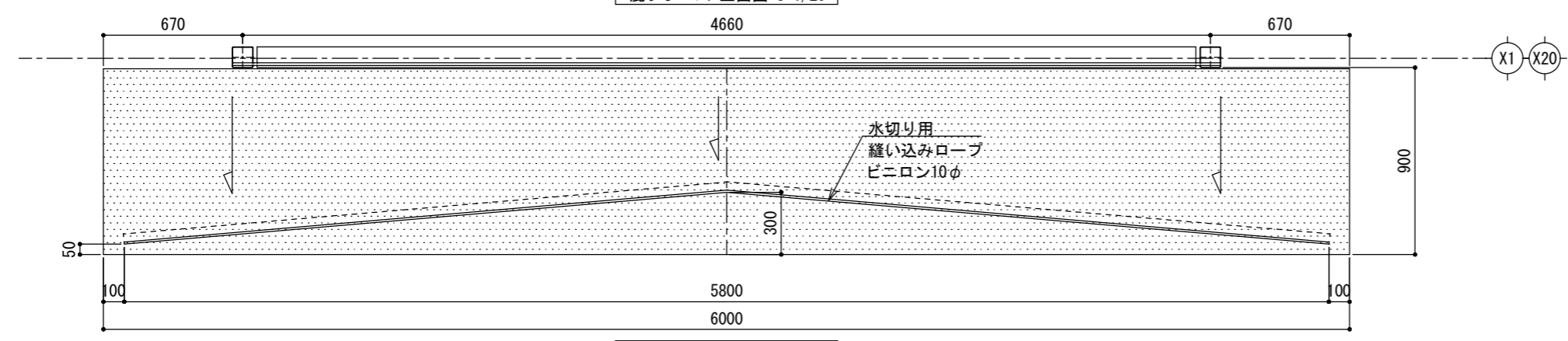
b(底下地 Lアングル)詳細図 S=1/10



c(底下地 B.PL)詳細図 S=1/10

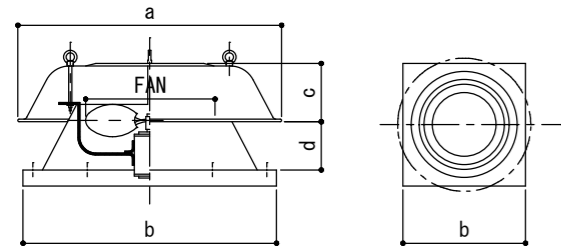


d(底下地 B.PL)詳細図 S=1/10



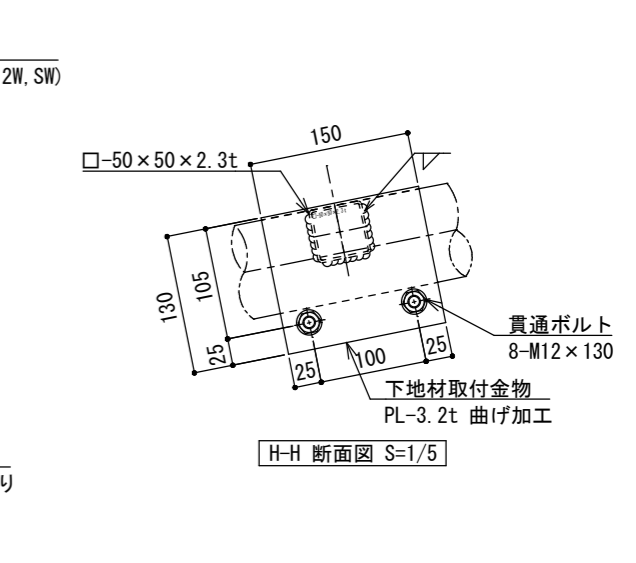
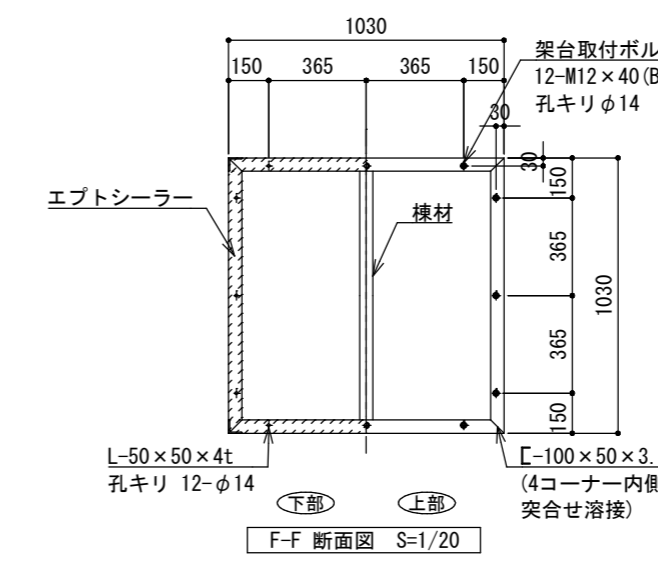
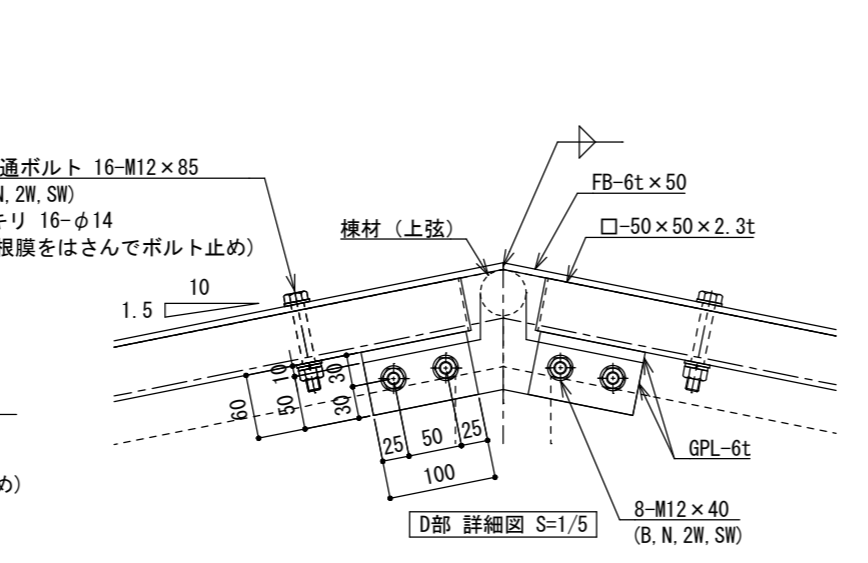
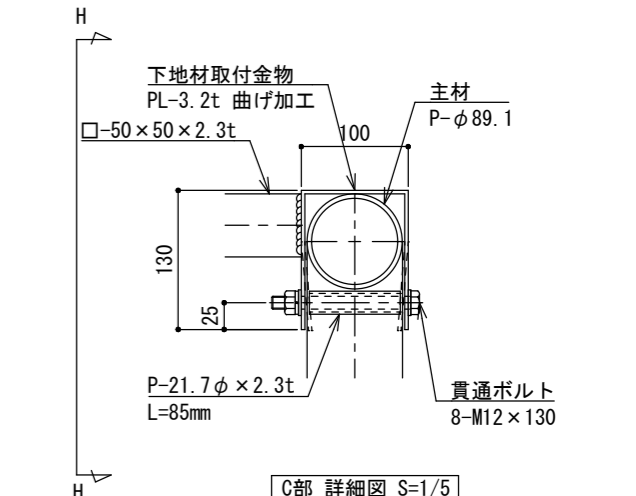
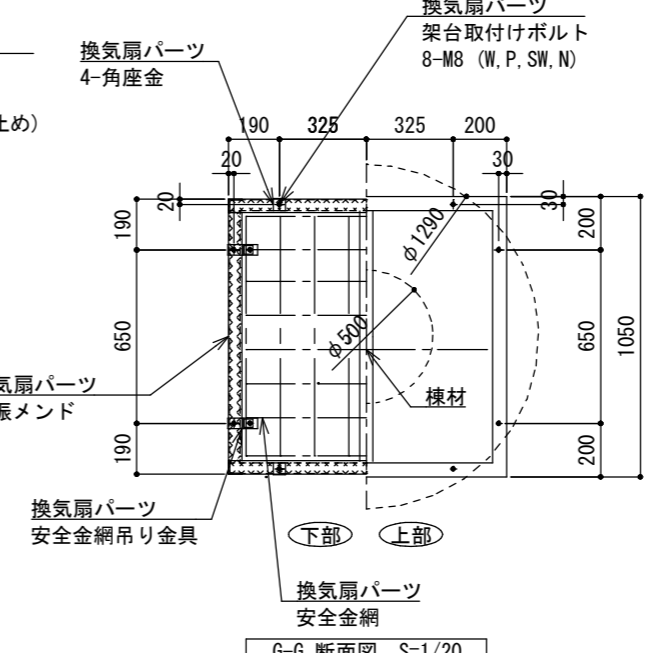
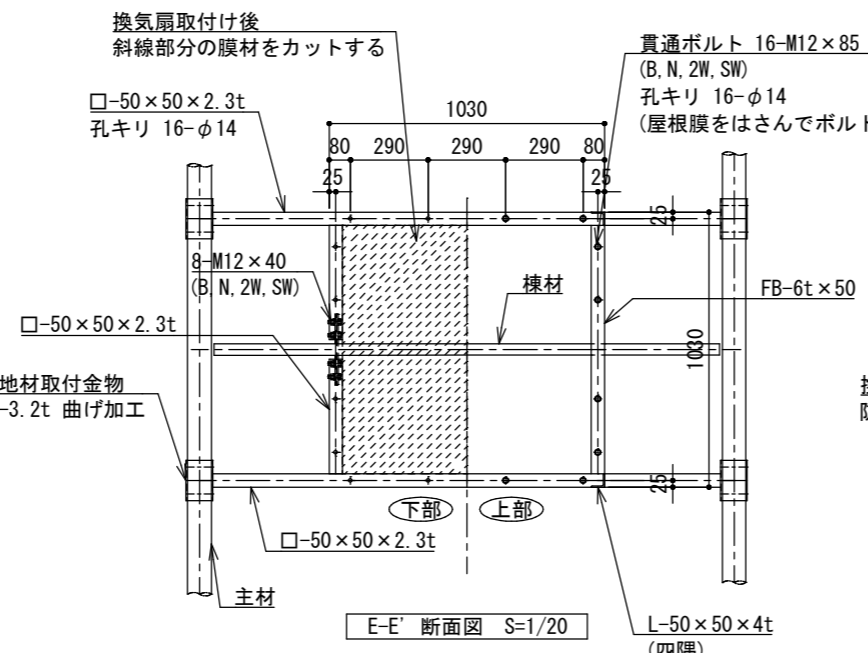
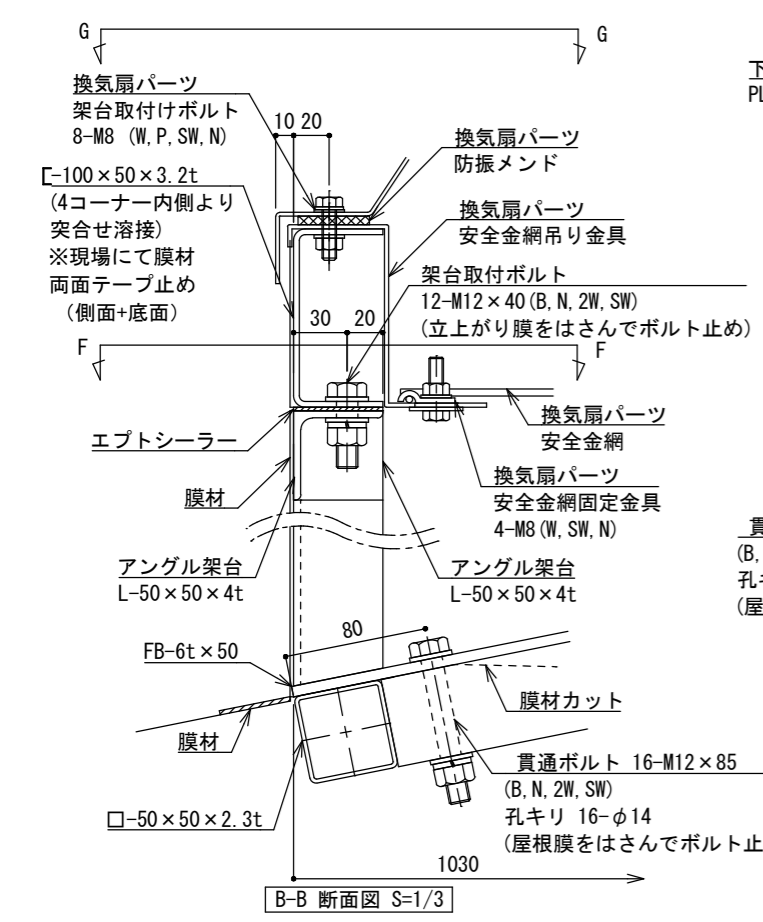
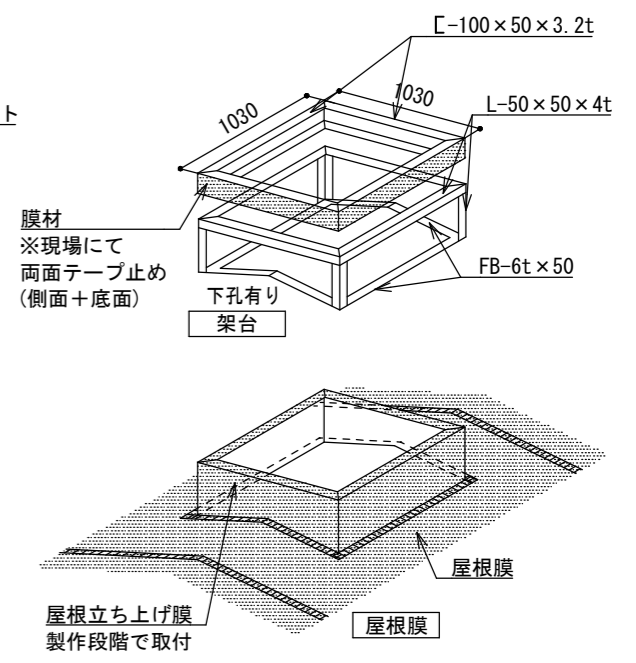
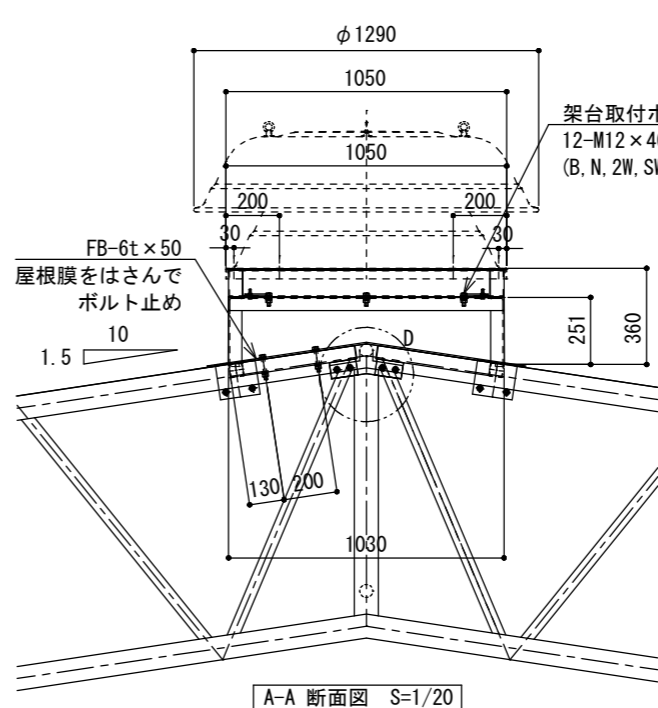
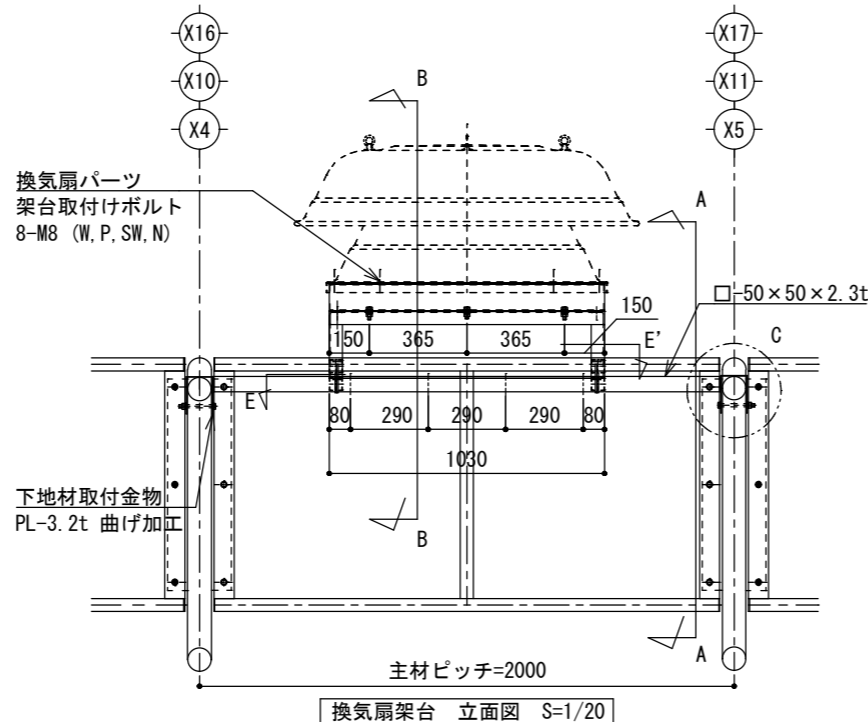
屋根伏図 S=1/20

竣工図 令和8年3月 / . . .	設計 . . . / . . . 監理 . . . / . . . 作成 . . . / . . .	訂正	特記	課長 主査等 担当者	図面内容 (仮称) 防災備蓄基地新築工事 底 詳細図 縮尺 S=1/10, S=1/20 (A2)	図面番号 S-13 区 分
		訂正 . . . . . . . . .	特記 . . . . . . . . .			



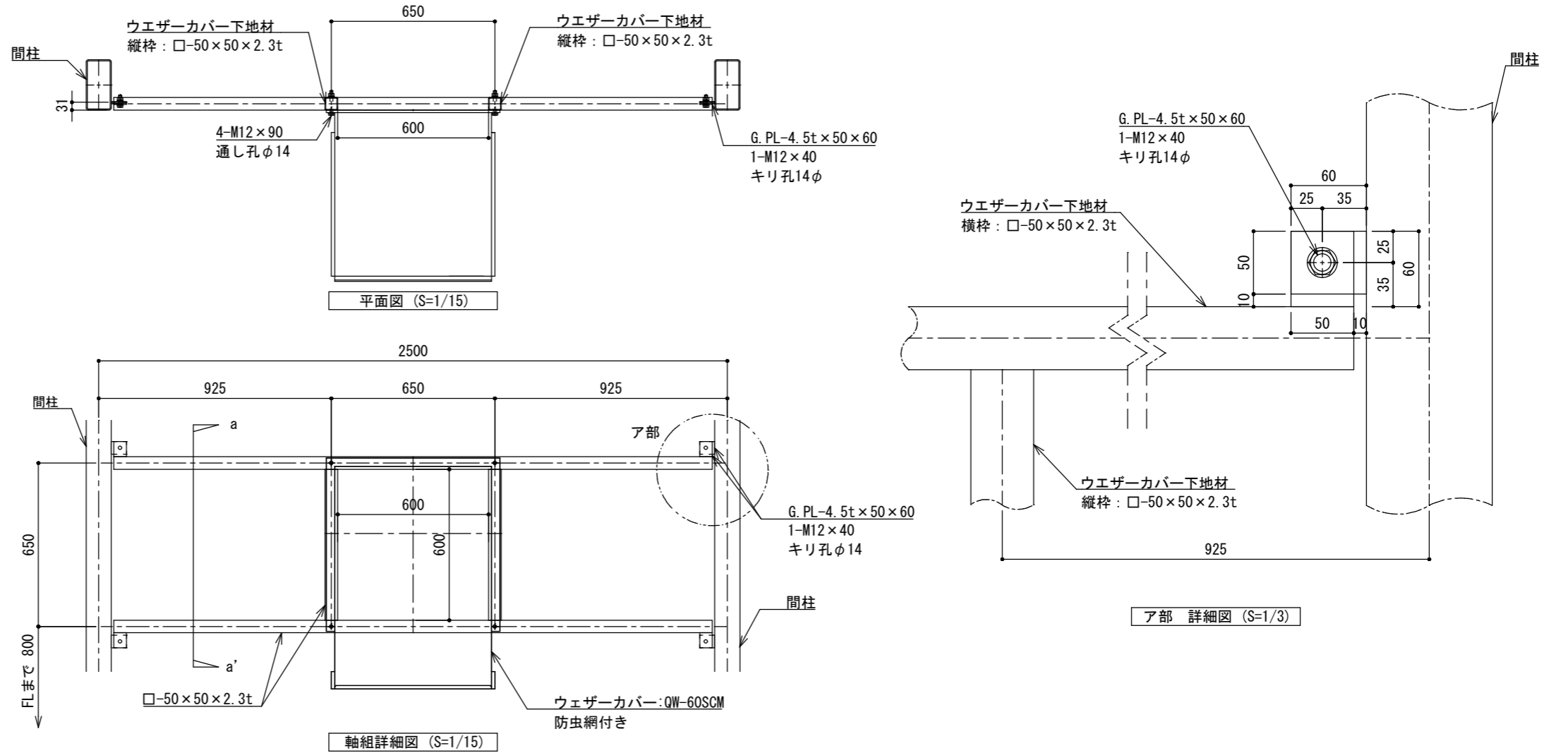
型式	UAF-60EG3M	
電源	三相 200V	
出力	0.4 KW	
定格電流 (50Hz/60Hz)	三相 2.8 A/2.6 A	
	■ 防虫網 (16メッシュ)	
ファン径 (mm)	600	
各部規格 (mm)	a	1290
	b	1050
	c	302
	d	(210)
本体重量 (kg)	(49)	
発注台数	3 台	

- 特記事項
- ・電源について  
UAF-30, UAF-40, UAF-50のみ三相200V, 単相100Vどちらか選択できます。UAF-60については、三相 200Vとなります。
  - ・性能は、メーカー仕様による。
  - ・配線、取付けは、メーカー仕様により行うこと。
  - ・本図面は、設備図面を含まず。



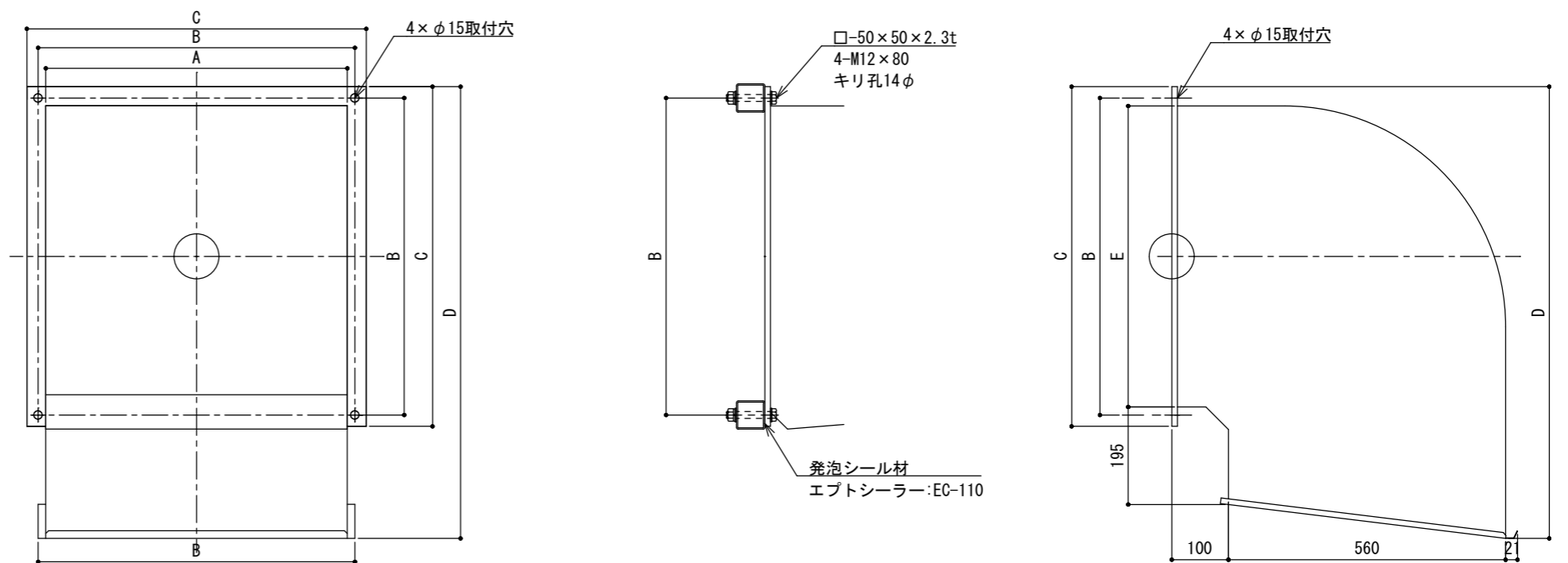
訂正	・	特記	課長	主査等	担当者	図面内容 (仮称) 防災備蓄基地新築工事 ベンチレーター 詳細図 縮尺 S=1/3, S=1/5, S=1/20 (A2)	図面番号 S-14 区 分
竣工	・						
検図	・						
製図	令和8年3月						

給排気口枠 仕様	
三菱有圧換気扇用 ウェザーカバー SUS製 防虫網付	
型名	QW-60SCM
網仕様	エキスパンドメタル (SUS304)
数量	2 カ所



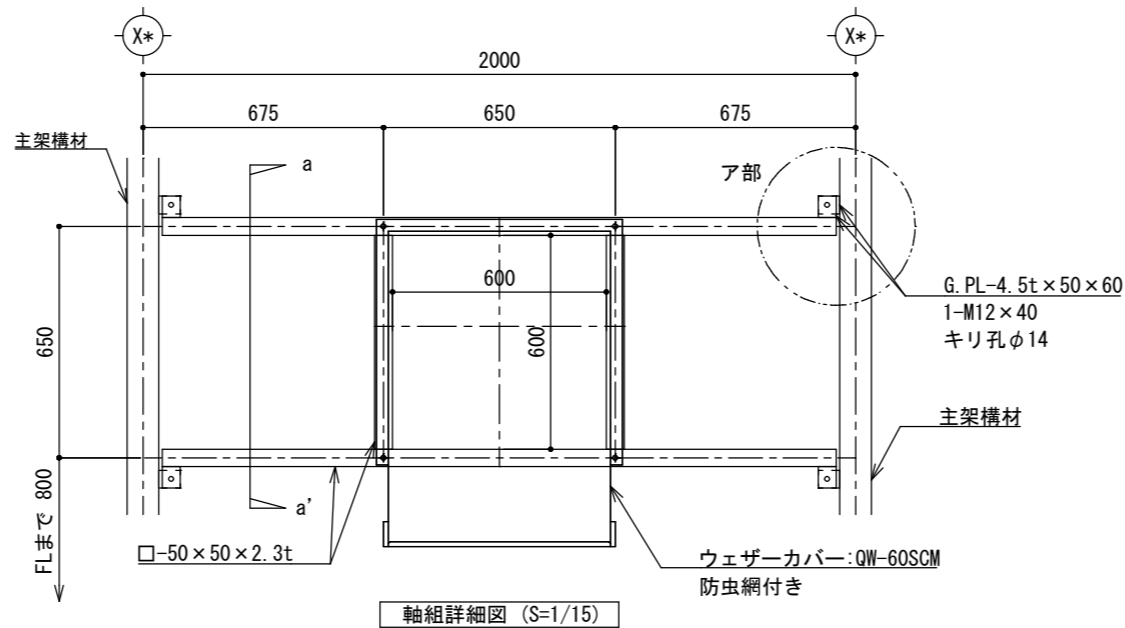
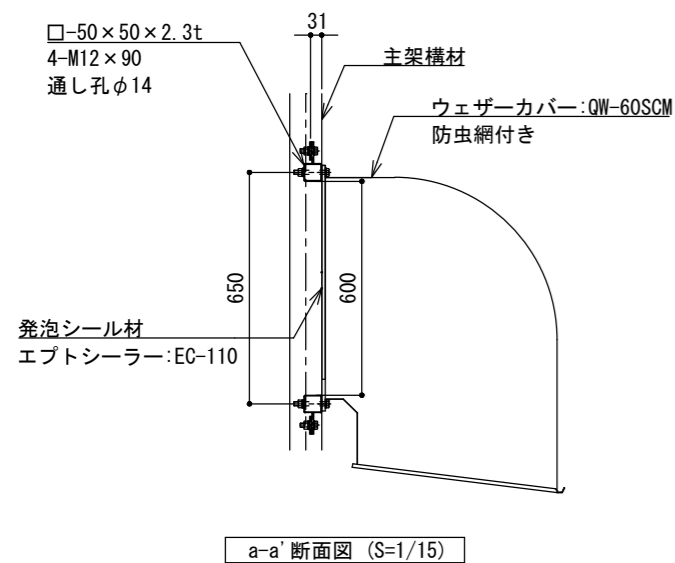
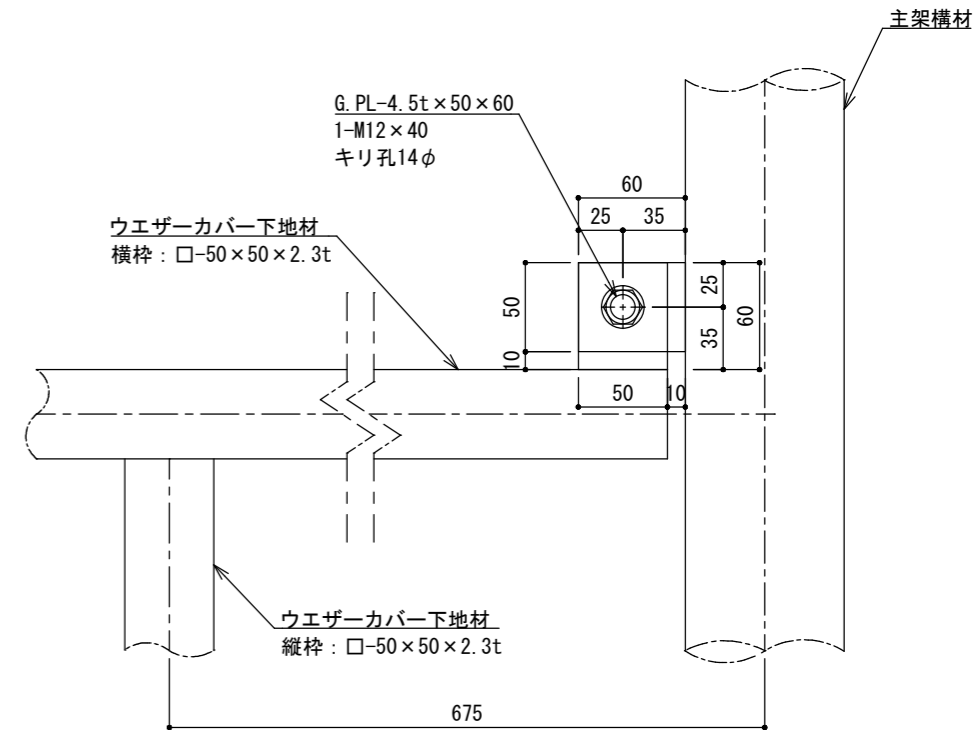
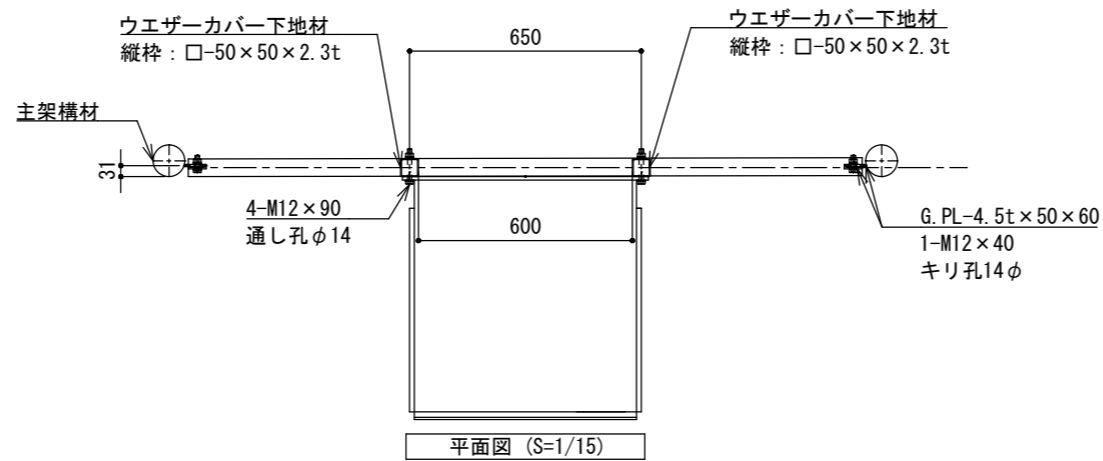
取付図

記号	QW-60SCM	
寸法 (mm)	A	623
	B	650
	C	690
	D	919
	E	620



竣工 検査 承認 年月 令和8年3月	保 管 者 氏 名	訂 正 日 月 年	特 記	課 長	主 査 等	担 当 者	図 面 内 容 (仮称) 防災備蓄基地新築工事 表面 ウェザーカバー 詳細図 縮尺 S=1/3, S=1/15(A2)	図 面 番 号 S-15
	検 査 者 氏 名	訂 正 日 月 年	特 記	課 長	主 査 等	担 当 者	図 面 内 容 (仮称) 防災備蓄基地新築工事 表面 ウェザーカバー 詳細図 縮尺 S=1/3, S=1/15(A2)	図 面 番 号 S-15
	製 図 者 氏 名	訂 正 日 月 年	特 記	課 長	主 査 等	担 当 者	図 面 内 容 (仮称) 防災備蓄基地新築工事 表面 ウェザーカバー 詳細図 縮尺 S=1/3, S=1/15(A2)	図 面 番 号 S-15

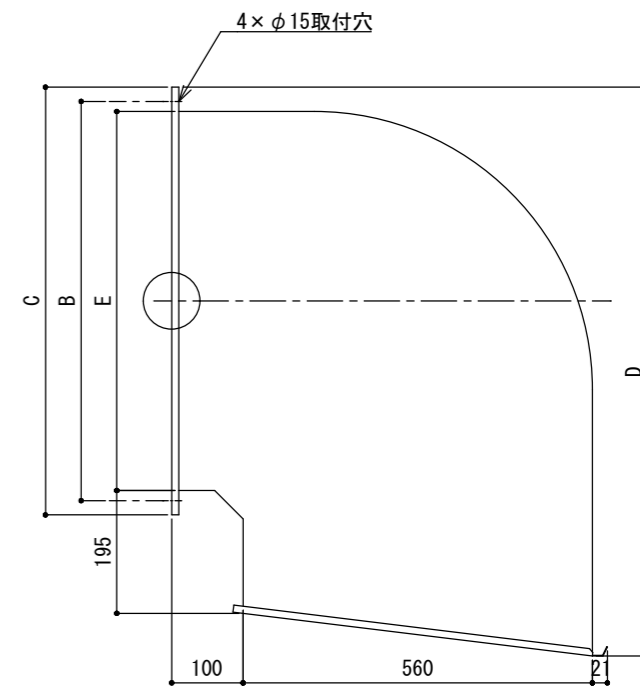
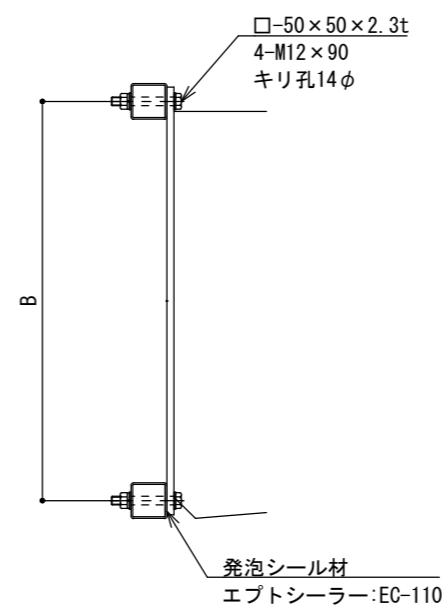
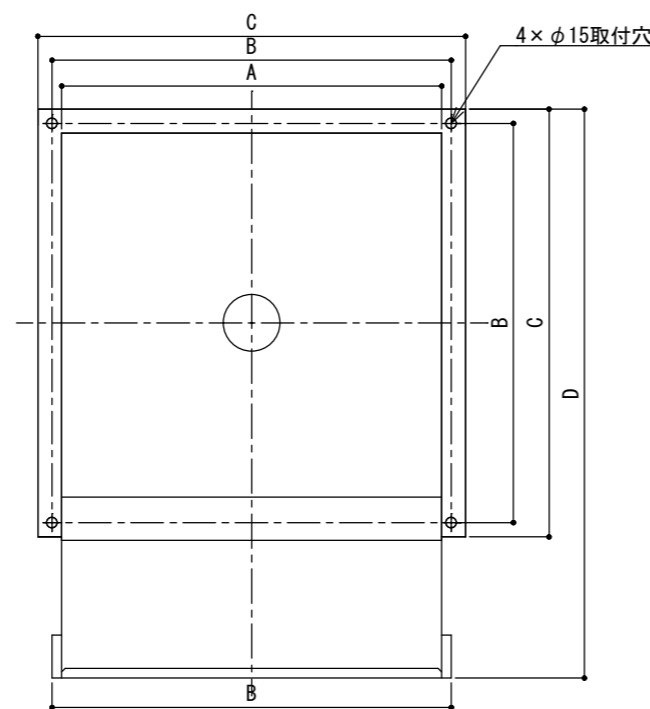
給排気口枠 仕様	
三菱有圧換気扇用 ウェザーカバー SUS製 防虫網付	
型名	QW-60SCM
網仕様	エキスパンドメタル (SUS304)
数量	10 カ所



ア部 詳細図 (S=1/3)

取付図

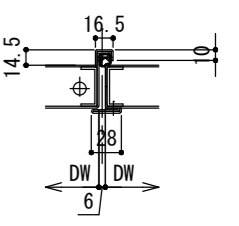
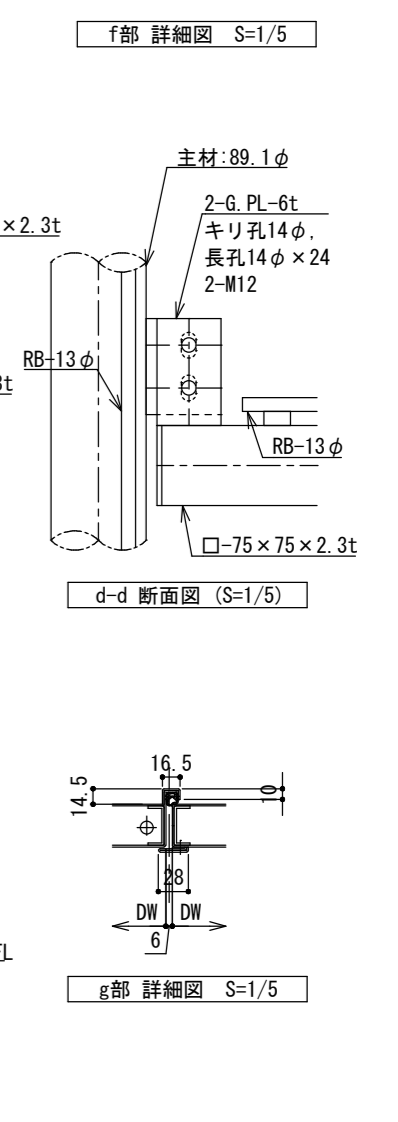
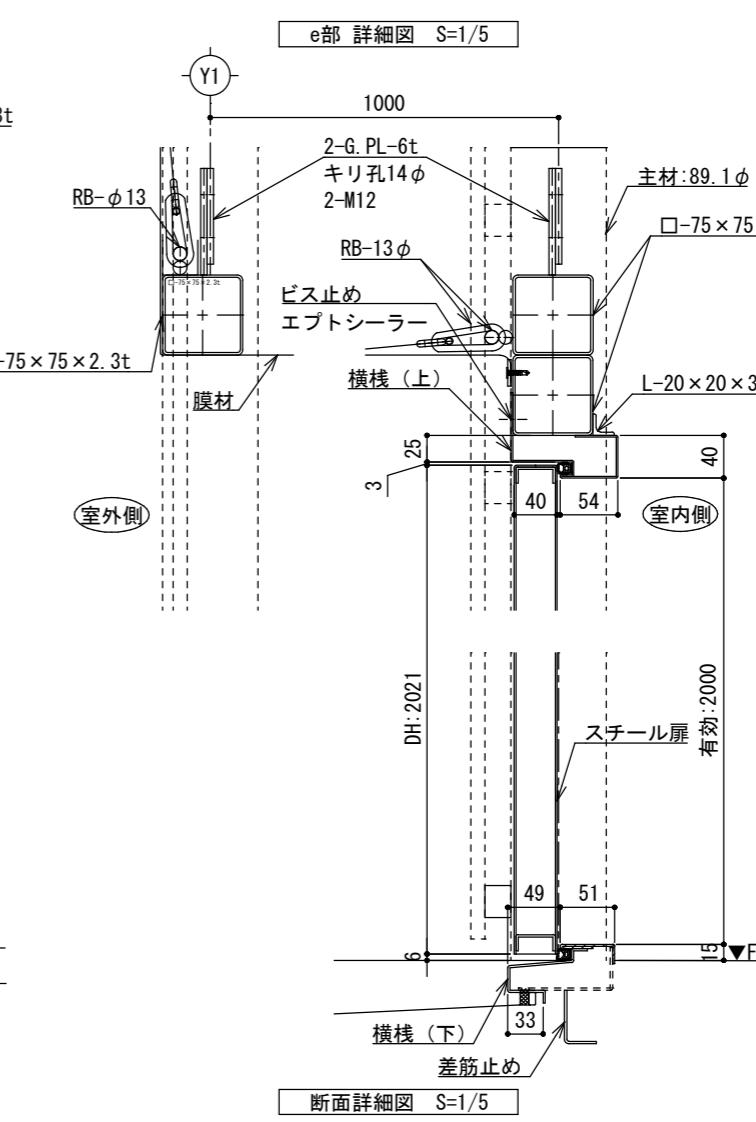
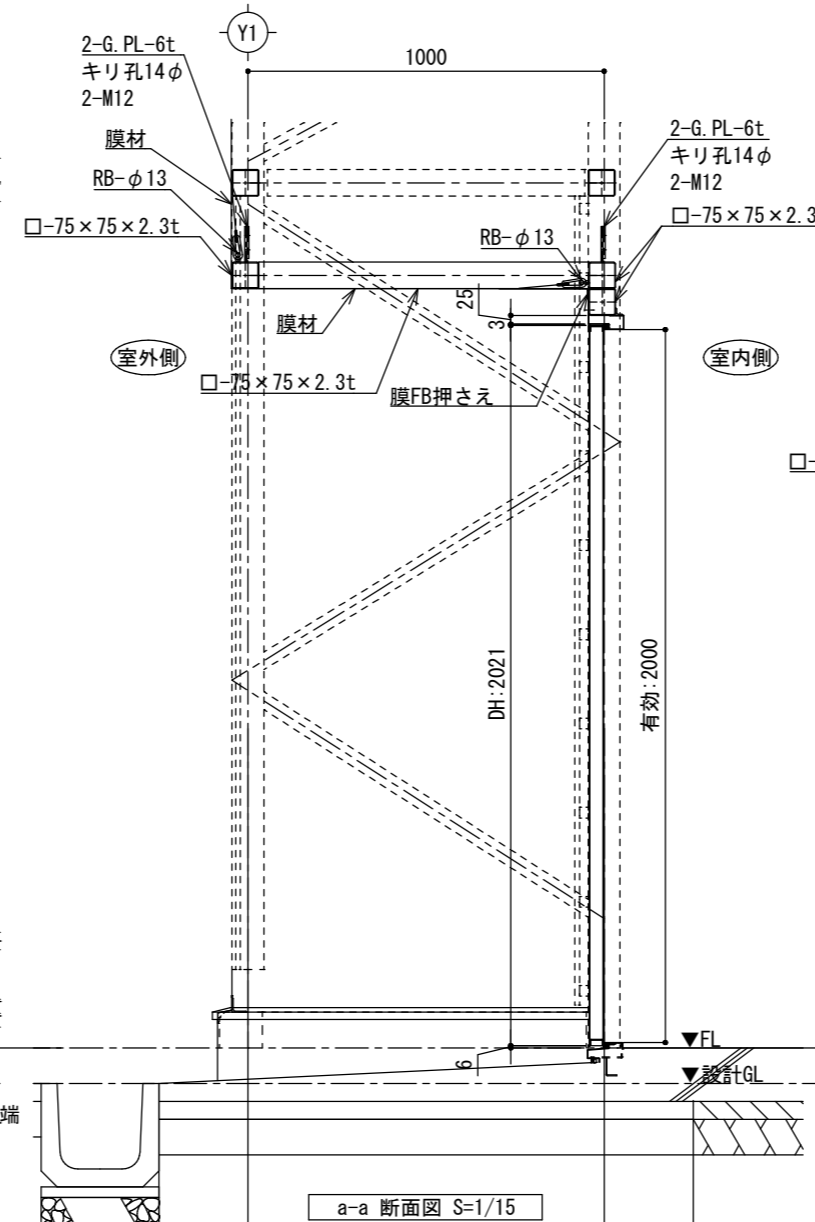
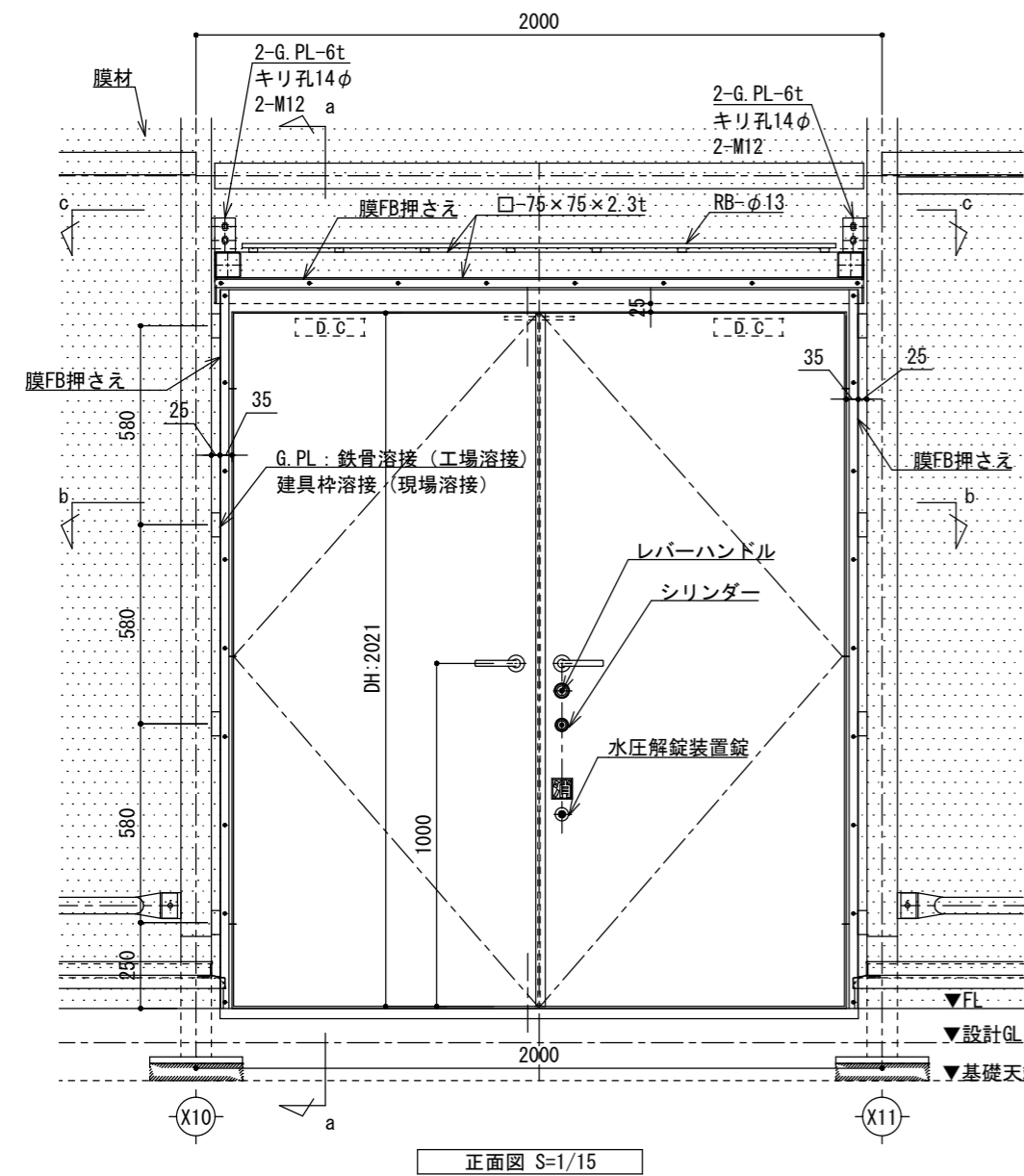
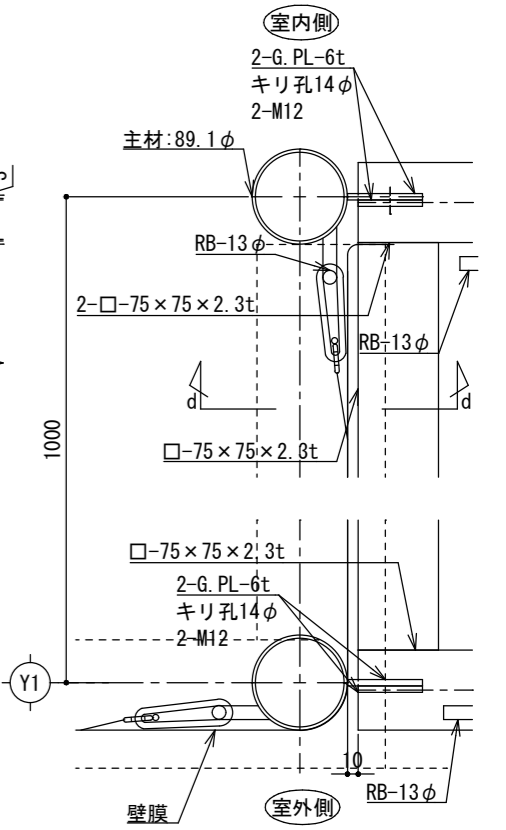
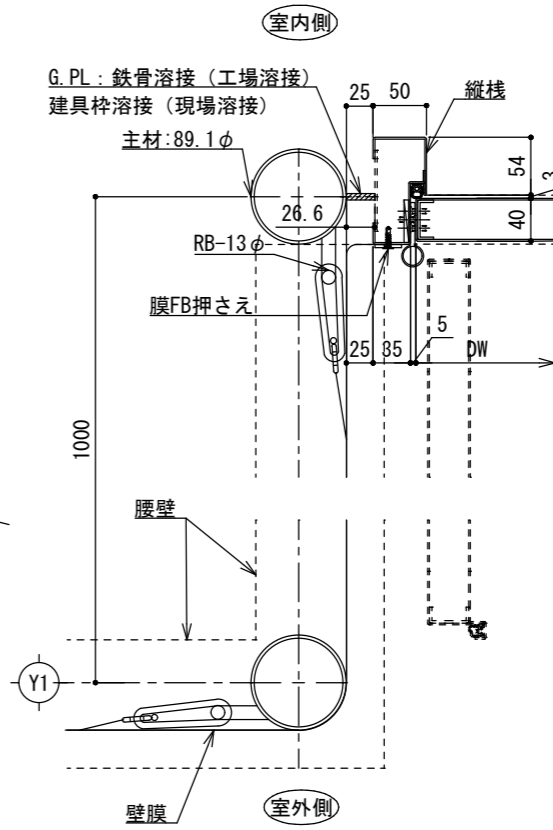
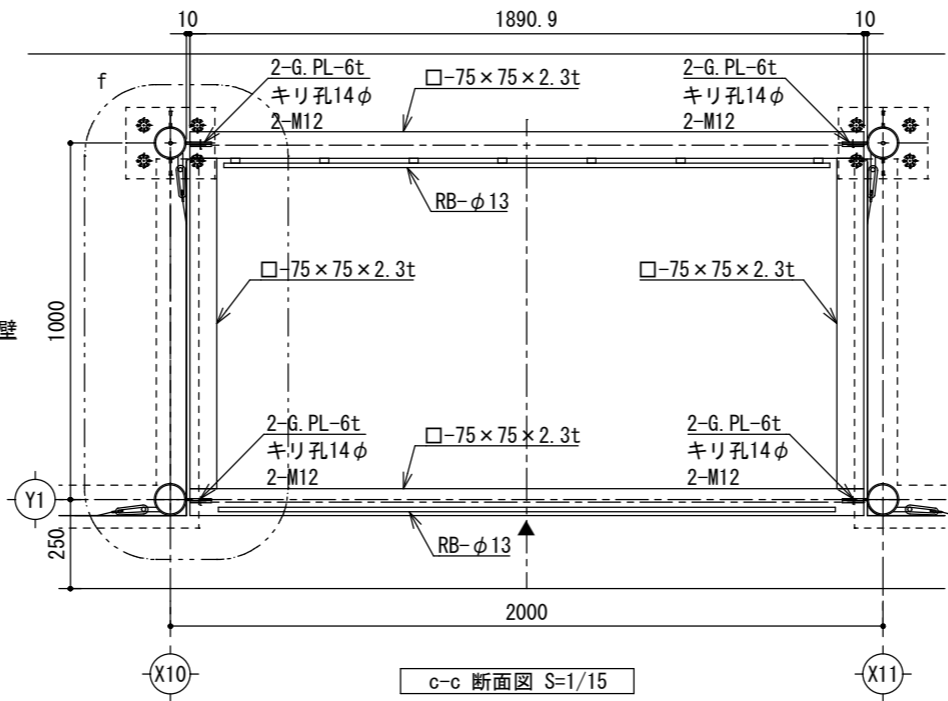
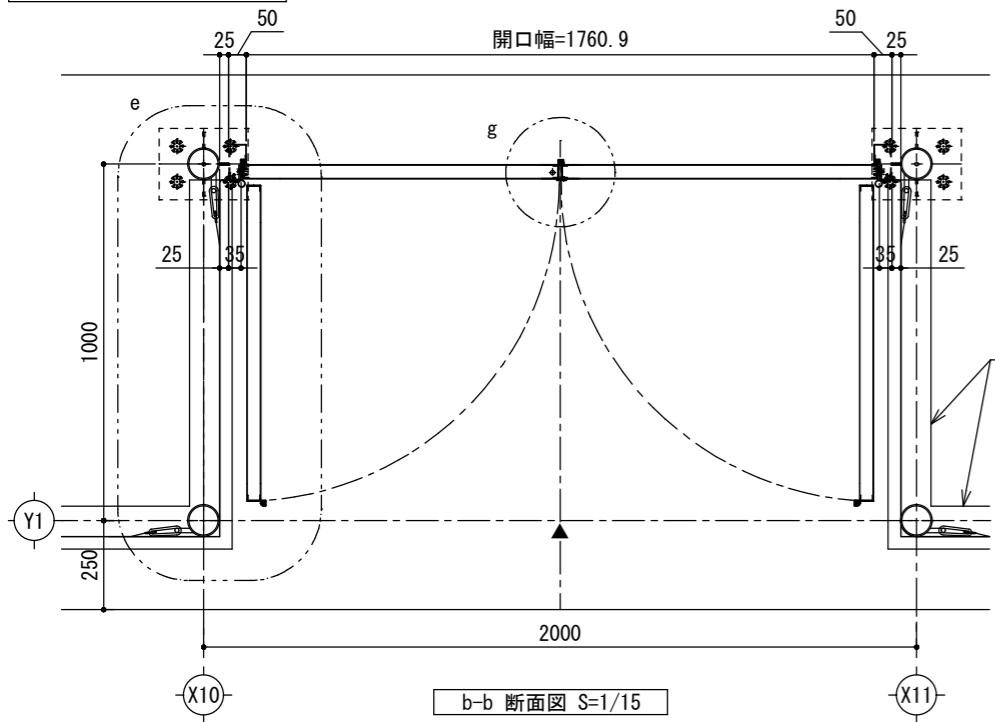
記号	QW-60SCM	
寸法 (mm)	A	623
	B	650
	C	690
	D	919
	E	620



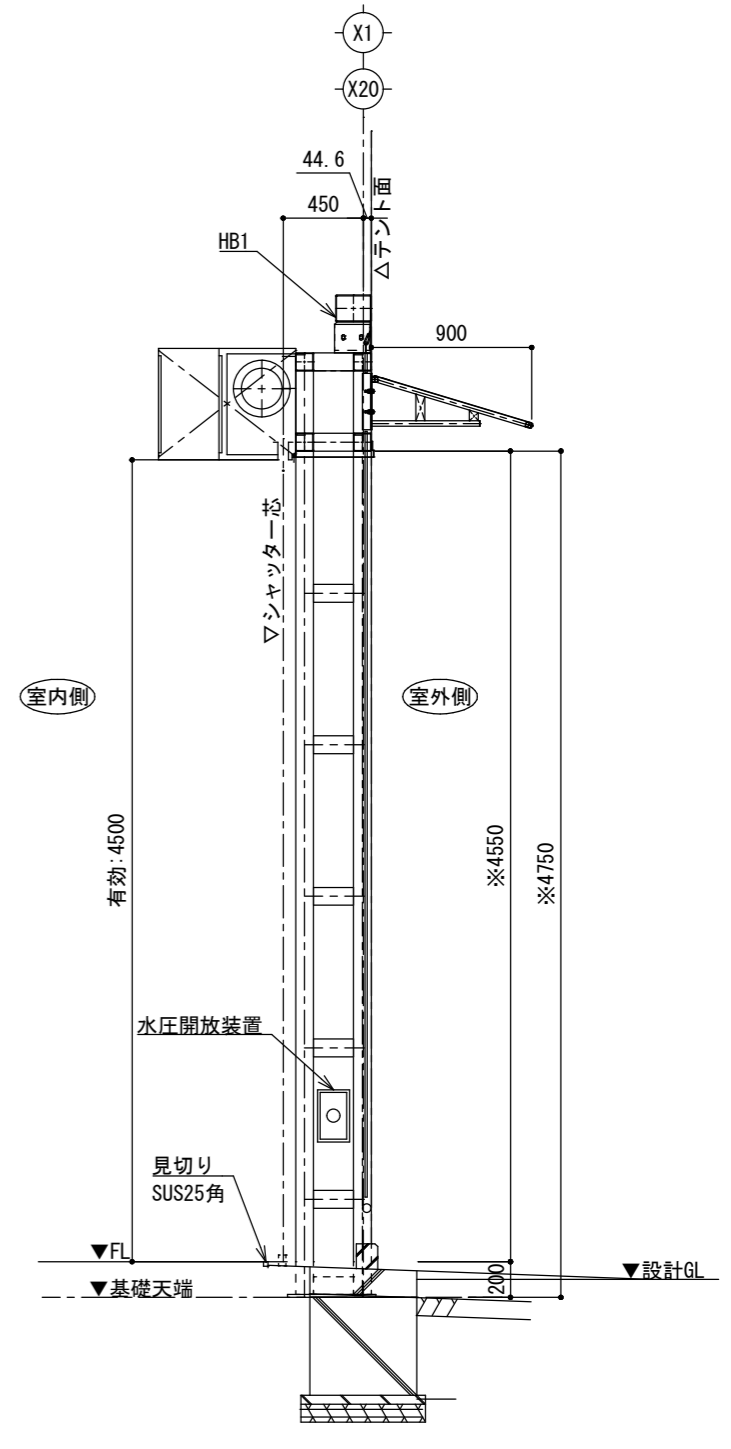
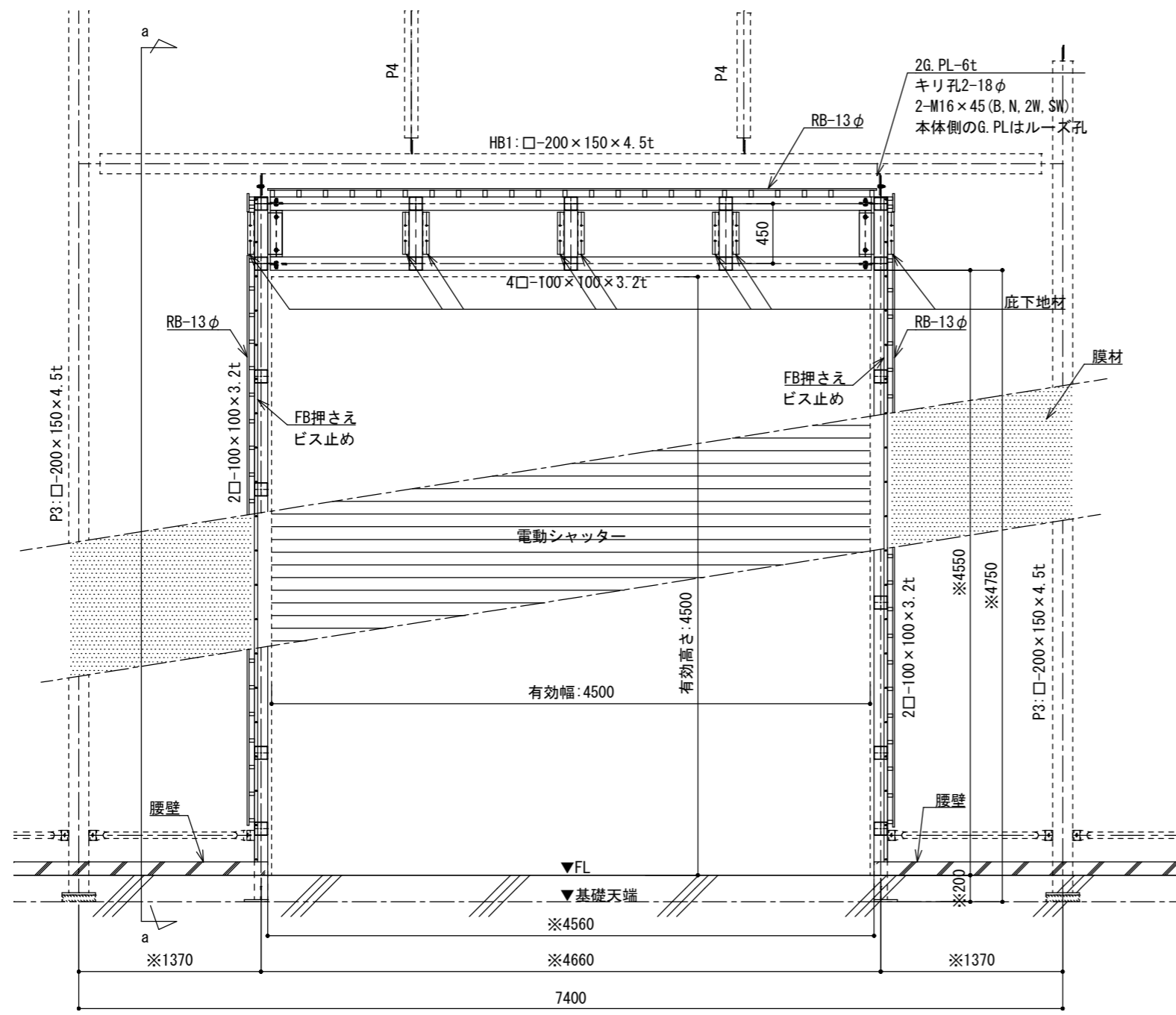
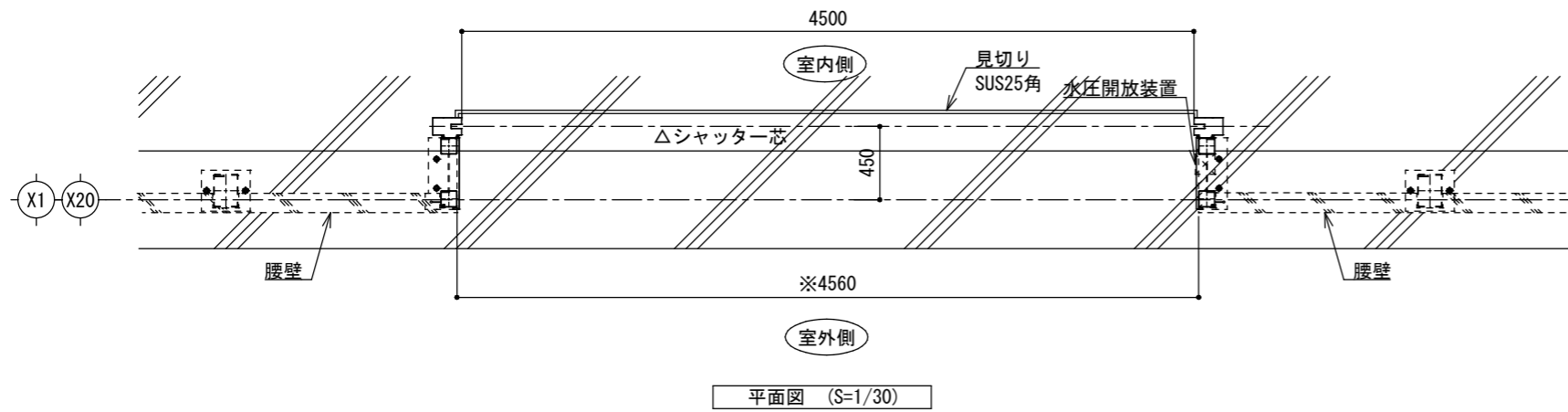
竣工図 令和8年3月	保管	/	訂正	特記	課長	主査等	担当者	図面内容	(仮称) 防災備蓄基地新築工事	図面番号 S-16		
	承認	/						図面内容	桁面 ウェザーカバー 詳細図		図面番号	区
	作成	/						図面内容	桁面 ウェザーカバー 詳細図		図面番号	区
								縮尺	S=1/3, S=1/15 (A2)	図面番号	S-16	



SD-2 スチール両開き扉詳細図



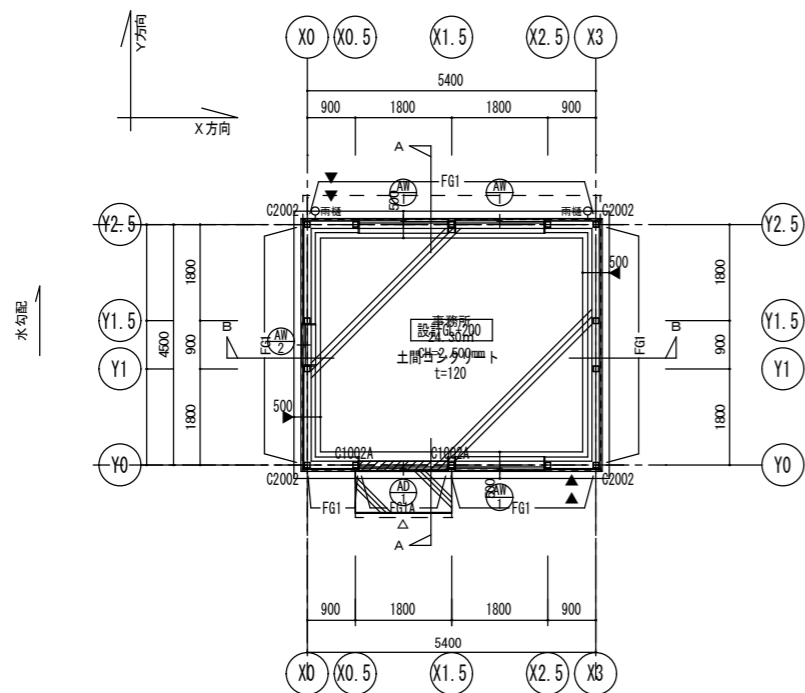
課長	主査等	担当者	図面内容	(仮称) 防災備蓄基地新築工事	図面番号
			SD-2 スチール両開き扉詳細図		S-18
			縮尺 S=1/5, 15 (A2)		区分
訂正			特記		
竣工					
令和8年3月					



※: 三方枠の納まりによっては寸法が変更となる場合があります

竣工図 令和8年3月	設計 監理 作成	訂正 訂正 訂正	特記 三和シャッター] ブロード SB20形 A6K 0.8mm 非常電源装置・水圧開放装置 (WS-2型) スイッチボックス	課長 主査等 担当者	図面内容 (仮称) 防災備蓄基地新築工事 シャッター部分詳細図 箱尺 S=1/15 (A2) S=1/30 (A3)	図面番号 S-19 区分





基礎伏図 S=1/100

平面図 S=1/100

凡例：特記無き場合下記による

特記無き柱は、C1002 とする。

は、土間コンクリート を示す。

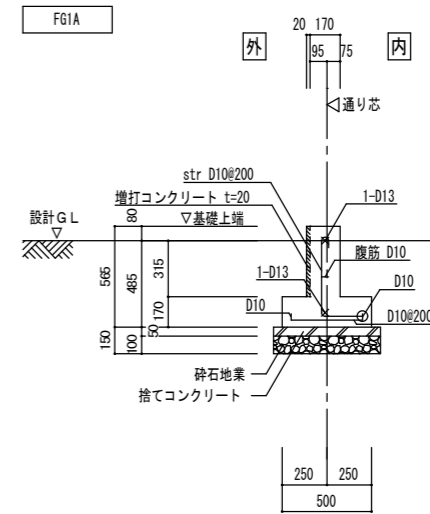
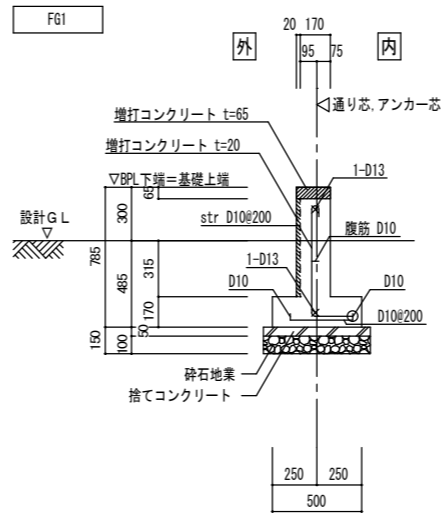
は、立上り落とし部 を示す。

内数値は、土間天端を示す。

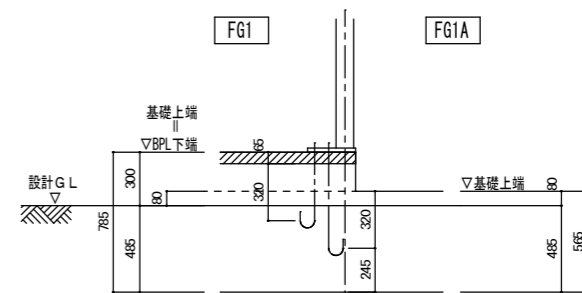
1FL=設計GL+200 とする。

基礎下端レベルは、設計GL-485 とする。

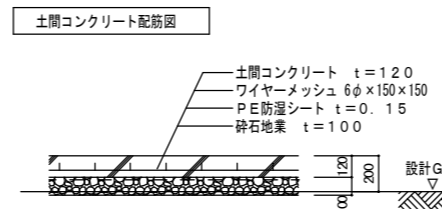
※地耐力は 30kN/m<sup>2</sup> を確保できるよう、転圧を行い確認すること。



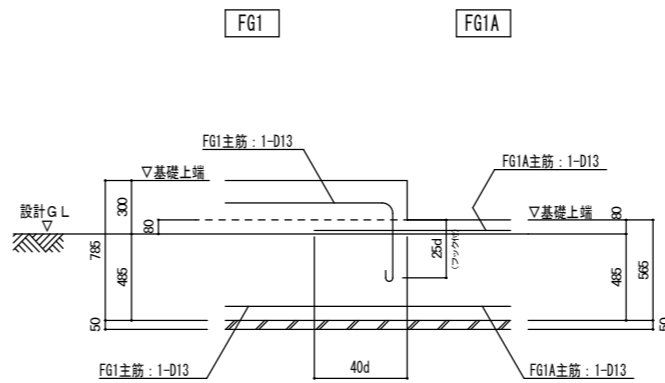
アンカーボルト (C1002A) 取合い図



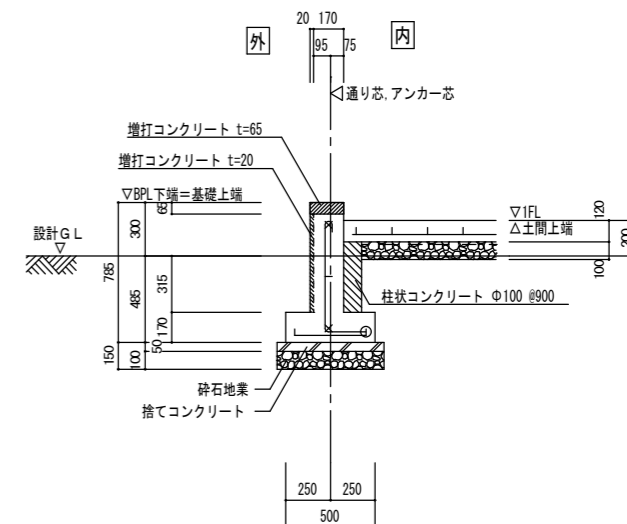
〔註〕基礎梁下部のアンカーボルトは成の低い梁の天端から必要定着長をとる事。



基礎梁段差部鉄筋定着長さ

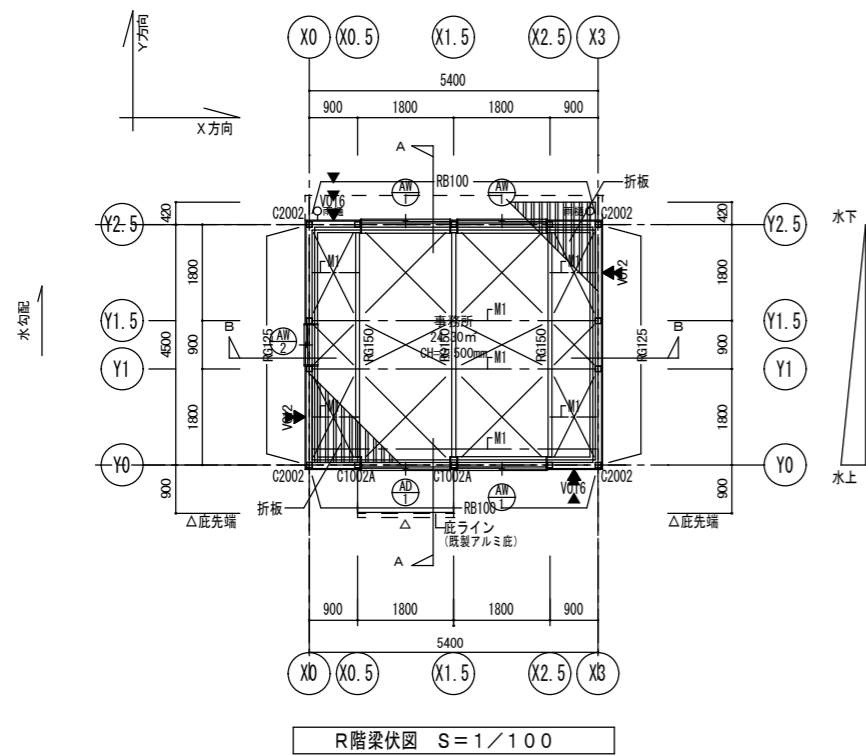


基礎-土間 取合い図

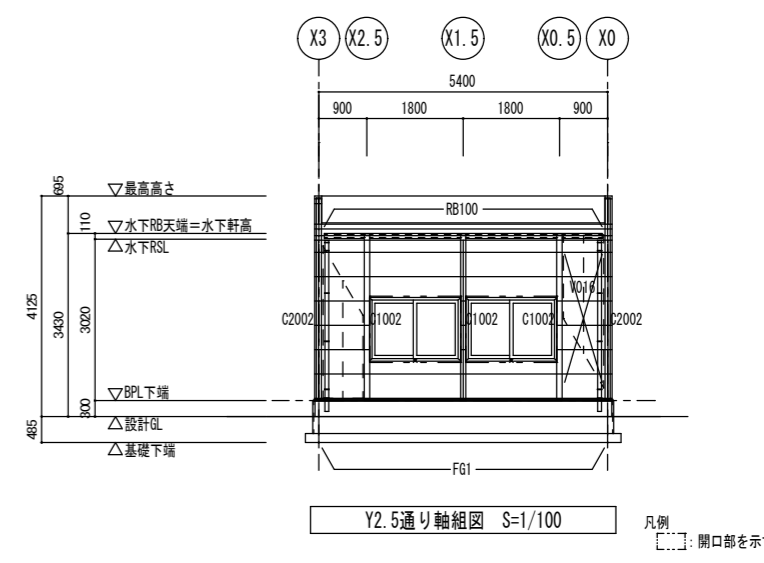
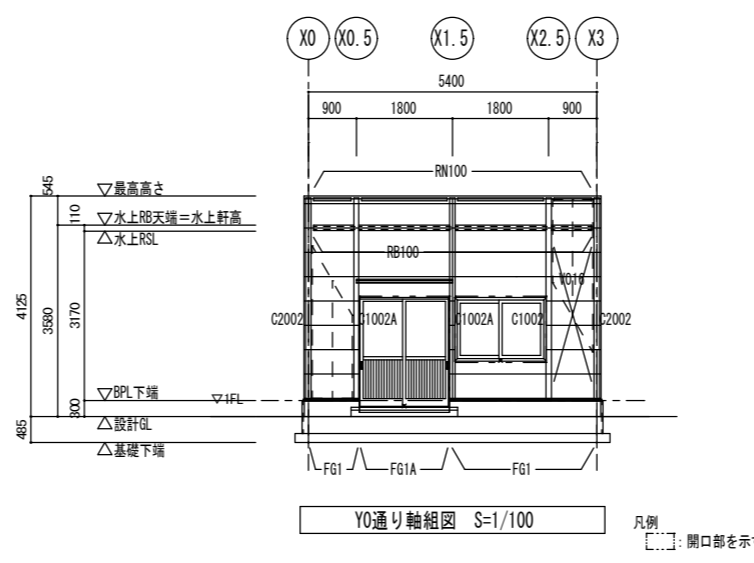
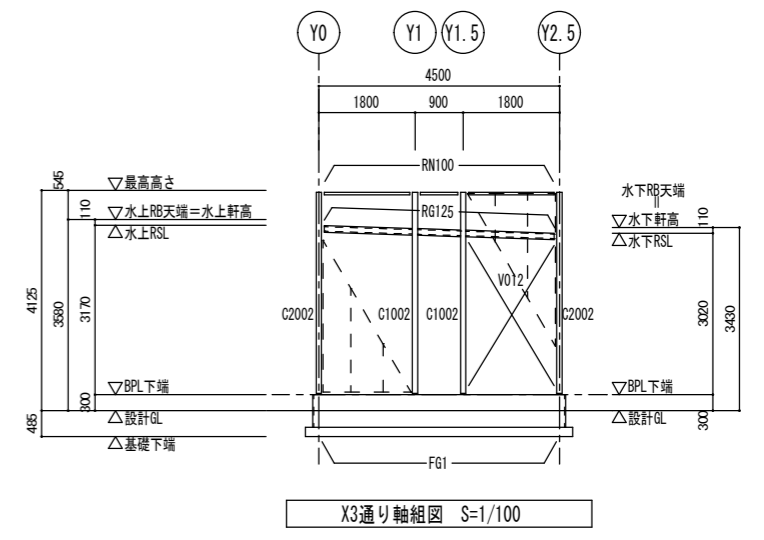
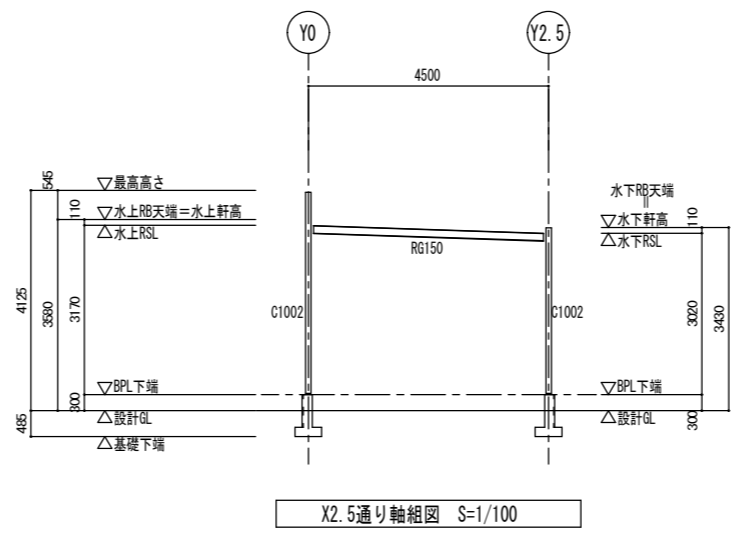
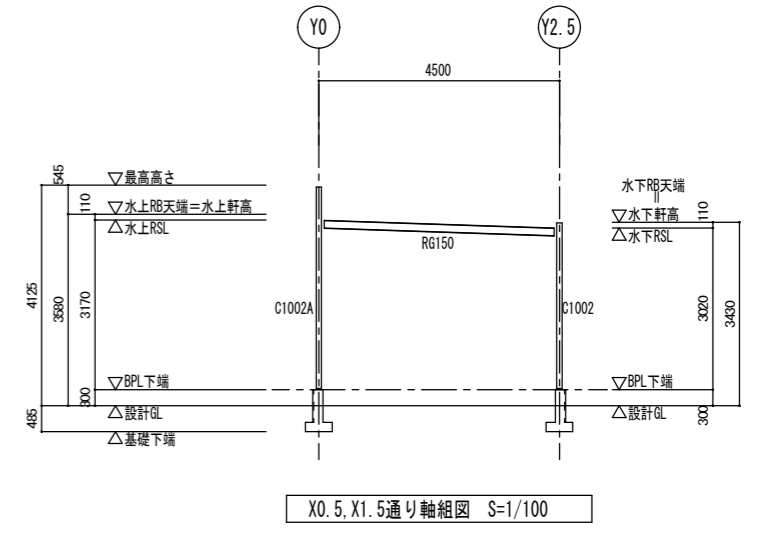
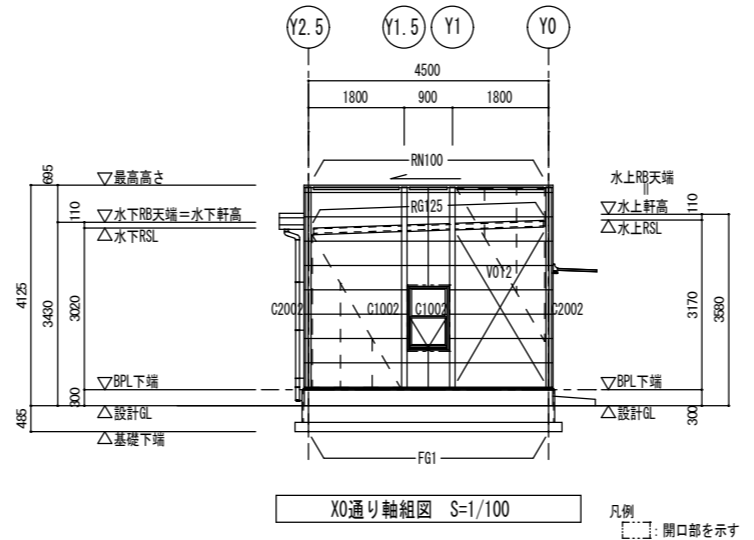


基礎リスト S=1/30

図面 令和8年3月 / . . .	保管 承認 確認 作成	訂正 . . . . . . . . . . . .	特記 . . . . . . . . . . . .	課長 主査等 担当者	図面内容 (仮称) 防災備蓄基地新築工事 基礎伏図・基礎リスト 区尺 S=1/100・1/30 (A2)	図面番 S-21 区分



凡例：特記無き場合下記による  
 特記無き柱は、C1002 とする。  
 特記無き水平ブレースは、V012(M12) とする。  
 ———は、母屋 (M1) を示す。  
 建屋屋根勾配は、大梁にて構成する。  
 建屋屋根は、折板屋根とする。



竣工 令和8年3月	保管 承認 確認 作成	訂正	. . . . . . . . . . . .	特 記	課長 主査等 担当者	図面内容 (仮称) 防災備蓄基地新築工事 R階梁伏図・軸組図 S=1/100 (A2)	図 号 S - 22
			. . . . . . . . .				

※特記なき接合部ボルトは中ボルトとする。  
中ボルトには戻り止め(スプリングワッシャー)を使用する。

符号	C1002	C1002A	C2002	P1
仕口				
細長比	$\lambda = 79.8$	$\lambda = 79.8$	$\lambda = 79.8$	
部材	□100×2.3	□100×2.3	□100×2.3	□100×2.3
材質	STKR400	STKR400	STKR400	STKR400
ベースプレート	PL-16 (SS400)	PL-16 (SS400)	PL-16 (SS400)	PL-6 (SS400)
アンカーボルト	2-M16 L=320 (SNR400B)がブ材付	2-M16 L=320 (SNR400B)がブ材付	2-M16 L=320 (SNR400B)がブ材付	2-M16
備考	柱口100×2.3 (一般部)	柱口100×2.3 (出入口脇柱)	柱口100×2.3 (出隅部)	柱口100×2.3 (開口梁上部)

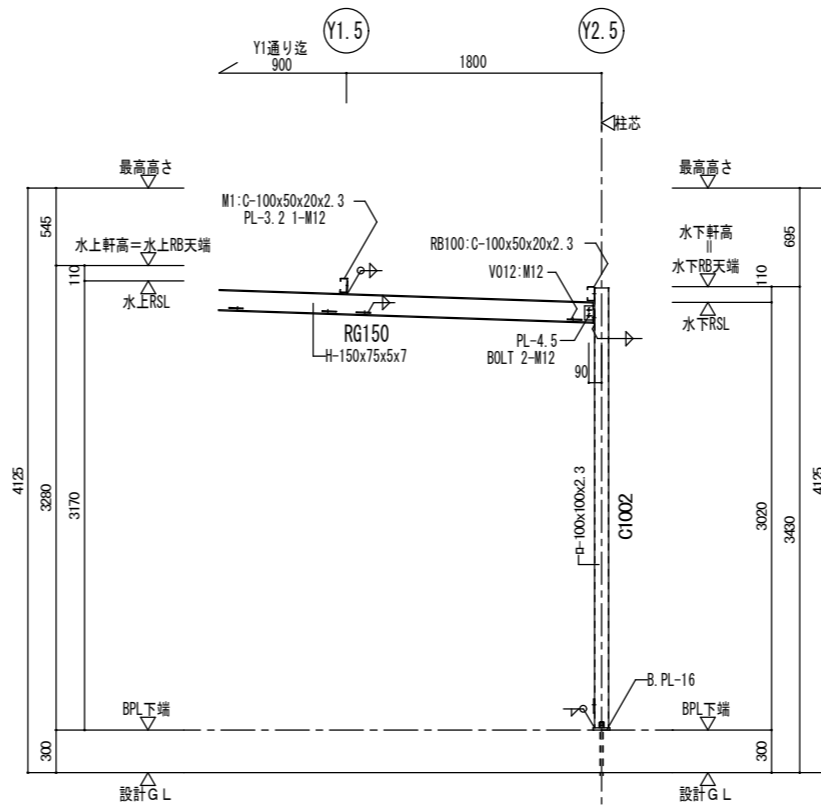
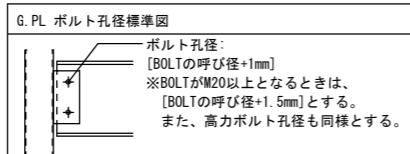
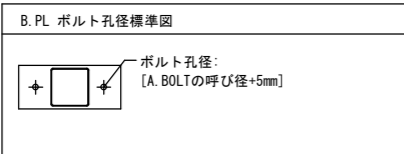
符号	RG150	RG125	RB100
仕口			
部材	H-150×75×5×7	C-125×50×20×2.3	C-100×50×20×2.3
材質	SS400	SSC400	SSC400
接合プレート	PL-4.5 (SS400)	PL-3.2 (SS400)	PL-3.2 (SS400)
接合ボルト	2-M12	2-M12	2-M12
備考	小屋梁	小屋梁	小屋桁つなぎ材

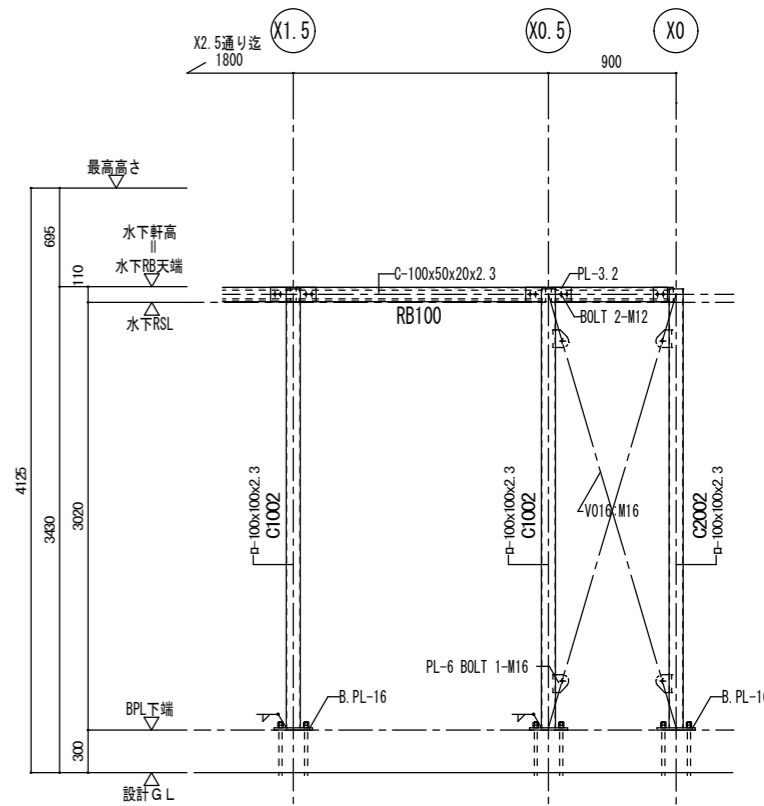
符号	RN100	縦鋼線	縦鋼線2	脚線受け材	開口上下水平材
仕口					
部材	C-100×50×20×2.3	C-75×45×15×2.3	φ600	20-75×45×15×2.3	20-75×45×15×2.3
材質	SSC400	SSC400	SSC400	SSC400	SSC400
接合プレート	PL-3.2 (SS400)	PL-3.2 (SS400)	PL-3.2 (SS400)	PL-3.2 (SS400)	PL-3.2 (SS400)
接合ボルト	1-M12	1-M12	1-M12	1-M12	1-M12
備考	笠木受け・脚線受け材	縦鋼線	縦鋼線	脚線受け材	開口補強材

符号	VO16	VO12	M1	折板
仕口				
部材	M16 プレース	M12 プレース	C-100×50×20×2.3	H=90 t=0.6 (ハゼ式)
材質	SNR400B	SNR400B	SSC400	ガルバリウム鋼板
接合プレート	PL-6 (SN400-B)	PL-6 (SN400-B)	PL-3.2 (SS400)	
接合ボルト	F8T又は10.9(支圧接合)1-M16	F8T又は10.9(支圧接合)1-M16	1-M12	
備考	壁ブレース	壁ブレース・水平ブレース	母屋	建屋屋根



X0.5 通り架構詳細図 S=1/40



Y2.5 通り架構詳細図 S=1/40

図面内容	部材リスト・架構詳細図	課長	主査等	担当者	図面番号	S-23
縮尺	S=1/15・1/40 (A2)				図面区分	
製図	令和8年3月	設計				
校核		訂正				
承認		特記				



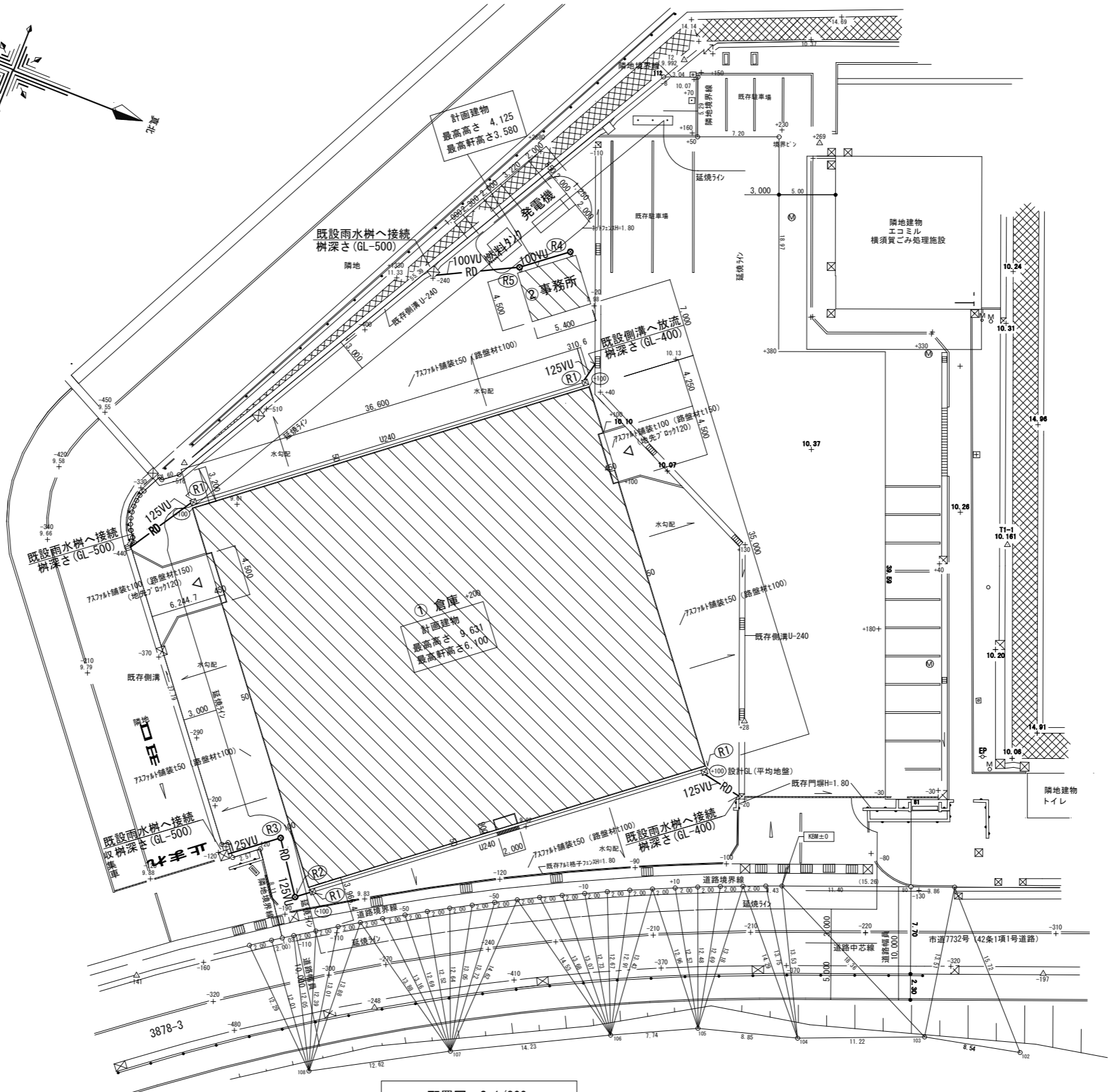
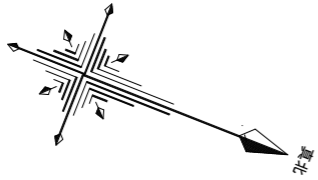
工事区分表 (各工事は○印の付いたものを適用する。)													
項目		建築	電気	機械	別	備考	項目		建築	電気	機械	別	備考
躯体関係						屋外排水設備・外構							
1. RC造 (壁・床・梁)の 貫通孔・開口部	貫通孔のスリーブ材及び取付け		○	○			1. 雨水	U字側溝及び蓋	○				
	補強を要する型枠材及び取付け	○						U字側溝接続樹	○				
	補強を要しない型枠材及び取付け		○	○				地盤面までの雨水縦樋	○				
	貫通孔・開口部の墨出し		○	○				地盤面以降の雨水管			○		
	貫通孔・開口部の補強	○						屋外雨水排水樹及び樹蓋			○		
2. 設備機器の 基礎・架台	ルーフファン取付け用架台	○					屋外雨水排水設備残土処分(場外搬出)	○					
	ルーフファン本体、取付け用アンカー			○									
内装・仕上げ関係						2. 雑排水・ 汚水	該当なし						
1. 軽鉄天井 ・壁下地	補強を要するボードの切り込み及び下地の補強	○											
	補強を要しないボードの切り込み		○	○									
	開口部の墨出し		○	○									
2. つりボルト 及び あと施工アンカー	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用		○	○									
3. 外壁まわり	ベントキャップ(排気用)			○				電気配線配管					
	給気口(室内グリル共)	○						機器への1次側電源供給配管配線		○			
	エアコン用スリーブ(内外キャップ共)	○						一般換気扇のスイッチ及び渡り配管配線		○			
	給気用ウエザーカー	○						機器と附属操作スイッチの渡り配管配線		○			付属スイッチ支給
	給気用ウエザーカー取付	○											
4. 防火、防犯	消火器本体	○											
	消火器BOX設置	○											
	自動火災報知		○										
5. その他	点検口(天井・床下)	○											
	貫通部穴埋め補修		○	○								仕上げは建築	
	倉庫棟簡易エアコン(スポットエアコン)				○								
	倉庫棟給排水衛生設備				○								
	事務所棟エアコン				○								
	事務所棟法的換気(24時間換気共)		○										

凡 例			
名称	記号	材質	備考
雨水排水管	— RD —	右記による	100A未満：硬質ポリ塩化ビニル管(VP)
			100A以上：硬質ポリ塩化ビニル管(VU)
			小口径塩ビ樹間：硬質ポリ塩化ビニル管(VU)
雨水樹	⊗	小口径塩ビ製	泥だめ150H以上
排気ダクト	— EA —	右記による	亜鉛鉄板製スパイラルダクト
換気口	PFC	(SUS)・アルミ	パイプフード・(深形パイプフード) 耐外風圧パイプフード 耐重塩害・(指定色塗装)
天井埋込型換気扇	F		
ルーフファン	□		
サーモスイッチ	TS		換気機器付属品

排水樹リスト ※○を適用とする														
記号	内寸法 (mm)	深さ (mm)	管底高 (m)	地盤高 (m)	樹仕様		蓋仕様				耐荷重			備考
					コンクリート 製樹	塩ビ 製樹	鋳鉄製 防臭蓋	防護蓋[T-14] (内蓋共)	化粧蓋 (仕上り用)	ステンレス製 格子蓋	樹脂製蓋	軽耐	中耐	
(雨水樹)														
R1	450□	400	9.70	10.10	○							○		側溝樹(建築工事)×4ヶ所
R2	φ200	330	9.55	9.88		○						○	○	
R3	φ200	420	9.46	9.88		○						○	○	
R4	φ150	300	9.70	10.00		○						○	○	
R5	φ150	390	9.61	10.00		○						○	○	

注記)  
 ※ 雨水樹は泥だめ150H以上を設ける。(樹リスト深さは管底高さとする)  
 ※ 塩ビ樹蓋は鎖付とする。  
 ※ 設計GL ±0 (平均地盤) = 10.00

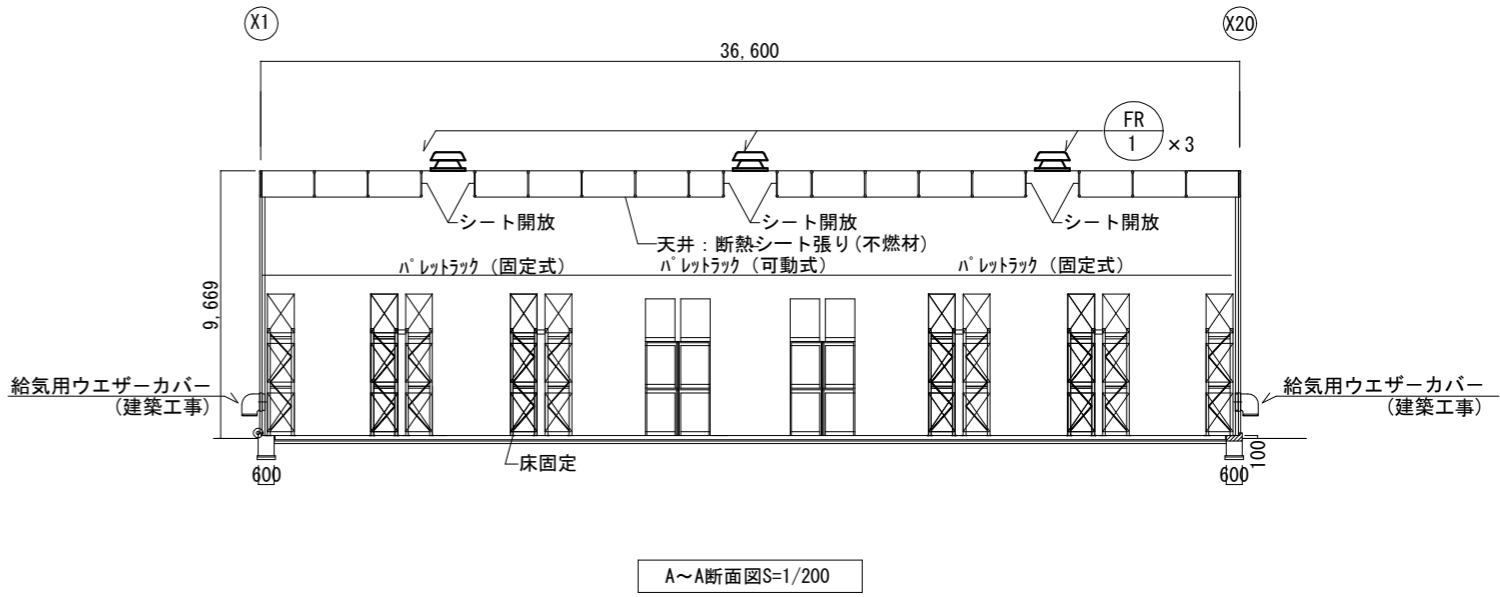
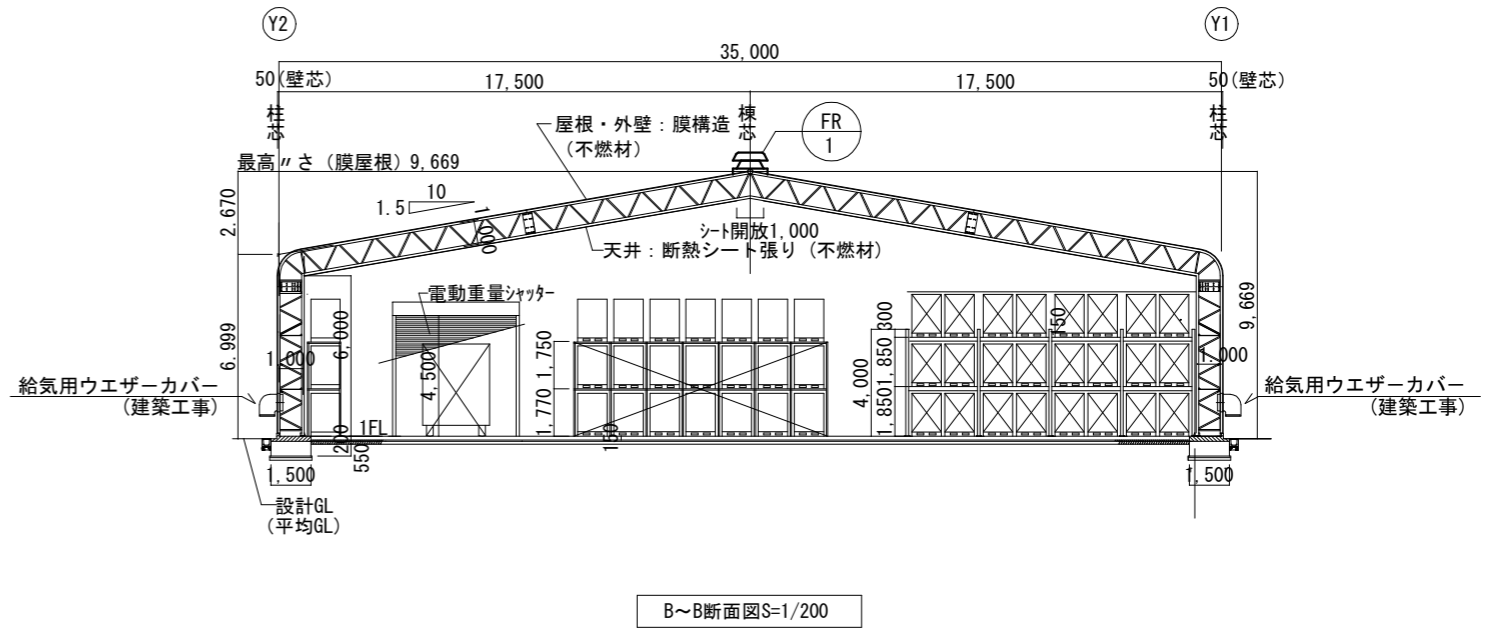
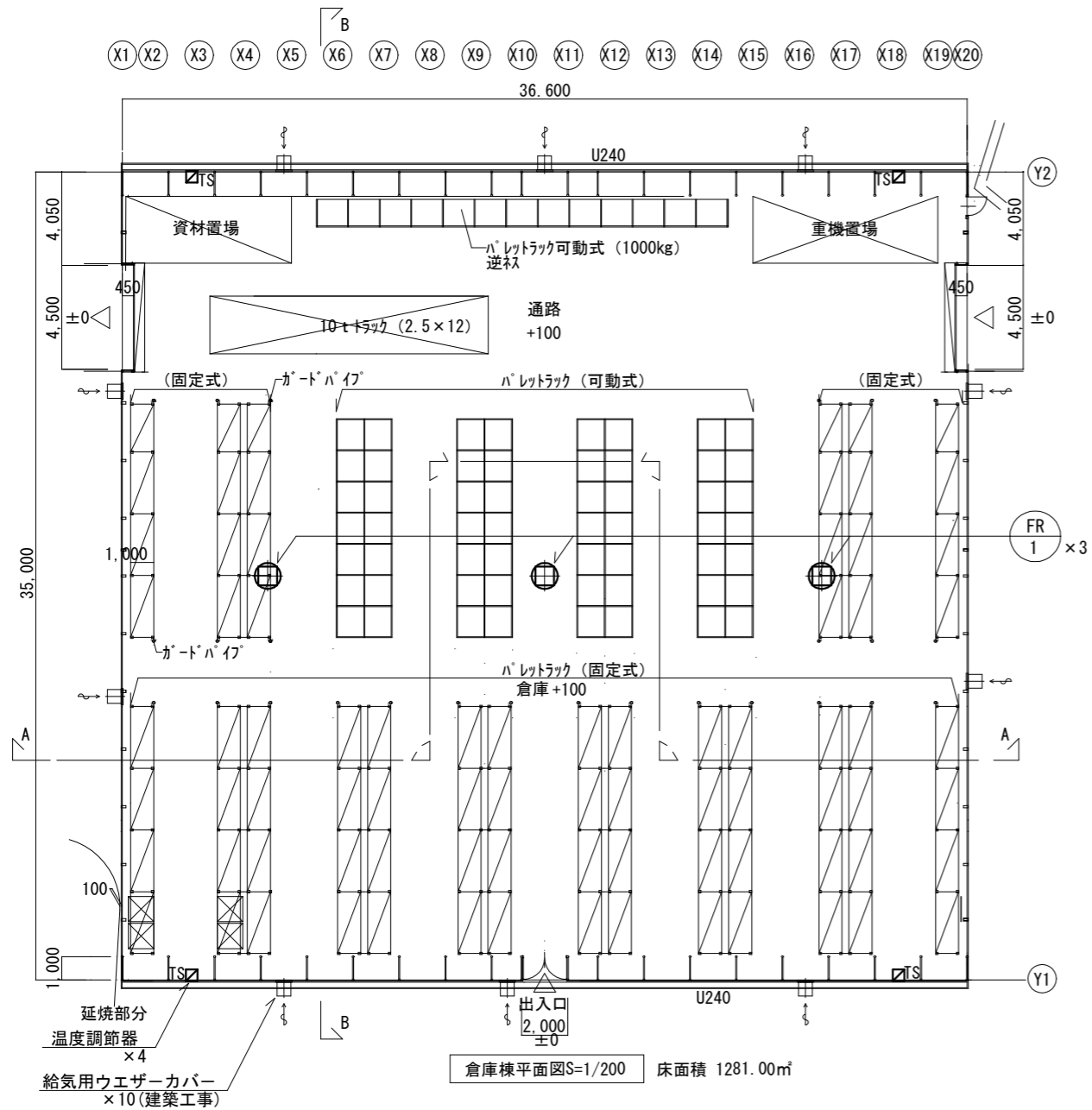
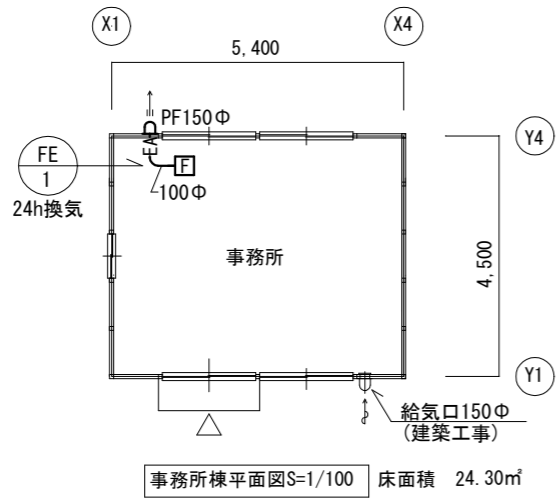
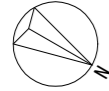
竣工 年月日 令和8年/3月/	設計	監理	施工	検査	訂正	特記	図面内容 S=N, S(A2)	図面番号 M-02
	設計	監理	施工	検査	訂正	特記		



: 計画建物

図面内容 配置図 縮尺 S=1/300 (A2)	(仮称) 防災備蓄基地新築工事	図面番号 M - 03 枚/内 区 分
	令和 8年 / 3月 . . .	
波管 / . . . 承継 / . . . 確認 / . . . 作成 / . . .	訂正 . . . . . . . . . . . .	特記 . . . . . . . . . . . .





竣工図 令和8年3月 竣工	保管 /	訂正 /	特記	(仮称) 防災備蓄基地新築工事 換気設備 倉庫棟・事務所棟 平面図・断面図 S=1/200 (A2)	図面番号 M-05 枚/内 区分
	承認 /	訂正 /			